

Scan System

使用説明書 機能編

ボタンをクリックすると各項目にスキップします

スキャナ機能（本体）を使いこなす

スキャンした画像をパソコンへ送信する

スキャンした画像をEメールで送信する

TWAINでスキャンする

スキャンする画像に文書情報を追加する

スキャンした画像をパソコンへ送信する（PC 送信）

パソコン内に送信先のフォルダを作成して、スキャナから直接フォルダ内にスキャンデータを送信します。下記にパソコン内に送信するまでの流れを簡単に説明します。詳しい設定方法や操作方法は参照ページをご覧ください。参照ページをクリックすると各ページにスキップします。

基本設定をします

PC送信を行う場合、付属のユーティリティを使ってネットワークに関する設定や送信先、送信元のアドレスなどの登録をする必要があります。

Address Editor

P3-28

アドレス帳
for Scanner

P3-73

Webブラウザ
による設定・登録

P2-1



送信先のフォルダを作成します

Scanner File
Utility

P3-4



スキャンデータを送信します

スキャナ本体から送信先などを指定してスキャンデータを送信します。

※ネットワークに関する設定や送信先、送信元の登録はスキャナ本体でもできます。スキャナ本体で設定する場合は、使用説明書セットアップ編をご覧ください。

スキャンした画像をEメールで送信する（Eメール送信）

登録したEメールアドレスへスキャンデータを添付して送信します。下記にEメールで送信するまでの流れを簡単に説明します。詳しい設定方法や操作方法は参照ページをご覧ください。参照ページをクリックすると各ページにスキップします。

基本設定をします

Eメール送信を行う場合、付属のユーティリティを使ってネットワークに関する設定や送信先、送信元のアドレスなどの登録をする必要があります。

Address Editor

P3-28

アドレス帳
for Scanner

P3-73

Webブラウザ
による設定・登録

P2-1



スキャンデータを送信します

スキャナ本体から送信先などを指定してスキャンデータを送信します。

※ネットワークに関する設定や送信先、送信元の登録はスキャナ本体でもできます。スキャナ本体で設定する場合は、使用説明書セットアップ編をご覧ください。

TWAIN でスキャンする (TWAIN)

スキャナで読み込んだ画像イメージを TWAIN 対応アプリケーションに取り込むことができます。下記に TWAIN でスキャンするまでの流れを簡単に説明します。詳しい設定方法や操作方法は参照ページをご覧ください。参照ページをクリックすると各ページにスキップします。

基本設定をします

TWAIN Sourceを使用する場合、スキャナに関する設定をする必要があります。

TWAIN Source
による設定

P3-105



スキャンをします

TWAIN Sourceを使用してスキャンします。

TWAIN Sourceを
使用してスキャン
する

P3-110

スキャンする画像に文書情報を追加する

スキャンした画像を PC 上で検索する為の文書情報（キーワード）の設定や、属性情報として CSV ファイルを作成することができます。このように文書情報を画像に追加し、それをファイルの検索項目にする事で、膨大なデータの中から簡単に目的の画像を見つけ出せるようになります。

※ KM-C830/830D をご使用の方はこの機能を使用できません。

基本設定をします

データベース連携を行う場合、DB Assistantを使って、各種設定、情報の登録をする必要があります。次に、DB Assistantを本体スキャナと接続させるため、インストールしたPCのIPアドレス、またはホスト名を、Webブラウザを使用して入力するか、本体操作部から入力します。

DB Assistant
による設定・登録

P3-129

Webブラウザ
による設定

P2-1



送信先の設定をします

Scanner File Utility
による設定

P3-4

※ネットワークに関する設定や送信先、送信元の登録はスキャナ本体でもできます。スキャナ本体で設定する場合は、使用説明書セットアップ編をご覧ください。



スキャンデータに文書情報を追加します

スキャナ本体から送信先などを指定してスキャンデータを送信します。

※文書情報（キーワード）を追加し、その項目でファイル検索をかける場合、本製品バンドルソフト KM-DocumentBinderをご活用ください。

登録商標について

- ・ Microsoft 、Windows 、Windows NT および Internet Explorer は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Windows Me および Windows XP は、Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Ethernet はゼロックス社の登録商標です。
- ・ IBM ならびに IBM PC/AT は、米国 IBM International Business Machines Corporation の商標です。
- ・ Adobe、Acrobat は、アドビシステムズ社の登録商標です。
- ・ KM-DocumentBinder は、京セラミタ株式会社の登録商標です。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中には TM および ® は明記しておりません。

目次

スキャンした画像をパソコンへ送信する（PC 送信）	i
スキャンした画像を E メールで送信する（E メール送信）	ii
TWAIN でスキャンする（TWAIN）	iii
スキャンする画像に文書情報を追加する	iv
登録商標について	v
目次	vi
第 1 章 ネットワークスキャナシステムの導入	1-1
ネットワークスキャナシステム構成	1-2
スキャナ CD-ROM の使いかた	1-3
KyoceraMita Scanner Library の構成	1-4
(1) スキャナユーティリティ	1-5
(2) TWAIN Source	1-6
(3) コンフィギュレーションツール	1-6
(4) ドキュメント	1-6
(5) 言語の選択	1-6
オンラインマニュアルについて	1-7

目次

スキャナ機能（本体）を使いこなす	1-8
基本設定	1-13
(1) 原稿サイズ選択	1-13
(2) 原稿タイプ	1-14
(3) 送信サイズ選択	1-15
(4) 読み込み解像度	1-15
(5) 原稿セット向き	1-16
(6) ファイル形式	1-16
画質設定	1-17
(1) 読み込み濃度	1-17
(2) 原稿の画質	1-17
(3) JPEG 画質	1-17
(4) カラーモード	1-18
(5) 白黒選択	1-18

目次

応用機能設定	1-19
(1) 枠消し	1-19
(2) 連続読み込み	1-19
(3) 原稿サイズ混載	1-20
(4) ページ毎出力	1-20
(5) フルスキャン	1-21
(6) センター移動	1-22
(7) ファイル名入力	1-23
“圧縮サイズ超過時の非圧縮” の設定	1-24
“連続送信” の設定	1-26
“「ファイル名入力」優先” の設定	1-29
“送信元（ユーザ）選択の省略” の設定	1-32

目次

第2章 Web ブラウザからの設定	2-1
Web ページ機能	2-2
目的別インデックス	2-3
注意事項	2-4
Web ブラウザの動作が不安定なとき	2-4
“インターネットサイトXXXXXXを開けません” など、 接続できないことを表す表示が出たとき	2-4
“ページを表示できません。” と表示が出たとき	2-4
“XXX アクセスが禁止されています” と表示が出たとき	2-4
Web ページ機能の使用方法	2-5
画面構成	2-7
トップフレーム	2-8
メニューフレーム	2-9
メインフレーム	2-10

目次

システム設定	2-11
設定条件	2-11
システム基本設定	2-12
スキャナ初期設定	2-21
送信元リスト	2-23
リセット	2-28
PC 送信設定	2-29
送信先リスト	2-29
E メール送信設定	2-36
E メール基本設定	2-36
送信先リスト	2-39

目次

第3章 付属ユーティリティ	3-1
付属ユーティリティのご紹介	3-2
Scanner File Utility	3-4
Scanner File Utility について	3-4
(1) 事前準備	3-4
(2) 操作の流れ	3-5
動作環境	3-6
インストールとアンインストール	3-7
(1) Scanner File Utility のインストール	3-7
(2) Scanner File Utility のアンインストール	3-9
スタートダイアログ	3-10
(1) スタートダイアログの表示方法	3-10
(2) スタートダイアログについて	3-11
ファイル保存先フォルダ設定	3-13
(1) 設定ダイアログについて	3-13
(2) 保存先フォルダの新規設定	3-16
(3) 既存保存先フォルダの設定変更	3-20
(4) 既存保存先フォルダの指定解除	3-23

目次

ファイル保存機能	3-24
(1) 操作手順の概要	3-24
(2) ファイル名について	3-25
(3) 画像データについて	3-26
(4) ハードディスク書込エラーが発生したとき	3-26
サービスモードについて	3-27

目次

Address Editor	3-28
Address Editor について	3-28
推奨動作環境	3-28
インストールとアンインストール	3-29
(1) Address Editor のインストール	3-29
(2) Address Editor のアンインストール	3-30
Address Editor の起動	3-31
編集データ選択画面	3-33
(1) スキャナアドレス設定	3-34
スキャナ検索	3-36
パスワードの入力（スキャナ接続時）	3-38
システム設定	3-39
(1) システム基本設定	3-39
(2) スキャナ初期設定	3-48
(3) 送信元リスト	3-50
(4) 送信元アドレス登録（編集）	3-52

目次

E メール送信設定	3-54
(1) E メール基本設定	3-54
(2) E メール送信先リスト	3-56
(3) 送信先の編集 (E メール送信)	3-58
(4) 送信先グループ登録 / 編集	3-59
PC 送信設定	3-61
(1) 送信先リスト	3-61
(2) 送信先の編集 (PC 送信)	3-63
(3) 送信先グループ登録 / 編集	3-64
ツールバー	3-66
アドレスデータのインポート	3-67
(1) 送信元リスト、送信先リスト (E メール、PC) へ、 アドレスデータのインポート	3-67
(2) フィールドの設定	3-69
(3) インポート内容の確認	3-70
バージョン情報	3-72

アドレス帳 for Scanner	3-73
アドレス帳 for Scanner について	3-73
動作環境	3-74
インストールとアンインストール	3-75
(1) アドレス帳 for Scanner のインストール	3-75
(2) アドレス帳 for Scanner のアンインストール	3-76
スタートダイアログ	3-77
(1) スタートダイアログの表示方法	3-77
(2) スタートダイアログについて	3-78
送信先リストの設定	3-79
(1) “アドレス帳 for Scanner” ダイアログについて	3-79
(2) E メール送信先リスト	3-81
(3) E メール送信先の登録と編集	3-83
(4) E メール送信先グループの登録と編集	3-85
(5) E メール送信先グループへの送信先の追加	3-87
(6) PC 送信先リスト	3-89
(7) 送信先 PC の登録と編集	3-91
(8) 送信先 PC グループの登録と編集	3-93
(9) 送信先 PC グループパスワードの登録と変更	3-95
(10) 送信先 PC グループへの送信先 PC の追加	3-96

目次

アドレスデータファイルのインポート	3-98
(1) アドレス帳 for Scanner のインポート	3-98
(2) csv ファイルのインポート	3-100

TWAIN Source	3-105
TWAIN Source について	3-105
動作環境	3-106
TWAIN Source のインストール	3-107
TWAIN Source のアンインストール	3-108
画像データについて	3-109
画像の取り込みかた	3-110
(1) PC 側からスキャンをはじめる場合	3-110
(2) 本体側からスキャンをはじめる場合	3-110
メインダイアログについて	3-111
スキャナ IP アドレスの変更	3-115
部門管理設定	3-117
カラープロファイルについて	3-118
スキャナと接続できないとき	3-119
画像最大サイズについて	3-120

目次

コンフィギュレーションツール	3-121
コンフィギュレーションツールについて	3-121
動作環境	3-121
クイックセットアップウィザード使用時の補足	3-122
AdminManager の使用方法について	3-124
(1) AdminManager のインストール	3-124
(2) AdminManager の起動	3-126
(3) IP アドレスの設定	3-126
(4) Admin パスワードの設定	3-128

目次

DB Assistant	3-129
DB Assistant について	3-129
(1) 事前準備	3-130
(2) 操作の流れ	3-131
動作環境	3-132
インストールとアンインストール	3-133
(1) DB Assistant のインストール	3-133
(2) DB Assistant のアンインストール	3-134
操作画面について	3-135
(1) 設定ダイアログの表示方法	3-135
(2) スタートダイアログについて	3-136
(3) 設定ダイアログについて	3-137
KM-DB アシスト機能の設定方法	3-138
補足 “送信元（ユーザ）名称により制限する” の設定方法	3-146
 補足 A エラーコード	 A-1
 補足 B エラーメッセージ	 B-1
 補足 C 仕様	 C-1

第 1 章

ネットワークスキャナシステムの導入

ネットワークスキャナシステム構成

本ネットワークスキャナシステムは、ネットワーク環境において、複数の PC がスキャナ本体を共有できるようにしたシステムです。同梱物として、スキャナインタフェースカードとスキャナ CD-ROM

(Kyocera Mita Scanner Library) および、TWAIN 対応アプリケーション CD-ROM が用意されております。スキャナインタフェースカードはスキャナ本体に装着し、スキャナ CD-ROM は PC 側で使用します。TWAIN 対応アプリケーションの使用方法については、TWAIN 対応アプリケーションの CD-ROM に収録されているユーザーズガイドを参照してください。

このオンラインマニュアルでは、主にスキャナ CD-ROM に収められている付属ユーティリティ (Scanner File Utility, Address Editor, アドレス帳 for Scanner, TWAIN Source, DB Assistant) の機能や Web ブラウザからのスキャナの設定方法について説明しています。

スキャナ本体の操作方法については、ネットワークスキャナ<セットアップ編>の使用説明書を参照ください。

スキャナ CD-ROM の使いかた

スキャナ CD-ROM には、5 つの付属ユーティリティ（Scanner File Utility/Address Editor/ アドレス帳 for Scanner/TWAIN Source/DB Assistant）、スキャナ機能のオンラインマニュアルなどが収められています。本ネットワークスキャナシステムの使用にあたっては、スキャナ CD-ROM（KyoceraMita Scanner Library）内の付属ユーティリティを PC 側にインストールする必要があります。

以下にスキャナ CD-ROM のメインメニューが表示されるまでの流れを説明します。

※ご使用の機種によって画面は多少異なります。

1. Windows を起動させてください。
※他に起動中のアプリケーションがあれば、それらをすべて終了させてください。
2. 付属品のスキャナ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。使用許諾についての説明が表示されます。契約条件に同意する場合は、[許諾]をクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。
※CD-ROM をセットしても以下の画面が表示されない場合は、CD-ROM を開き、ウインドウにある [setup.exe] をダブルクリックしてください。



スキャナ CD-ROM の使いかた

KyoceraMita Scanner Library の構成



メインメニューには、スキャナ CD-ROM を使って行うことのできる内容が選択可能な項目として表示されています。

スキャナ CD-ROM の使いかた

各項目の概要は次のとおりです。項目の選択はクリックで行います。

(1) スキャナユーティリティ

● Address Editor

Address Editor を PC にインストールします。このソフトウェアを使うと、スキャナのアドレス帳（共通アドレス帳）の登録、編集などを行うことができます。管理者がアドレス帳のメンテナンスなどを行う場合に使用します。Address Editor に対応したスキャナが複数存在している場合は、それらすべてのスキャナに送信先リストを設定することなども容易に行えます。また、ネットワーク設定や機能の初期設定もできます。任意の PC（1 台）にこのソフトウェアをインストールしてください。（P3-28 参照）

● Scanner File Utility

Scanner File Utility を PC にインストールします。このソフトウェアを使うと、スキャナで読み込んだ画像イメージを、ネットワークを介して、PC 側の指定したフォルダに圧縮したファイルとして保存することができるようになります。保存先の PC が複数である場合は、各 PC にこのソフトウェアをインストールしてください。（P3-4 参照）

● アドレス帳 for Scanner

アドレス帳 for Scanner を PC にインストールします。このソフトウェアを使うと、スキャナのユーザが自分専用の送信先リストを作成、利用することが可能になります。スキャナ本体の操作部で「個人アドレス帳」を選択すると、そのときのユーザが利用できるアドレス帳 for Scanner が参照され、送信先の選択が行えます。各 PC にこのソフトウェアをインストールしてください。（P3-73 参照）

● DB Assistant

DB Assistant を PC にインストールします。このソフトウェアを使うと、スキャンした画像データの検索に利用可能な文書情報としてキーワードを追加させることができます。Scanner File Utility で指定したフォルダを DB Assistant で登録し、スキャナ本体の操作部で「データベース連携」を選択すると PC とリンクし、指定フォルダ近辺の階層表示を操作部上で確認することができます。任意の PC（1 台）にこのソフトウェアをインストールしてください。（P3-129 参照）

スキャナ CD-ROM の使いかた

(2) TWAIN Source

TWAIN Source を PC にインストールします。TWAIN Source が PC にインストールされると、TWAIN 対応アプリケーションからネットワークを介してスキャナを呼び出し、読み取った画像をそのアプリケーションですぐに使用できます。使用する PC が複数である場合は、各 PC にこのソフトウェアをインストールしてください。

(P3-105 参照)

(3) コンフィギュレーションツール

プリンタ用ツール「コンフィギュレーション」を使って、プリンタだけでなく、スキャナのネットワーク設定も行うことができます。(P3-121 参照)

(4) ドキュメント

スキャナ CD-ROM 内に収められているソフトウェアのオンラインマニュアルを見ることができます。

(P1-7 参照)

(5) 言語の選択

画面で表示させる言語を選ぶことができます。

スキャナ CD-ROM の使いかた

オンラインマニュアルについて

本スキャナ CD-ROM のオンラインマニュアルは PDF ファイル形式で作られており、内容を見るためには Adobe Acrobat Reader4.05J以上が必要となります。

したがって、オンラインマニュアルを見る前に、まず Adobe Acrobat Reader を PC にインストールしてください。スキャナ CD-ROM には、Adobe Acrobat Reader のインストーラも収められています。

重 要 Adobe Acrobat Reader の取り扱いについては、アドビ社の使用約款に準じます。

1-3 スキャナ機能（本体）を使いこなす

本体での、スキャナ機能を説明します。お好みの設定に合わせ、スキャンしてください。
各機種、本体機能設定までの手順は、使用説明書セットアップ編をご覧ください。

基本設定

原稿サイズ選択	原稿サイズ（読み込む領域）を選択します。	P1-13
原稿タイプ	ブック（見開き）原稿や、両面に印字されている原稿を片面ずつ分割して読み込むときに設定します。	P1-14
送信サイズ選択	送信サイズ（送信する画像サイズ）を選択します。	P1-15
読み込み解像度	原稿を読み取る細かさを指定します。	P1-15
原稿セット向き	原稿セット後、原稿上辺の位置を設定します。	P1-16
ファイル形式	画像ファイルのフォーマットを選択します。	P1-16

スキャナ機能（本体）を使いこなす

画質設定

読み込み濃度	スキャン画像の濃度を調節します。	P1-17
原稿の画質	原稿の種類に合せて的確な画像処理を行う時に設定します。	P1-17
JPEG画質	JPEG圧縮レベルを設定します。	P1-17
カラーモード	カラーモードを選択します。	P1-18
白黒選択	白黒のイメージを選択します。	P1-18

スキャナ機能（本体）を使いこなす

応用機能設定

枠消し	本、雑誌などの見開き原稿を読み込むときなど、まわりにできた黒い影を消すときに設定します。	P1-19
連続読み込み	原稿を読み込んだ後に、継続して新しい原稿を読み込むときに設定します。	P1-19
原稿サイズ混載	サイズの異なる原稿でも一括して読み込むときに設定します。	P1-20
ページ毎出力	一度に読み込んだ原稿を1ページごとにファイルを作成するときに設定します。	P1-20
フルスキャン	指定された原稿サイズ全ての領域を画像としてスキャンします。	P1-21
センター移動	画像が送信サイズの中央になるようにスキャンします。	P1-22
ファイル名入力	ファイル名を指定します。	P1-23

スキャナ機能（本体）を使いこなす

応用機能設定

圧縮サイズ超過時の 非圧縮	画像を読み込み時に圧縮をかけるか設定します。	P1-24
連続送信	連続してスキャンするか設定します。	P1-26
「ファイル名入力」 優先	ファイル名入力を優先するか設定します。	P1-29
送信元（ユーザ） 選択の省略	送信元（ユーザ）を事前に選択します。	P1-32

スキャナ機能（本体）を使いこなす

補足 機能説明マークについて

送信方法によって、使用できる機能と、そうでない機能があります。使用できる機能には以下の
ような、各送信方法のマークがついています。

各送信方法機能有効マーク

PC 送信時	PC
E-Mail 送信時	E-Mail
TWAIN（スキャン待ち設定時）	TWAIN

モノクロ／カラー機の場合にのみ使用できる機能に付くマーク

モノクロ機専用	白黒
カラー機（カラー・白黒時）専用	カラー

スキャナ機能（本体）を使いこなす

基本設定

（１）原稿サイズ選択

PC

E-Mail

TWAIN

選択できる原稿サイズ（読み取る領域）

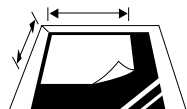
- ・ 自動, A3, Computer Form (11"×15"), B4, A4, B5, A5, B6

※モノクロ機は 11"×8¹/₂" も選択できます。

※デフォルト値：自動

◎原稿サイズ入力（カスタムサイズ）

原稿台左奥コーナーを基準に原稿をセットし、読み取り範囲を設定できます。



設定範囲 縦：50 ～ 297mm

横：50 ～ 432mm 50 ～ 420mm(KM-C830/C830D の場合)

※原稿送り装置に原稿をセットする場合は、サイズ入力できません。

スキャナ機能（本体）を使いこなす

（2）原稿タイプ

PC

E-Mail

TWAIN

ブック（見開き）原稿や、両面に印字されている原稿を片面ずつ分割して読み込むことができます。モノクロ機はとじ方が選択できます。

片面原稿 原稿の片面を読み込みます。

両面原稿 両面原稿の表裏を別々のページデータに分けて読み込みます。

- ・ 左 / 右とじ

- ・ 上とじ

※上とじ（裏表で上下が逆になっている原稿の場合）は、原稿の裏面を、180度回転します。

※両面分割は原稿送り装置が必要です。

※原稿セット時、上辺の位置を確認してください。

見開き原稿 ブック（見開き）原稿を左右分割して読み込みします。

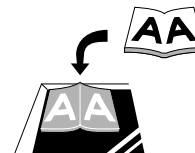
- ・ 綴じ方向選択：原稿となるブックの閉じ方向を選択します。例えば、[左とじ]は左側のページを読み込んだ後、右側のページ読み込みます。

- ・ 右とじ

- ・ 左とじ

※見開き原稿の場合、上辺を奥に向けてセットしてください。

※見開き原稿を分割できる原稿サイズはA3、A4R、A5R、B4、B5R、送信サイズはA4、A5、B5、B6です。



スキャナ機能（本体）を使いこなす

（3）送信サイズ選択

PC

E-Mail

TWAIN

選択できる送信サイズ（送信する画像のサイズ）

- ・ 自動, A3, B4, A4, B5, A5, B6, 11"×15"

※モノクロ機は 11"×8¹/₂" も選択できます。

※デフォルト値：自動

※原稿サイズをカスタム設定したときは、選択できません。

（4）読み込み解像度

PC

E-Mail

TWAIN

原稿を読み取る細かさを指定できます。数値が高いほど、きめが細かくなりますが、その分だけ、ファイルサイズ（ファイル容量）大きくなり、読み取り時間も長くなります。

- ・ 600dpi, 400dpi, 300dpi, 200dpi

※一般的にパソコンの画面に表示する画像は 96dpi（Windows の場合）、プリンタで印刷するには、150～600dpi が目安となります。

※画像を拡大したり、印刷する場合は、高い解像度で読み取る必要があります。

スキャナ機能（本体）を使いこなす

（5）原稿セット向き

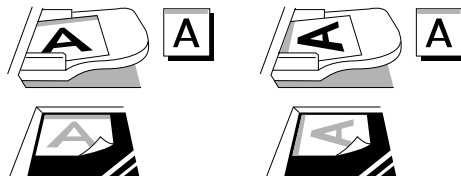
PC

E-Mail

TWAIN

セット後、原稿上辺の位置を設定します。

・奥、左



※原稿セット向きを設定されていない場合は、正しくスキャンできない場合があります。

※ KM-C830/C830D にこの設定はありません。

（6）ファイル形式

PC

E-Mail

カラー

画像ファイルのフォーマットを選択します。

モノクロ機、白黒 TIFF、PDF

フルカラー JPEG、PDF、TIFF

白黒グレイ JPEG、PDF、TIFF

自動カラー(ACS) JPEG、PDF、TIFF

※ファイル形式が JPEG の場合、一度に読み込みこんだ原稿は 1 ページごとにファイルを作成し、送信（ページ毎出力のみ）します。

スキャナ機能（本体）を使いこなす

画質設定

（１）読み込み濃度

PC

E-Mail

TWAIN

スキャン画像の濃度を調整します。お好みの濃度に調整してください。（本体のコピー機能に準拠しています。）

・画質モード 切り替え式

（２）原稿の画質

PC

E-Mail

TWAIN

白黒

原稿の種類に合せて的確な画像処理を行うため、設定します。

写真 写真などを読み取るときに選択します。

※E-Mail 送信時は使用不可

文字＋写真 画像と文字を含んだ原稿を読み取るときに選択します。

文字 文字が中心の原稿を読み取るときに選択します。

OCR OCR アプリケーションソフト（文字をテキストデータに変換するソフトウェア）用の画像データを作成するときに選択します。

（３）JPEG 画質

PC

E-Mail

カラー

JPEG 画質を設定します。

1 低

2

3 標準

4

5 高

高画質になるほど、ファイル容量は大きくなります。ファイル形式を JPEG 選択時に設定します。

スキャナ機能（本体）を使いこなす

（４）カラーモード

PC

E-Mail

TWAIN

カラー

カラーモードを選択します。

- ・自動カラー(ACS) カラー、白黒原稿かを、自動的に認識し、原稿に応じたモードで読み込みます。
- ・フルカラー カラーで読み込みます。
- ・白黒 白黒で読み込みます。※¹

※¹ 送信方法選択時に（白黒）のついた機能以外を選択した場合は、グレースケールの読み込みを行います。

（５）白黒選択

PC

E-Mail

TWAIN

カラー

白黒２階調を選択すると、白黒２階調イメージの色数が白と黒の２色になり、カラーや白黒グレーと比べファイルサイズが小さくなります。白黒グレーはイメージのカラー情報が破棄されますが、明暗は保持します。

※この機能はタッチパネル対応機で使用できます。

スキャナ機能（本体）を使いこなす

応用機能設定

（１）枠消し

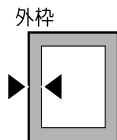
PC

E-Mail

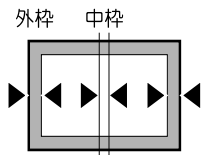
TWAIN

本、雑誌などの見開き原稿を読み込む時などに、まわりにできた黒い影を消すときに使用します。

- ・シート枠消し 原稿のまわりを消去します。



- ・ブック枠消し 見開き原稿のまわりと、中央の閉じ部分を消去します。



※枠消しの範囲は指定できます。

（２）連続読み込み

PC

E-Mail

TWAIN

原稿を読み込んだ後に、継続して新しい原稿を読み込むことができます。この設定を行うと、原稿の読み込みが終わった後に継続して読み込みを行うかどうかの選択画面が表示されます。

※TWAINでの画像読み取り時には、“スキャン待ち”を選択した場合に、この設定が使用できます。

スキャナ機能（本体）を使いこなす

（3）原稿サイズ混載

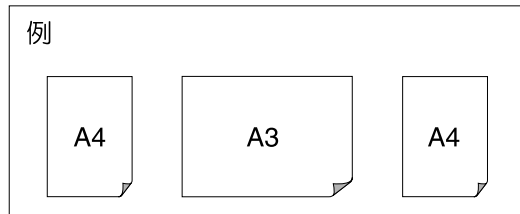
PC

E-Mail

TWAIN

原稿送り装置からの連続読み込み（連続読み込み参照）時、サイズの異なる原稿でも一括して、読み込むことができます。読み込み可能なサイズは以下の組み合わせです。

- ・ A3/A4
- ・ B4/B5



（4）ページ毎出力

PC

E-Mail

一度に読み込んだ原稿を 1 ページごとにファイルを作成し、送信します。
[設定なし]なら、複数原稿を読み込んだ場合、1 つのファイルにします。

スキャナ機能（本体）を使いこなす

（5）フルスキャン

PC

E-Mail

TWAIN


フルスキャンを“設定する”にすると、指定された原稿サイズ全ての領域を画像としてスキャンします。
“設定しない”では一回り小さくスキャンします。サイズいっぱいには書かれた原稿、写真などをスキャンするときは、〔設定する〕に設定してください。スキャナ初期設定から設定すると、スキャンする全ての原稿をフルスキャンで送信します。

※デフォルト値：設定しない

※原稿サイズ入力でカスタムサイズに設定すると、常にフルスキャンで送信します。


※フルスキャンを設定しても、わずかに余白がつきます。

※この機能はタッチパネル対応機で使用できます。



スキャン
領域

フルスキャン “設定しない”



スキャン
領域

フルスキャン “設定する”

スキャナ機能（本体）を使いこなす

（6）センター移動

PC

E-Mail

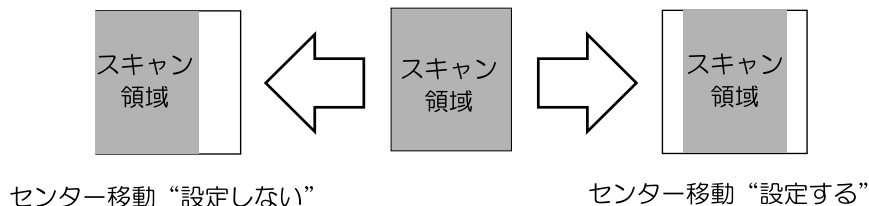
TWAIN

画像が送信サイズの中央になるようスキャンされます。原稿サイズを拡大（もしくは縮小）する時に、縦横の比率が異なる送信サイズを指定した場合、余白をどのようにつけるかを設定できます。初期設定から設定すると、スキャンする全ての原稿をセンター移動で送信します。

※ デフォルト値：設定しない

※ “センター移動” は、KM-1650/2050/2550/3035/4035/4530/5035/5530/6330/7530/C850/C850D/C2630/C2630D で設定できます。

◎例 原稿サイズと縦横の比率が異なる送信サイズを指定した場合



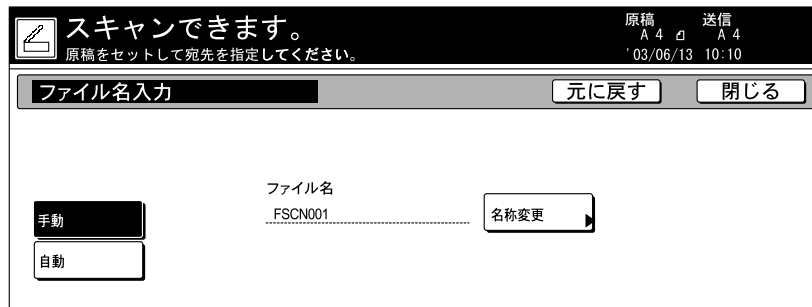
スキャナ機能（本体）を使いこなす

（7）ファイル名入力

PC

E-Mail

ファイル名を入力することができます。ここの設定が「自動」であれば、ファイル名を自動的に設定しますが、任意にファイル名を変更したい場合は「手動」を選択してから「名称変更」を押して、ファイル名を変更してください。



※スキャナ初期設定、[「ファイル名入力」優先]の設定が「設定する」の場合（P1-29参照）、
「ファイル名入力」ボタンの位置が「応用」タブから「基本」タブの中に変更されます。（かわりに
「原稿タイプ」が「応用」タブに中に変更されます）また、この場合、「ファイル名入力」を押すと
上記画面が表示されずに、ファイル名入力画面になります。
※この機能はタッチパネル対応機で使用できます。

スキャナ機能（本体）を使いこなす

“圧縮サイズ超過時の非圧縮”の設定

本スキャナでは画像を読み込み時に MMR 形式で圧縮をかけます。その際、写真、グレースケール画像などの網点画像（印刷物の写真をよく見ると、点の集合で濃淡を表しています。あれを網点といいます。）を圧縮すると、圧縮をする前より、データ容量が大きくなる場合があります。このような場合に、圧縮をするかどうかの設定を行うことができます。

※ “圧縮サイズ超過時の非圧縮” は、KM-1650/2050/2550/3035/4035/4530/5035/5530/6330/7530/C850/C850D/C2630/C2630D で設定できます。

< 設定方法 > ※タッチパネル機の場合

1. 本機の初期設定キーを押してスキャナの [システム基本設定] 画面を表示させます。[システム基本設定] 画面を表示させるまでの手順はセットアップマニュアルの P2-2 “（3）本機タッチパネルからの設定” をご参照ください。
2. ▲▼で [圧縮サイズ超過時の非圧縮] を選択し、[設定値変更] を押してください。設定変更画面が表示されます。

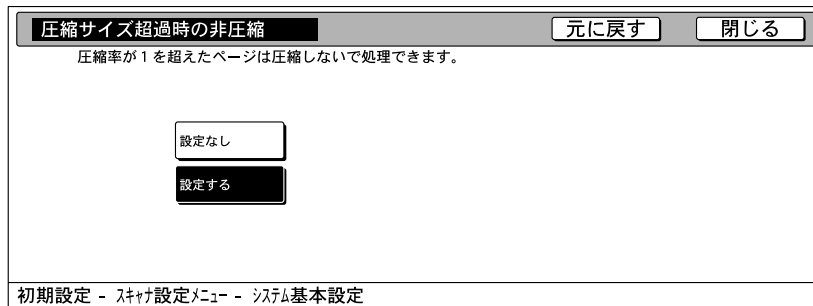
初期設定画面

システム基本設定		閉じる	
設定項目	設定値		
WINサーバ(ホスト名)	0.0.0.0	▲	▲ 前へ
管理者メールアドレス	(登録なし)	▼	▼ 次へ
ファスキャン	設定しない		
センタ移動	設定しない		
圧縮サイズ超過時の非圧縮	設定する	設定値変更	

初期設定 - スキャナ設定メニュー

スキャナ機能（本体）を使いこなす

3. 圧縮をかける前よりデータが大きくなる（圧縮率が1を超えた）ページを、圧縮をかけないようにする場合には、〔設定する〕、超えても圧縮をかける場合は、〔設定なし〕を選択してください。設定が終了したら、〔閉じる〕を押してください。



※デフォルト値：設定する

※アプリケーションソフトの中では画像データの圧縮と非圧縮の混在を認めないものがあり、この設定を有効にするとうまく動作しないことがあります。そのようなソフトをご使用の場合は、“設定なし”に変更してください。

スキャナ機能（本体）を使いこなす

“連続送信”の設定

PC

E-Mail

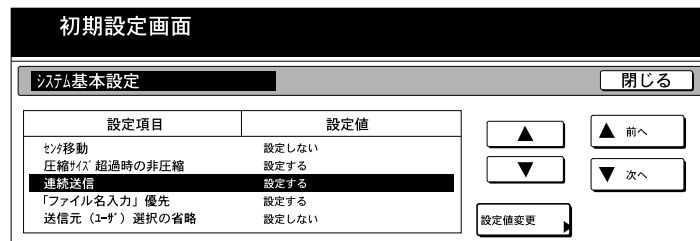
連続送信を設定すると、送信を行っても、前に送信した設定事項の、送信元（ユーザ）、宛先、各種設定が、そのままの状態ですキャン設定画面（「[スキャンできます]」が表示されている画面）に戻りますので、一度行った設定を、再び行う必要がなくなります。

※ PC 送信時は、Scanner File Utility の「[ファイルの上書き保存を許可]」にチェックした状態（P3-13 参照）で、ファイルを送信すると、同じ名称のファイルは上書きされます。連続送信時にファイル名を入力して送信する場合は、注意してください。

※連続送信を設定していて、作業を終了するときは、必ずスキャン設定画面の「[作業中止]」ボタンを押してください。「[作業中止]」ボタンを押さないと、スキャン設定画面のまま、その他のコピー、プリント、FAX などの機能が使用できないことがあります。また、使用者以外のほかの方に使用される可能性がありますので十分にお気をつけください。

< 設定方法 > (初期設定)※タッチパネル機の場合

1. 本機の初期設定キーを押してスキャナの「[システム基本設定]」画面を表示させます。「[システム基本設定]」画面を表示させるまでの手順はセットアップマニュアルの P2-2 “（3）本機タッチパネルからの設定” をご参照ください。
2. ▲▼で「[連続送信]」を選択し、「[設定値変更]」を押してください。設定変更画面が表示されます。



スキャナ機能（本体）を使いこなす

3. 初期状態で、連続して送信を行う設定にする場合には「設定する」、同じ設定で再度送信を行わない設定にする場合には、「設定しない」を選択してください。設定が終了したら、「閉じる」を押してください。

連続送信

元に戻す 閉じる

初期状態で連続して送信するかどうかを設定できます。
連続送信すると複数の送信を連続しておこなえます。
初期状態

設定しない
設定する

初期設定 - スキャナ設定メニュー - システム基本設定

※デフォルト値：設定する

< 設定方法 > (送信時の単送信と連続送信の切り替え)

1. 本機でスキャン設定画面（「スキャンできます」が表示されている画面）を表示させます。ここではPC送信の画像読み込みを例に説明します。スキャン設定画面を表示させるまでの手順はセットアップマニュアルのP3-1 “（3）PC送信、Eメール送信の画像読み込み方法”をご参照ください。

スキャンできます。
原稿を送って宛先を指定してください。

原稿 A4 送信 A4
03/06/13 10:10

PC送信 - 連続送信

単送信へ 作業中止

宛先

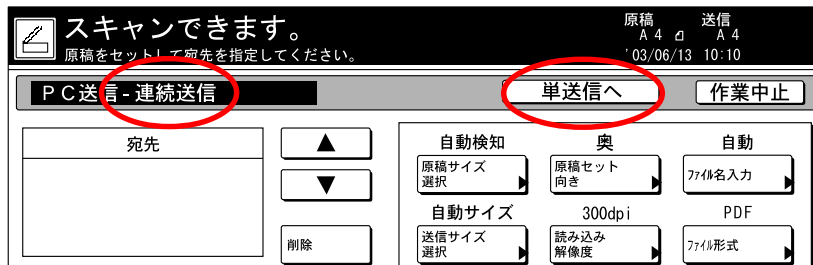
自動検知 奥 自動

原稿サイズ選択 原稿セット向き ファイル名入力

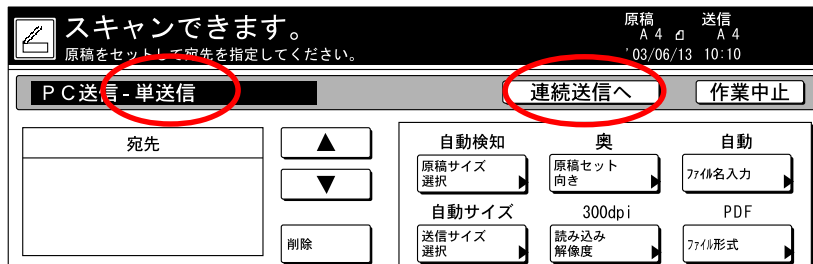
自動サイズ 300dpi PDF

スキャナ機能（本体）を使いこなす

2. 手順1の画面ではPC送信の表示の左に「連続送信」と表示されています。この設定では連続して送信します。1度の送信で終了する単送信を行う場合は、画面左の「単送信へ」を押します。



3. PC 送信の表示の左に「単送信」と表示されています。この設定では1度の送信で終了する単送信で送信します。再び、連続して送信を行う場合は、「連続送信へ」を押してください。



スキャナ機能（本体）を使いこなす

“「ファイル名入力」優先”の設定

PC

E-Mail

スキャン設定画面（「スキャンできます」が表示されている画面）で「ファイル名入力」ボタンの位置が「応用」タブから「基本」タブの中に変更されます。（かわりに「原稿タイプ」が「応用」タブの中に変更されます）ファイル名の変更を頻繁に行う場合は、この設定を行うと便利です。

※「「ファイル名入力」優先」を設定すると、スキャン設定画面の「ファイル名入力」を選択したとき、
「自動」、「手動」切り替え設定画面が省略され、すぐに文字入力画面が表示されます。（P1-23 参照）

※この機能はタッチパネル対応機で使用できます。

< 設定方法 > (初期設定)

1. 本機の初期設定キーを押してスキャナの「システム基本設定」画面を表示させます。「システム基本設定」画面を表示させるまでの手順はセットアップマニュアルのP2-2 “（3）本機タッチパネルからの設定”をご参照ください。
2. ▲▼で「「ファイル名入力」優先」を選択し、「設定値変更」を押してください。設定変更画面が表示されます。

初期設定画面

システム基本設定

閉じる

設定項目	設定値
センタ移動	設定しない
圧縮サイズ 超過時の非圧縮	設定する
連続送信	設定する
「ファイル名入力」優先	設定する
送信元（ユーザ）選択の省略	設定しない

▲

▼

設定値変更

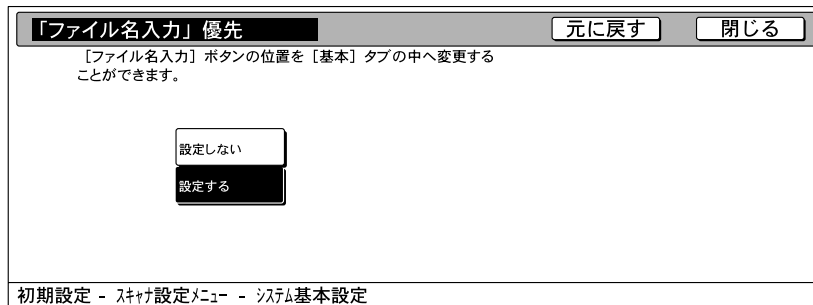
▲ 前へ

▼ 次へ

初期設定 - スキャナ設定メニュー

スキャナ機能（本体）を使いこなす

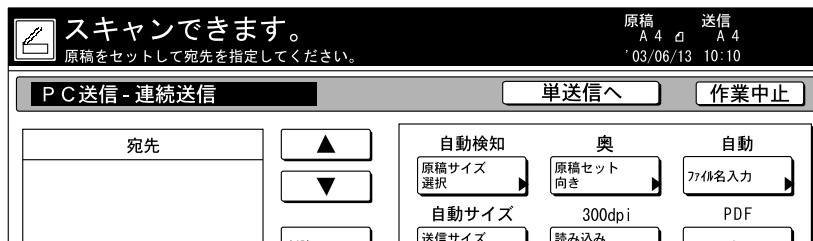
3. [「ファイル名入力」優先] を設定する場合は[設定する]、設定しない場合は、[設定しない] を選択してください。設定が終了したら、[閉じる] を押してください。



※デフォルト値：設定する

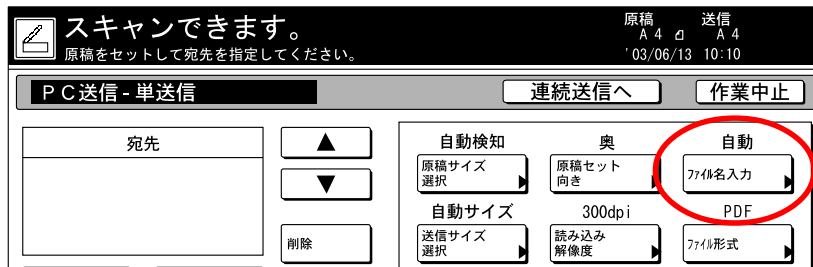
< 設定例 >（「ファイル名入力」優先）を設定している場合）

1. 本機でスキャン設定画面（[スキャンできます] が表示されている画面）を表示させます。ここではPC送信の画像読み込み方を例に説明します。スキャン設定画面を表示させるまでの手順はセットアップマニュアルのP3-1 “（3）PC送信、Eメール送信の画像読み込み方法”をご参照ください。



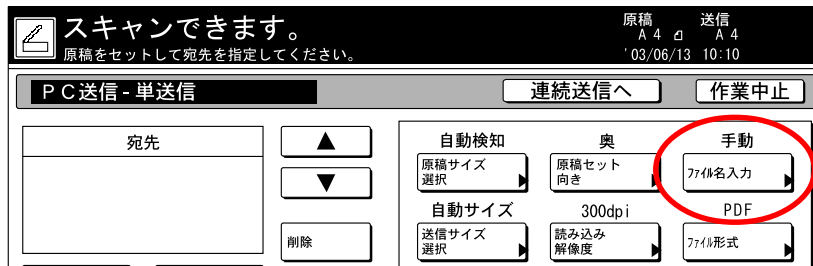
スキャナ機能（本体）を使いこなす

2. 初期設定で「ファイル名入力」優先]を設定している場合は、基本タブ上に「ファイル名入力」が表示されます。ファイル名を変更する場合は、「ファイル名入力」を押してください。ファイル名入力画面となります。



※ [「ファイル名入力」優先]を設定している場合は、[自動]、[手動] 切り替え画面が省略されます。

3. ファイル名入力後、「入力終了」を押してください。再び、スキャン設定画面に戻ります。



スキャナ機能（本体）を使いこなす

“送信元（ユーザ）選択の省略”の設定

PC

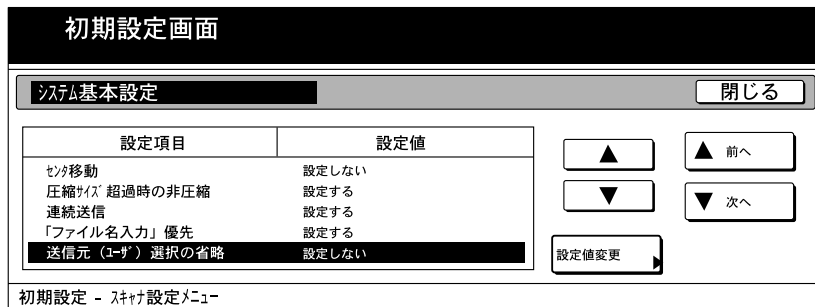
E-Mail

本スキャナを使用するには、まず、送信元（ユーザ）を選択する操作を行います。 “送信元（ユーザ）選択の省略”の設定を行うと、送信元（ユーザ）をユーザ番号 001 に固定して、選択操作を省略することができます。スキャナを使用される方が限定されている場合、操作を省略したい場合などにご利用ください。

※ “送信元（ユーザ）選択の省略”の設定をして、ユーザ番号 001 にユーザ登録を行っていないとエラーメッセージが表示され、スキャンできません。

< 設定方法 > (初期設定)※タッチパネル機の場合

1. 本機の初期設定キーを押してスキャナの [システム基本設定] 画面を表示させます。 [システム基本設定] 画面を表示させるまでの手順はセットアップマニュアルの P2-2 “（3）本機タッチパネルからの設定” をご参照ください。
2. ▲▼で [送信元（ユーザ）選択の省略] を選択し、 [設定値変更] を押してください。設定変更画面が表示されます。



スキャナ機能（本体）を使いこなす

3. [送信元（ユーザ）選択の省略] を設定する場合は [設定する]、設定しない場合は、[設定なし] を選択してください。設定が終了したら、[閉じる] を押してください。

送信元（ユーザ）選択の省略

元に戻す

閉じる

送信元（ユーザ）をユーザ番号001に固定して、選択操作を省略することができます。

設定しない

設定する

初期設定 - スキャナ設定メニュー - システム基本設定

※デフォルト値：設定しない

第2章

Web ブラウザからの設定

Web ページ機能

Web ページ機能は、スキャナ機能に関する管理を Web ブラウザソフトを使って行えるようにしたものです。ネットワーク設定の変更 / スキャナ初期設定 / PC 送信 / メール送信に関する設定などを、ネットワークを介して簡便に行うことができます。

重要 ご使用の前に

- Web ブラウザソフトがインストールされている必要があります。Web ブラウザソフトは、Netscape Navigator 4.0 以降または Internet Explorer 4.0 以降を推奨いたします。
- Web ページ機能の使用にあたっては、あらかじめスキャナインタフェースカードの IP アドレスが設定されている必要があります。（P2-13 参照）
- PC から文字入力の時に、正しく入力しないとスキャナが正常に動作しない場合があります。本マニュアルまたは、Web ページに半角、全角入力などの文字制限が記載されていますので、よくご確認の上、入力を行ってください。

目的別インデックス

下表に Web ページ機能で設定できる主な項目を目的別にまとめました。設定操作を行う際のインデックスとしてお役立てください。

ネットワークに関する設定をする。	スキャナインタフェースカードのネットワークに関する設定について説明しています。	P2-13
管理者用のパスワードを設定する。	Webページ機能を使う際の管理パスワードについて説明しています。	P2-15
スキャナの画像読み込みの初期設定を変更する。	原稿種別や解像度など、読み取り画像設定について設定しています。	P2-21
送信者アドレスを登録する。	スキャナからPCへメール送信する際の送信者側のアドレスの登録方法について説明しています。	P2-23
送信先PCを登録する。	スキャナから画像を送る際に、相手先となるPCの登録について説明しています。	P2-29
送信先アドレスを登録する。	スキャナからPCへメール送信する際の送信先のアドレスの登録方法について説明しています。	P2-39

Web ブラウザの動作が不安定なとき

Web ブラウザからスキャナインタフェースカードやユーティリティについての設定を行う際に、スキャナ本体のネットワーク設定が正しいにもかかわらず Web ブラウザ上での設定がスキャナ本体とうまくつながらない場合などは、スキャナ本体の電源を入れ直してください。スキャナインタフェースカードの再起動が行われます。再起動には時間がかかりますので少々お待ちください。

“インターネットサイトXXXXXXを開けません” など、接続できないことを表す表示が出たとき

次の点を確認してください。

- ・ スキャナ本体が初期画面（“コピーできます”の画面）になっていない。
→ 初期画面でない場合は、初期画面（コピーできますの画面）に戻してください。

“ページを表示できません。”と表示が出たとき

次の点を確認してください。

- ・ スキャナ本体の起動、再起動が完了していない。
→ しばらく待ってから、再度接続を行ってください。

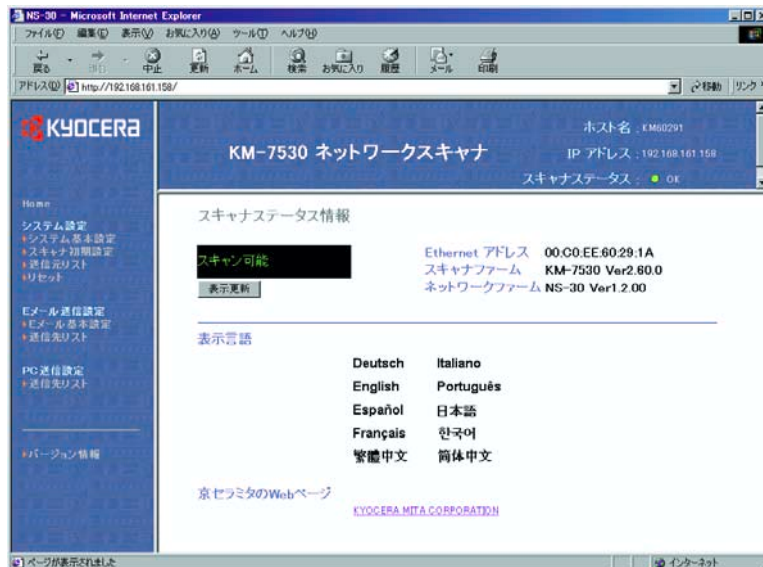
“XXX アクセスが禁止されています”と表示が出たとき

次の点を確認してください。

- ・ スキャナ本体が操作中である。
→ スキャナ本体の操作が終了し、スキャナ機能選択画面に戻ったことを確認してから再度接続してください。

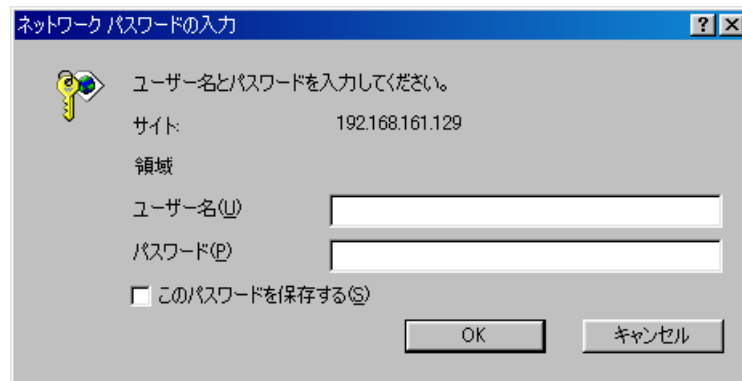
Web ページ機能の使用方法

1. Web ブラウザソフトを起動してください。
2. アドレス入力欄にスキャナインタフェースカードの IP アドレスか、ホスト名を入力してください。
3. キーボードの Enter キーを押してください。
4. Web ページ機能のトップページが表示されます。
※機種によって画面は多少異なります。



Web ページ機能の使用方法

5. パスワードを設定している場合、ページ左のシステム基本設定をクリックすると、以下のダイアログが表示されます。パスワードを入力し、OK ボタンをクリックしてください。



ネットワーク パスワードの入力

ユーザー名とパスワードを入力してください。

サイト: 192.168.161.129

領域

ユーザー名(U)

パスワード(P)

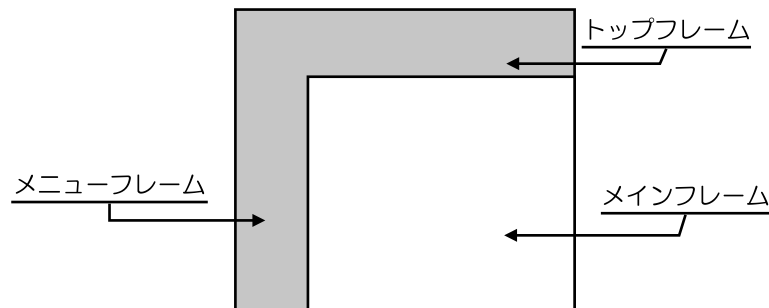
☐ このパスワードを保存する(S)

OK キャンセル

画面構成

トップページは3つのフレームから構成されています。

- トップフレーム スキャナインタフェースカードの IP アドレス／スキャナステータスを表示します。（P2-8 参照）



- メニューフレーム スキャナインタフェースカードまたはスキャナについて、設定したい項目の選択を行うことができます。（P2-9 参照）
- メインフレーム スキャナのシステム情報が表示されます。（P2-10 参照）

トップフレーム

トップフレームには、スキャナインタフェースカードの IP アドレスとスキャナステータスを表示します。

<IP アドレス>

- ・スキャナインタフェースカードが保持しているアドレスを表示します。

< スキャナステータス >

- ・レディ状態であれば、スキャナステータス には “● OK” が表示されます。
- ・レディ状態でないときは、“● OTHER” が表示されます。

※OTHER 表示時のスキャナの状態は、“スキャナステータス情報”で確認できます。

※スキャナステータスは、1 分ごとに更新されます。

メニューフレーム

メニューフレームでは、スキャナインタフェースカードまたはスキャナについて、設定したい項目の選択を行うことができます。

※メニューフレームの各項目は、続けて設定することができます。ただし、設定途中に再び同じ項目を選択するとそれまでに設定しようとしていた内容は破棄されます。

● Home

“Home”を選択すると、ブラウザでスキャナインタフェースカードにアクセスしたときのトップページに戻ることができます。

● システム設定

“システム設定”は、スキャナインタフェースカードに関する設定などを行うためのもので、次の3項目で構成されています。

- ・システム基本設定 ネットワークに関する設定を行うことができます。
- ・スキャナ初期設定 スキャナの主な機能の初期値を設定することができます。
- ・送信元リスト ネットワークスキャナ機能（Eメール送信、PC送信）を使用できる送信元（ユーザ）リストを設定することができます。
- ・リセット スキャナインタフェースカードのリセットまたは、工場出荷時の状態に戻します。

● Eメール送信設定

“Eメール送信設定”は、メール送信に必要な基本設定を行うためのものです。

- ・Eメール基本設定 メール送信を行う際の基本的事項に関する設定を行うことができます。
- ・送信先リスト メール送信先のアドレス登録などを行うことができます。

● PC送信設定

“PC送信設定”では、保存先 PC にファイル送信を行うための各種設定を行うことができます。

- ・送信先リスト 保存先 PC の登録などを行うことができます。

メインフレーム

スキャナのシステム情報が表示されます。また、言語切替もここで行うことができます。

※起動時には、初期値が表示されています。

●スキャナステータス情報

トップページのスキャナステータスが“● OTHER”に変わった際に、“表示更新”ボタンをクリックすると本体がどのような状態であるかがここに表示されます。また、スキャナステータスが“● OK”の場合は、“スキャン可能”が表示されます。

< スキャナステータス >

スキャナ本体から取得可能なステータス項目として次の 6 項目があります。

スキャン可能 / スキャナ使用中 / DP（原稿送り装置）部紙詰まり / システムエラー / 処理中 / パワーセーブモード

●Ethernet アドレス

スキャナインタフェースカードの MAC アドレスが表示されます。

●スキャナファーム

スキャナのファームウェアバージョンが表示されます。

●ネットワークファーム

スキャナインタフェースカードのファームウェアバージョンが表示されます。

●カラープロファイル（カラースキャナのみ）

本機対応のカラープロファイルのファイル名が表示されます。

●表示言語

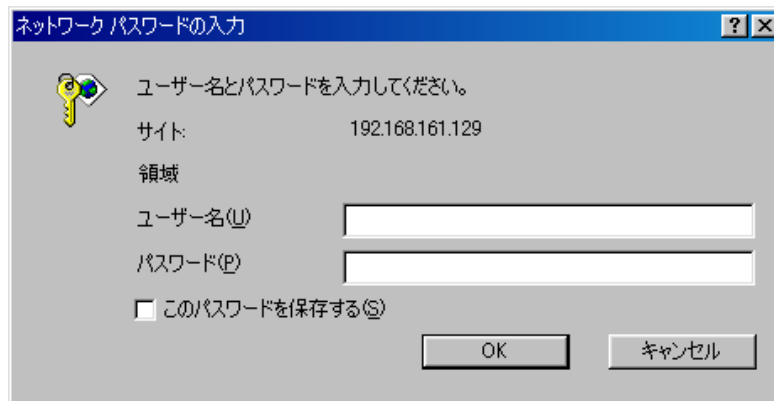
Web ページで表示する言語を切り替えることができます。

システム設定

システム設定では、スキャナインタフェースカードの設定を行います。
各項目の設定は、スキャナがスキャン可能状態の時にだけ、その設定を変更することができます。

設定条件

スキャナインタフェースカードの設定およびスキャナ関連の設定を行うためには、管理者のパスワードの入力が必要です。



- ・パスワードは、“システム基本設定” の“管理者” で変更することが可能です。
出荷時には、スキャナインタフェースカードのパスワードは設定されていません。

システム設定

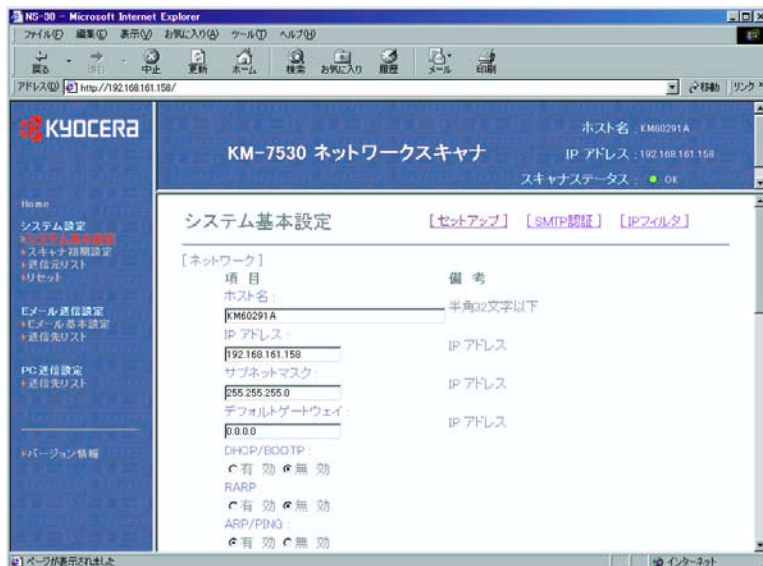
システム基本設定

ここでは、スキャナインタフェースカードの基本設定 [セットアップ] の“ネットワーク”、“管理者”の設定を行います。

※ “SMTP 認証”を設定する場合は、[SMTP 認証] をクリックしてください。（P2-17 参照）

※ “IP フィルタ”を設定する場合は、[IP フィルタ] をクリックしてください。（P2-19 参照）

重要 設定を行った後は、必ず“登録”ボタンをクリックしてください。



システム設定

[セットアップ]-[ネットワーク]

- ホスト名

スキャナのホスト名を 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。

- IP アドレス

スキャナインタフェースカードの IP アドレスを “XXX.XXX.XXX.XXX” の形式で入力してください。

- サブネットマスク

スキャナインタフェースカードのサブネットマスクを “XXX.XXX.XXX.XXX” の形式で入力してください。

- デフォルトゲートウェイ

スキャナインタフェースカードのデフォルトゲートウェイを “XXX.XXX.XXX.XXX” の形式で入力してください。

- DHCP/BOOTP

DHCP と BOOTP を “有効” と、“無効” のどちらにするかの設定を行います。初期値は “有効” に設定されています。

- RARP

RARP を “有効” と、“無効” のどちらにするかの設定を行います。初期値は “有効” に設定されています。

- ARP/PING

ARP/PING を “有効” と、“無効” のどちらにするかの設定を行います。初期値は “有効” に設定されています。

システム設定

- DNS サーバ（プライマリ）

DNS サーバが設置された環境で、ホスト名を使ってデータ送信を行う場合には、この欄にプライマリの DNS サーバの IP アドレスを “XXX.XXX.XXX.XXX” の形式で入力してください。

- DNS サーバ（セカンダリ）

この欄には、セカンダリの DNS サーバの IP アドレスを “XXX.XXX.XXX.XXX” の形式で入力してください。

- DNS ドメイン名

ドメイン名を、32 文字以内（半角英数字）で入力してください。

- WINS サーバ（プライマリ）

コンピュータ名から IP アドレスの解決に WINS（Windows Internet Name Service）を使用する場合には、この欄にプライマリの WINS サーバの IP アドレスを “XXX.XXX.XXX.XXX” 形式で入力してください。

- WINS サーバ（セカンダリ）

この欄にセカンダリの WINS サーバの IP アドレスを “XXX.XXX.XXX.XXX” 形式で入力してください。

- スコープ ID

この欄にスコープ ID を入力してください。

- SMTP サーバ名

この欄に SMTP サーバの IP アドレスを “XXX.XXX.XXX.XXX” 形式で入力するか、ホスト名を入力してください。

- SMTP ポート番号

この欄に SMTP ポート番号を入力してください。初期設定のポート番号は 25 です。

システム設定

●登録ボタン

“登録” ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がスキャナインタフェースカード側に反映されます。

●リセットボタン

“リセット” ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。

●データベースアシスタント

DB Assistant をインストールしている PC の IP アドレス、またはホスト名を 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。

注意

“登録” ボタンをクリックせずに他画面へ移動した場合、途中まで設定されている内容はスキャナインタフェースカード側に反映されずに破棄されます。

[セットアップ]-[管理者]

●Eメールアドレス

管理者の E メールアドレスを入力してください。スキャナ状態の Log ファイル、エラーレポート等をこのアドレス先に E メールとして送信されます。

●パスワード変更

パスワードの変更をする場合は“する”をしない場合は“しない”を選択してください。

●古いパスワード

すでにパスワードを設定している場合はここに古いパスワードを入力してください。

※ここで設定するパスワードは、スキャナ本体のネットワーク画面に入る際に必要となる 4 桁の管理者パスワードとはリンクしていません。

システム設定

●新しいパスワード

パスワードを変更する場合は、ここに新しいパスワードを8文字以内で入力してください。

※ここで設定するパスワードは、スキャナ本体のネットワーク画面に入る際に必要となる4桁の管理者パスワードとはリンクしていません。

●新しいパスワードの確認入力

“新しいパスワード”欄で入力した文字列をもう一度入力してください。

※ここでの入力は、パスワードの変更を行う際、新たにパスワードとして設定する文字列に入力誤りがないかを確認するためのものです。

●登録

“新しいパスワード”と“新しいパスワードの確認入力”の入力が完了した時点で“登録”ボタンをクリックすると新たに入力したパスワードがスキャナインタフェースカード側で設定されます。

※“登録”ボタンをクリックしたとき、“新しいパスワードの確認入力”欄への入力内容が“管理者パスワード変更”欄で入力した文字列と一致しなかったり、あるいは空欄状態のときは、エラー画面が表示されます。

重要 パスワードの設定を行った後は、必ず“登録”ボタンをクリックしてください。

●ファームウェアアップデート

ファームウェアを管理者に許可無く更新することは、セキュリティに対する深刻な脅威になりかねません。不適当なファームウェアにより、管理者以外の誰かが無意識にあるいは悪意を持ってファームウェアを更新した場合、ネットワークが動作不能になる可能性があります。ここでは、ファームウェアが無許可で更新されないようにセキュリティ対策が設けられています。ファームウェアのアップデートを許可する場合は、“有効”、許可しない場合は、“無効”を選択します。

システム設定

[SMTP 認証]

SMTP ページの認証入力項目は、SMTP サーバが E メールを送信するための認証データをサーバに送信するための設定です。SMTP サーバが ISP など遠隔地にある場合は、Eメールの送信に認証が必要になります。

重要 SMTP サーバが送信地と同じ場所になるときでも、その SMTP サーバがオープンリレーメールの中継点にされるのを防止するために、認証が必須になる場合があります。

認証データを SMTP サーバに渡すには、以下の手順で行います。

※ここで SMTP 認証（管理者用）を設定しておく、各ユーザ（40 名まで設定可能）に SMTP 認証の設定を行うことができます。（P2-26 参照）

1. スキャナの IP アドレスを Web ブラウザに入力して、スキャナのホームページを表示します。
2. 画面左列のメニューから「システム基本設定」を選択します。
3. [SMTP 認証]を選択します。



システム設定

4. [認証] を [有効] にします。
5. SMTP 認証に使用する [ログインアカウント名] を入力します。
6. 新たにパスワードを入力する、または変更する場合は、[パスワード変更] を [する] にします。
※パスワードを変更する必要がない場合は、[しない] にして、手順 9 に進みます。
7. 新しいパスワードを [新しいパスワード] 欄に入力します。
8. 新しいパスワードの確認を行います。[新しいパスワードの確認入力] 欄に手順 6 で入力したパスワードをもう一度入力します。
9. “登録” ボタンをクリックします。

SMTP認証

[\[セットアップ \]](#) [\[SMTP認証 \]](#) [\[IPフィルタ \]](#)

項 目	備 考
認証: <input checked="" type="radio"/> 有 効 <input type="radio"/> 無 効	
ログインアカウント名: <input type="text" value="smtpauthentication"/>	半角64文字以下
パスワード変更: <input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない	
新しいパスワード: <input type="text" value="*****"/>	半角31文字以下
新しいパスワードの確認入力: <input type="text" value="*****"/>	半角31文字以下

登 録

リセット

システム設定

[IP フィルタ]

本スキャナには、各種プロトコル別にアクセス可能な IP アドレスを限定するフィルタ機能が用意されており、許可されたアドレスだけが特定のプロトコルを利用できます。例えば IP フィルタを HTTP に設定すれば、特定のアドレスだけがスキャナのホームページおよび Address Editor にアクセスできます。

以下のプロトコルごとに、IP アドレスの有効範囲を4つまでフィルタリングできます。

HTTP / Address Editor、TELNET、AdminManager、TWAIN、NETWORK FAX（FAX対応機種のみ）

IP フィルタは、Address Editor や、本スキャナのホームページから設定できます。ここでは Web ブラウザを使用した場合の手順を説明します。

1. スキャナの IP アドレスを Web ブラウザに入力して、スキャナのホームページを表示します。
2. 画面左列のメニューから「システム基本設定」を選択します。
3. [IP フィルタ]を選択します。



システム設定

4. プロトコル名の左側のチェックボックスにチェックを入れて、プロトコルのフィルタリングを有効にします。
5. 有効にする IP アドレス範囲を 4 つまで入力できます。単一の IP アドレスを有効にする場合は、[開始アドレス] にのみ入力します。
6. “登録” ボタンをクリックします。

※下図に示した設定では、IP アドレス 10.10.10.1 ~ 50 と IP アドレス 10.10.10.125 のみが本スキャナのホームページ（HTTP）と Address Editor にアクセスできます。

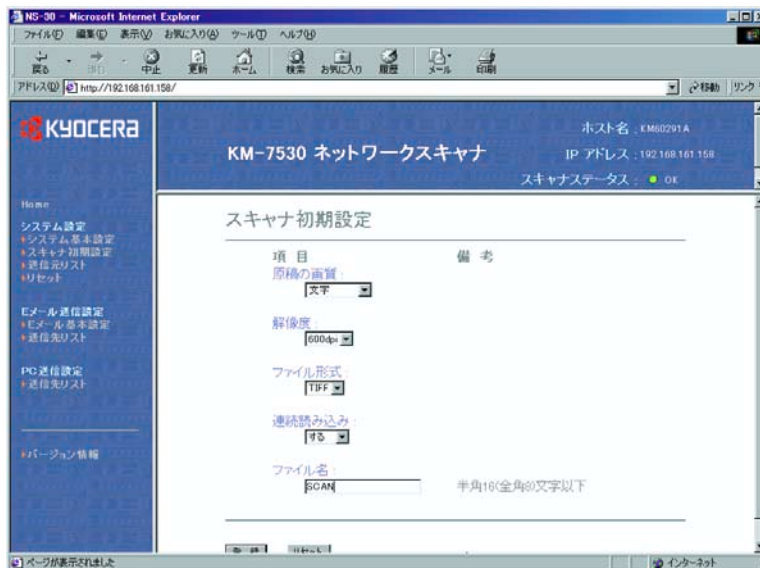
有効範囲 (IP アドレス)	
開始アドレス	終了アドレス
1 10.10.10.1	10.10.10.50
2 10.10.10.125	
3	
4	

有効範囲 (IP アドレス)	
開始アドレス	終了アドレス
1	
2	
3	

システム設定

スキャナ初期設定

スキャナの画像読み込みに関する初期設定を行うことができます。
また、読み込み条件や保存時のファイル名などの設定を行うこともできます。



システム設定

- **原稿種類（モノクロ機または、白黒選択時のみ）**
スキャンする原稿の種類に合わせて、次の4つのモードを選択することができます。
写真 / 文字 / 文字 + 写真 / OCR
- **解像度**
原稿読取時の解像度を次の4つの中から選ぶことができます。
600dpi / 400dpi / 300dpi / 200dpi
- **ファイル形式**
スキャン画像を保存する際のファイル形式を指定します。
TIFF / PDF / JPEG（カラー機のみ）
- **JPEG 画質（カラー機のみ）**
JPEG 画質を設定します。
1（低） / 2 / 3（標準） / 4 / 5（高）
- **カラー出カタイプ（カラー機のみ）**
カラー出カタイプを設定します。
RGB / sRGB
- **連続読み込み**
継続して原稿を読み込むか選択します。
する / しない
- **ファイル名**
スキャン画像保存時の名称を設定します。
ファイル名は、16文字以内（半角英数字）で入力してください。

システム設定

送信元リスト

ネットワークスキャナ機能（Eメール送信、PC送信）を使用できる送信元（ユーザ）リストの設定を行います。

●送信元リスト

この項目をクリックすると送信元（ユーザ）リストが表示されます。40件（No.001～No.020、No.021～No.40）までの送信元（ユーザ）の登録・確認・編集を行うことができます。

※各番号（No.）に“登録名称”が入力されている場合は、テキストボックス内に名称が表示されます。

Host名: KM60291A
IP アドレス: 192.168.161.158
スキャナステータス: OK

送信元(ユーザ)リスト —*番号をクリック

No.	登録名称	No.	登録名称	No.	登録名称	No.	登録名称
001	sender2	006	123456	011		016	
002	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	007	test	012		017	
003	123456	008		013		018	
004	123	009		014		019	
005		010		015		020	

設定を行いたい送信元（ユーザ）の番号をクリックすると“送信元（ユーザ）登録”画面が開き、送信元（ユーザ）に関する登録や編集を行うことができます。

重要 送信元（ユーザ）の登録や編集を行うときは、必ず最後に“登録”ボタンをクリックしてください。

システム設定

●送信元（ユーザ）登録

The screenshot shows the '送信元(ユーザ)登録' (Sender (User) Registration) page of the KYOCERA KM-7530 Network Scanner. The page is displayed in Microsoft Internet Explorer. The left sidebar contains a menu with options like 'システム設定' (System Settings), '送信元リスト' (Sender List), and 'メール送信設定' (Email Sending Settings). The main content area is titled '送信元(ユーザ)登録' and contains a form with the following fields:

項目	備考
登録番号: 004	
フリガナ:	
フリガナ:	半角16文字以下
登録名称:	半角16(全角8)文字以下
フリガナ:	
メールアドレス:	半角64文字以下
個人アドレス欄PCアドレス:	IP アドレスまたは ホスト名:半角32文字以下
保存先番号:	
001	{ 1 - 100 }
署名:	

- 登録番号
“送信元リスト”で選択した番号がここに表示されています。送信元登録テーブルの何番を登録・修正しているかを確認できるように表示されているもので、変更等はできません。
- フリガナ
登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは16文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。

システム設定

- ・登録名称
登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信元登録テーブルおよび本体操作部に表示されます。
※登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
- ・E メールアドレス
送信元（ユーザ）の E メールアドレスは、64 文字以内（半角英数字）で入力してください。
- ・個人アドレス帳 PC アドレス
使用する個人アドレス帳（付属ユーティリティ アドレス帳 for Scanner）のインストールされている PC のアドレスを入力します。IP アドレスを“XXX.XXX.XXX.XXX”形式で入力するか、ホスト名を入力してください。
- ・保存先番号
PC 送信での送信先 PC の保存先番号を設定します。
※設定できる保存先番号は 001 ～ 100 です。
- ・署名
E メール送信時の署名データを入力します。全角 128 文字以内、半角 256 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
- ・パスワード変更
パスワードの変更をする場合は“する”、しない場合は“しない”を選択してください。
- ・古いパスワード
すでにパスワードを設定している場合はここに古いパスワードを入力してください。
※ここで設定するパスワードは、スキャナ本体のネットワーク画面に入る際に必要となる 4 桁の管理者パスワードとはリンクしていません。

システム設定

- ・新しいパスワード
パスワードを変更する場合は、ここに新しいパスワードを8文字以内で入力してください。
※ここで設定するパスワードは、スキャナ本体のネットワーク画面に入る際に必要となる4桁の管理者パスワードとはリンクしていません。
- ・新しいパスワードの確認入力
“新しいパスワード”欄で入力した文字列をもう一度入力してください。
※ここでの入力は、パスワードの変更を行う際、新たにパスワードとして設定する文字列に入力誤りがないかを確認するためのものです。
- ・SMTP 認証
ユーザのSMTP 認証に使用する[ログインアカウント名]を入力します。
※各ユーザにSMTP 認証を設定する場合は、事前にシステム基本設定でSMTP 認証を設定する必要があります。(P2-17 参照)
- ・パスワード変更
ユーザのSMTP 認証パスワードの変更をする場合は“する”、しない場合は“しない”を選択してください。
- ・新しいパスワード
ユーザのSMTP 認証に使用するパスワードを変更する場合は、ここに新しいパスワードを8文字以内で入力してください。
- ・新しいパスワードの確認入力
“新しいパスワード”欄で入力した文字列をもう一度入力してください。
※ここでの入力は、パスワードの変更を行う際、新たにパスワードとして設定する文字列に入力誤りがないかを確認するためのものです。

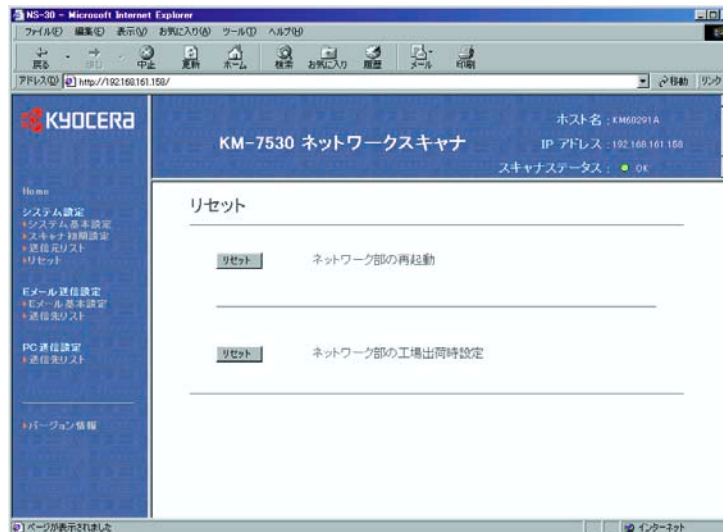
システム設定

- ・登録ボタン
“登録”をクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。
クリックしないでページを移動した場合は、入力した情報は破棄されます。
- ・リセットボタン
“リセット”ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。
- ・登録削除ボタン
“登録削除”ボタンをクリックすると、表示されている送信元（ユーザ）が削除されます。

システム設定

リセット

各リセットボタンを押すと、確認ダイアログが表示され、OK を押すと、リセットまたは、工場出荷時の状態に戻します。



- ネットワーク部の再起動
スキャナを再起動します。
- ネットワーク部の工場出荷時設定
以前の設定をすべて初期化し、工場出荷時の状態に戻します。

PC 送信設定

スキャナを使うと、スキャナで読み取った画像データをあらかじめ登録した PC の指定したフォルダに送信することができます。

ここでは、その場合の送信先 PC の登録について説明しています。

※ Scanner File Utility の機能については、P3-4 ～ P3-22 をご参照ください。

送信先リスト

●送信先リスト（PC）

この項目をクリックすると、送信先 PC の登録画面が表示されます。100 件（ No.001 ～ No.100）までの送信先 PC の登録・確認・編集を行うことができます。

※各番号の“登録名称”が設定されている場合は、テキストボックス内に表示されます。

送信先リスト(PC) —* 番号をクリック

[\[001-020 \]](#) [\[021-040 \]](#) [\[041-060 \]](#) [\[061-080 \]](#) [\[081-100 \]](#)

No.	種別	登録名称	No.	種別	登録名称	No.	種別	登録名称	No.	種別	登録名称
001		kudamono	006		osusi	011		oden	016		gaikoku
002		banana	007		anago	012		tamago	017		supein
003		pain	008		maguro	013		daikon	018		taiwan
004		remon	009		tai	014		suji	019		nyu-jirando
005		budou	010		ika	015		konnyaku	020		bari

設定を行いたい送信先 PC の番号をクリックすると、“送信先 PC”画面が開きます。

・ No.

登録番号が表示されます。登録・編集を行いたい番号をクリックすると、“送信先登録（PC）”画面が表示します。

PC 送信設定

- ・ 種別
登録方法がシングル登録かグループ登録かを表示します。



：グループ登録されている場合に表示します。



：シングル登録されている場合に表示します。

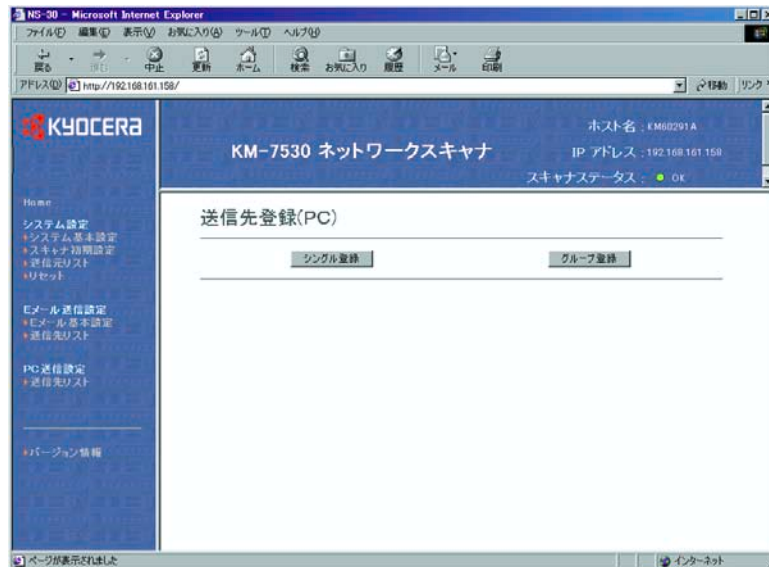
- ・ 登録名称
設定されている登録名称を表示します。

重要 送信先 PC の登録や編集を行うときは、必ず最後に“登録”ボタンをクリックしてください。

PC 送信設定

●送信先登録（PC）

“シングル登録”で登録するか“グループ登録”で登録するかを選択します。



“シングル登録”または“グループ登録”をクリックすると登録・編集画面が表示されます。

PC 送信設定

●送信先登録（PC）[シングル登録]

登録名称／送信先 PC／保存先番号の登録編集をすることができます。

送信先登録(PC)

項 目	備 考
登録番号 : 041	
フリガナ : <input type="text"/>	半角16文字以下
登録名称 : <input type="text"/>	半角16(全角8)文字以下
送信先 PC : <input type="text"/>	IP アドレスまたは ホスト名:半角32文字以下
保存先番号 : <input type="text" value="001"/>	(1 - 100)

- ・登録番号
“送信先リスト”で選択した番号がここに表示されています。送信先 PC 登録テーブルの何番を登録・修正しているかを確認できるよう表示されているもので、変更等ではできません。
- ・フリガナ
登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。

PC 送信設定

- ・登録名称
登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信先 PC 登録テーブルおよび本体操作部に表示されます。
※登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
- ・送信先 PC
送信先 PC の IP アドレスまたはホスト名を入力する欄です。両方を入力した場合は、IP アドレスが優先されます。
※ホスト名は 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。
- ・保存先番号
1 台の PC に対し、複数の保存先を指定する場合には、保存先番号を入力してください。
※1 台の PC に対して最大 100 件まで保存先（フォルダ）を指定することができます。（保存先番号は、1 ～ 100 が使用可能です）
- ・登録ボタン
“登録” ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。
クリックしない場合は、入力した情報は破棄されます。
- ・リセットボタン
“リセット” ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。
- ・登録削除ボタン
“登録削除” ボタンをクリックすると、表示されている送信先が削除されます。

PC 送信設定

●送信先登録（PC）[グループ登録]

送信先（PC）グループの登録編集をすることができます。

重要

送信先登録（PC）[シングル登録]を登録しないと、送信先登録（PC）[グループ登録]はできません。

No.	登録名称	No.	登録名称	No.	登録名称	No.	登録名称
<input type="checkbox"/> 001	ajddd	<input type="checkbox"/> 002	ajccc	<input type="checkbox"/> 003	ajbbb	<input type="checkbox"/> 004	ajeee

グループに登録したい送信先を選んで、No. の横のチェックボックスをクリックしてください。グループの登録名称やパスワードを入力して“登録”ボタンをクリックすると送信先グループに登録されます。

・フリガナ

登録名称のフリガナを 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。

・登録名称

登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信先 PC 登録テーブルおよび本体操作部に表示されます。

※登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。

- ・登録番号

“送信先リスト”で選択した番号がここに表示されています。送信先登録テーブルの何番を登録・修正しているかを確認できるように表示されているもので、変更等はできません。

- ・グループパスワード変更

グループパスワードを入力する欄です。

パスワードの変更をする場合は“する”を、しない場合は“しない”を選択してください。

- ・新しいパスワード

パスワードを変更する場合は、ここに新しいパスワードを 8 桁以内（数字）で入力してください。

- ・新しいパスワードの確認入力

“新しいパスワード”欄で入力した文字列をもう一度入力してください。

※ここでの入力は、パスワードの変更を行う際、新たにパスワードとして設定する文字列に入力誤りがないかを確認するためのものです。

- ・登録ボタン

“登録”ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。

クリックしないでページを移動した場合は、入力した情報は破棄されます。

- ・リセットボタン

“リセット”ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。

- ・登録削除ボタン

“登録削除”ボタンをクリックすると、表示されている送信元（ユーザ）が削除されます。

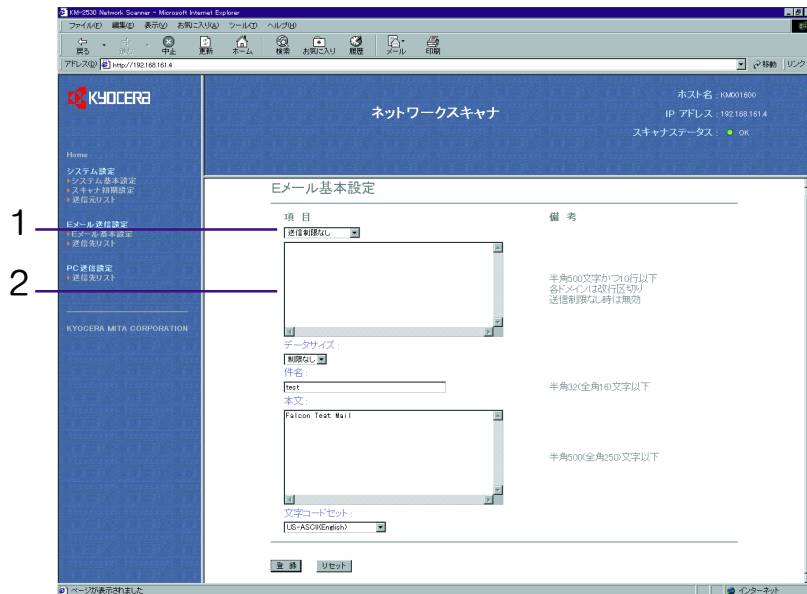
Eメール送信設定

スキャンした画像を PC へメール送信する際の各種設定について説明しています。

Eメール基本設定

ここでは、メール送信時に基本となる部分の設定を行います。

重要 設定を行った後は、“登録” ボタンをクリックしてください。



Eメール送信設定

●項目

1. 送信ドメイン設定 送信制限無し / 送信許可ドメイン名 / 送信制限ドメイン名の中から送信ドメインを選択します。

※ “送信制限なし” を選択するとドメインによる E メール送信制限を行わず、ドメイン登録の内容は無視されます。

※ “送信許可ドメイン名” を選択すると登録ドメインと一致するドメインを持つ宛先だけに E メール送信を許可されます。

※ “送信制限ドメイン名” を選択すると登録ドメインと一致するドメインを持つ宛先だけに E メール送信を許可しません。

2. ドメインデータ ドメインデータを入力します。
※各ドメインは改行区切り、500 文字以内（半角英数字）で入力します。
※ドメインは最大 10 ドメインまで登録できます。
※アスタリスク（*）を使用すると一括指定をすることができます。
（例）* .co.jp

●データサイズ

Eメール送信 1 件あたりの画像データサイズの上限を設定します。
制限なし / 高（2048KB） / 中（1024KB） / 低（512KB）

●件名

メールの件名を 32 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）または全角入力 16 文字以内で入力してください。

●本文

メールの本文は、この欄に入力してください。メールの本文には、500 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）または全角入力 32 文字以内の文章を登録することができます。

E メール送信設定

●文字コードセット

ここでは、メールに記述している文字の“コードセット”を指定します。

“コードセット”は、北米（US-ASCII） / 日本（シフトJIS） / 西ヨーロッパ（ISO-8859-1）の中から選択することができます。

※初期値は、北米（US-ASCII）が設定されています。メール配信先のPC環境に合わせてコードセットしてください。配信先が日本語環境であれば、日本（シフトJIS）を選択します。

●登録ボタン

“登録”ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。

クリックしないでページを移動した場合は、入力した情報は破棄されます。

●リセットボタン

“リセット”ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。

Eメール送信設定

送信先リスト

●送信先リスト

この項目をクリックすると、送信先登録画面が表示され、100件（No.001～No.100）までの送信先アドレスの登録・確認・編集を行うことができます。



※各番号の“登録名称”が設定されている場合は、テキストボックス内に表示されます。

送信先リスト(Eメール) → 番号をクリック

No.	種別	登録名称	No.	種別	登録名称	No.	種別	登録名称	No.	種別	登録名称
001		deliclayo	006		00	011		pooh2	016		pooh7
002		pooh	007		111	012		pooh3	017		pooh8
003		negalo	008		アイエホキアガソセア	013		pooh4	018		pooh9
004		121	009		ク	014		pooh5	019		pooh10
005		121	010		6p	015		pooh6	020		lv

送信先アドレスの設定を行いたい番号をクリックすると、“送信先登録”画面が開きます。

Eメール送信設定

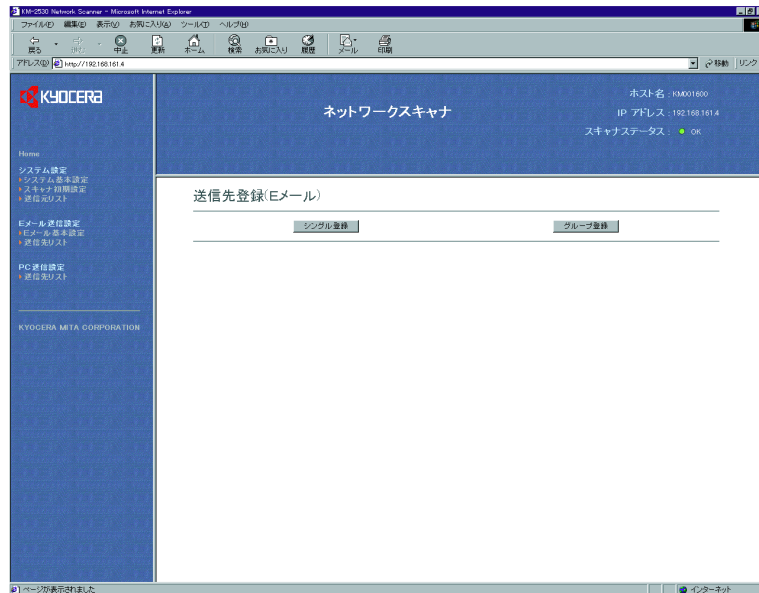
- No.
登録番号が表示されます。登録・編集を行いたい番号をクリックすると、“送信先登録（Eメール）”画面が表示します。
- 種別
登録方法をシングル登録またはグループ登録かを表示します。
：グループ登録されている場合に表示します。
：シングル登録されている場合に表示します。
- 登録名称
設定されている登録名称を表示します。

重要 設定を行った後は、必ず“登録”ボタンをクリックしてください。

Eメール送信設定

●送信先登録（Eメール）

“シングル登録”で登録するか“グループ登録”で登録するかを選択します。

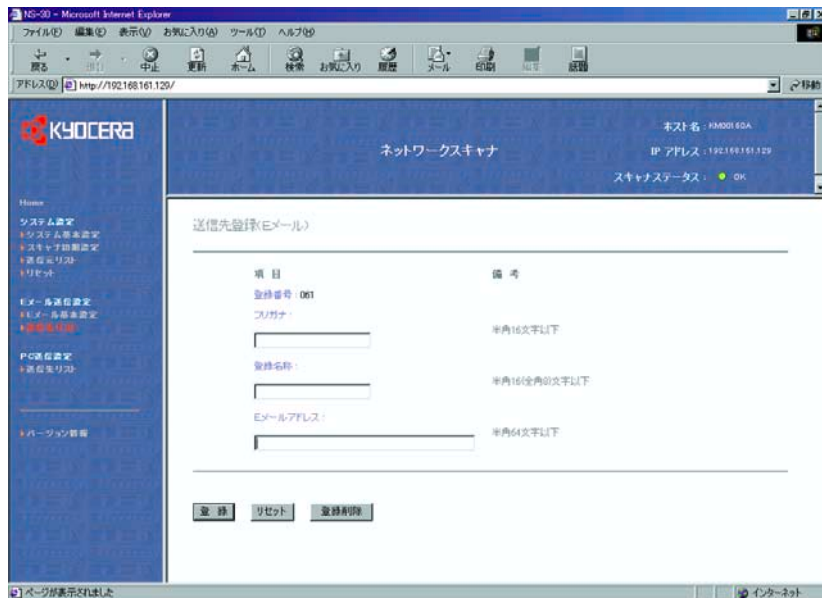


“シングル登録”または“グループ登録”をクリックすると登録・編集画面が表示します。

Eメール送信設定

●送信先登録[シングル]

個々の番号ごとの登録名称／送信先 E メールアドレスの登録編集を行います。



・登録番号

“送信先アドレスリスト”で選択した番号がここに表示されています。配信先登録テーブルの何番を登録・修正しているかを確認できるように表示されているもので、変更等はできません。

Eメール送信設定

- ・フリガナ
登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
- ・登録名称
登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信先リスト（E メール）および本体操作部に表示されます。
※登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
- ・E メールアドレス
送信先の E メールアドレスを入力する欄です。
- ・登録
“登録” ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナ本体側に登録されます。
クリックしない場合、入力した内容は破棄されます。
- ・リセットボタン
“リセット” ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。
- ・登録削除ボタン
“登録削除” ボタンをクリックすると、表示されている送信先が削除されます。

Eメール送信設定

●送信先登録[グループ登録]

送信先（Eメール）グループの登録編集をすることができます。

重要

送信先登録（Eメール）[シングル登録]を登録しないと、送信先登録（Eメール）[グループ登録]はできません。

The screenshot shows the '送信先グループ登録(PC)' (Destination Group Registration (PC)) page in the Kyocera Network Scanner web interface. The page has a blue header with the Kyocera logo and 'ネットワークスキャナ' (Network Scanner). On the right, it displays 'ホスト名: FMM001 SDA' and 'IP アドレス: 192.168.161.129'. Below the header, there are buttons for '登録' (Register), '選択取消' (Cancel Selection), 'リセット' (Reset), and '登録削除' (Delete Registration). The main content area is titled '送信先グループ登録(PC)' and includes a sub-header '--- チェックボックスをクリックしてメンバーを選択 ---'. There are two input fields: '登録番号' (Registration Number) with a value of '100' and 'フリガナ' (Kana) with a value of 'フリガナ'. Below these are two more input fields: '登録名称' (Registration Name) and 'フリガナ' (Kana). To the right of these fields are labels: '半角16文字以下' (Half-width 16 characters or less) and '半角16(全角8)文字以下' (Half-width 16 (Full-width 8) characters or less). Below the input fields, it says '現在001件が選択されています' (Currently 001 item is selected). At the bottom, there is a table with 24 columns, each with a 'No.' and a '登録名称' (Registration Name). The first column (No. 001) has a checked checkbox. The other columns (No. 002 to 024) have unchecked checkboxes.

No.	登録名称	No.	登録名称	No.	登録名称	No.	登録名称
<input checked="" type="checkbox"/> 001		<input type="checkbox"/> 002		<input type="checkbox"/> 003		<input type="checkbox"/> 004	
<input type="checkbox"/> 005		<input type="checkbox"/> 006		<input type="checkbox"/> 007		<input type="checkbox"/> 008	
<input type="checkbox"/> 009		<input type="checkbox"/> 010		<input type="checkbox"/> 011		<input type="checkbox"/> 012	
<input type="checkbox"/> 013		<input type="checkbox"/> 014		<input type="checkbox"/> 015		<input type="checkbox"/> 016	
<input type="checkbox"/> 017		<input type="checkbox"/> 018		<input type="checkbox"/> 019		<input type="checkbox"/> 020	
<input type="checkbox"/> 021		<input type="checkbox"/> 022		<input type="checkbox"/> 023		<input type="checkbox"/> 024	

グループに登録したい送信先を選んで、No. の横のチェックボックスをクリックしてください。グループの登録名称を入力して“登録”ボタンをクリックすると送信先グループに登録されます。

Eメール送信設定

- ・フリガナ
登録名称のフリガナを 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
- ・登録名称
登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信先（Eメール）登録テーブルおよび本体操作部に表示されます。
※登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
- ・登録番号
“送信先リスト”で選択した番号がここに表示されています。送信先登録テーブルの何番を登録・修正しているかを確認できるように表示されているもので、変更等はできません。
- ・登録ボタン
“登録”ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。
クリックしないでページを移動した場合は、入力した情報は破棄されます。
- ・リセットボタン
“リセット”ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。
- ・登録削除ボタン
“登録削除”ボタンをクリックすると、表示されている送信元（ユーザ）が削除されます。

第 3 章

付属ユーティリティ

付属ユーティリティのご紹介

Scanner File Utility	Address Editor
Scanner File Utility は、スキャナで読み込んだ画像イメージを PC 側で受信し、指定したフォルダに保存するユーティリティです。Scanner File Utility は、スキャナから受信した画像イメージをファイルとして保存します。	Address Editor は、スキャナのアドレス帳（共通アドレス帳）の登録、編集を行うためのツールです。管理者がアドレス帳のメンテナンスを行う場合に使用します。Address Editor に対応したスキャナが複数存在している場合は、それら全てのスキャナに同じ送信先リストを設定することなども容易に行えます。
アドレス帳 for Scanner	TWAIN Source
アドレス帳 for Scanner は、PC にインストールするアドレス帳です。これを使用すると、スキャナのユーザが自分専用の送信先リストを作成、利用することが可能になります。スキャナの操作部で「個人アドレス帳」を選択すると、そのときのユーザが利用できるアドレス帳 for Scanner が参照され、送信先の選択が行えます。	TWAIN Source は、TWAIN 対応アプリケーションから操作を行い、スキャナで読み込んだ画像イメージを TWAIN 対応アプリケーションに取り込むことを可能にするユーティリティです。取り込んだ画像は、TWAIN 対応アプリケーションで保存したり、加工することができます。

付属ユーティリティのご紹介

コンフィギュレーションツール

IB-2x コンフィギュレーションツールを使って、IP アドレスに関する設定を行うことができます。このツールを使うと弊社プリンタやスキャナのネットワーク設定を統一的に管理することが可能となります。

DB Assistant

DB Assistant は、画像データに文書情報を追加させることで、PC 上からファイルの検索、または分類をより簡単に行うことができます。この機能には、スキャンした画像に文書情報としてキーワード追加する KM-DB アシスト機能と、CSV ファイルを作成するデータベースアシスト機能があります。特に、KM-DB アシスト機能は、PC 上にある画像保存先フォルダのインデックス項目をスキャナ操作部上に表示させることができます。

Scanner File Utility

Scanner File Utility について

Scanner File Utility は、スキャナで読み込んだ画像イメージを PC 側で受信し、指定したフォルダに保存するユーティリティです。Scanner File Utility は、スキャナから受信した画像イメージを PC 上で保存します。Scanner File Utility のインストール後は PC 起動と同時にユーティリティも起動します。タスクバー上には、起動中を示すアイコンが表示され、スキャナからのデータを常時待ち受けます。

PC 側での操作は、任意の保存先フォルダやフォルダパスワードを事前に設定するだけです。あとはスキャナからの操作で指定したフォルダに画像データを保存することができます。

※ Scanner File Utility を使用するためには、Address Editor、アドレス帳 for Scanner または Web ページ機能を使って、事前にスキャナ本体に対し、送信先の PC と、保存先フォルダの情報を登録しておく必要があります。

※ DB Assistant を使ってスキャンした画像に文書情報を追加する場合は、保存先 PC 上で Scanner File Utility を起動させ、KM-DB アシスト（画像に文書情報を追加）で送信するか、データベースアシスト（画像と文書情報として CSV ファイルの作成）で送信するか選択する必要があります。

（１）事前準備

Scanner File Utility を使う際は、まず下記に示す設定を行ってください。

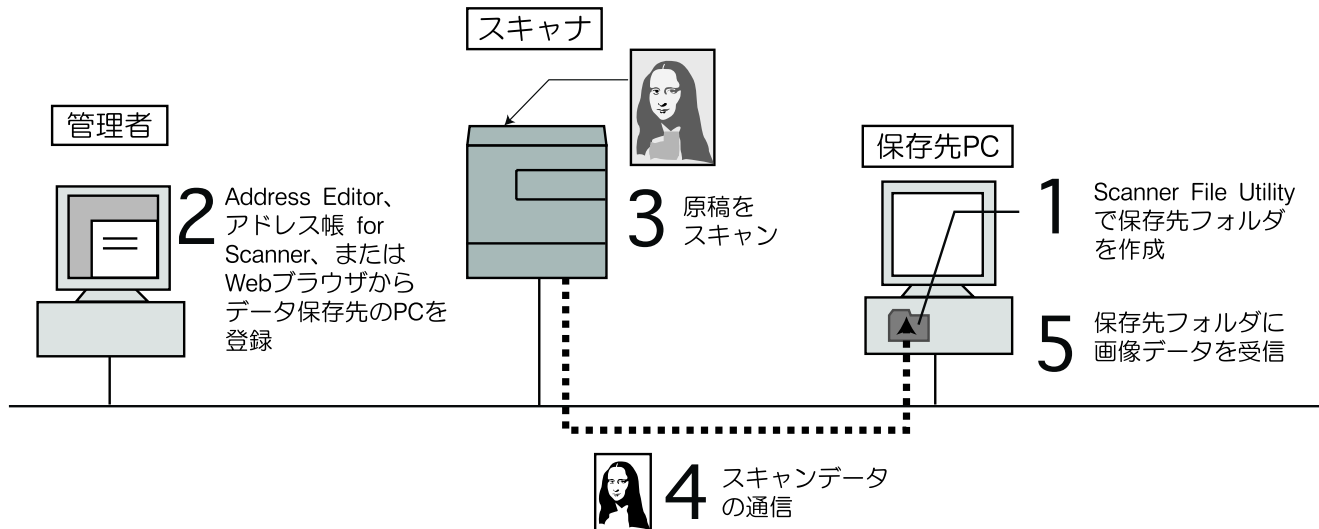
1. Scanner File Utility を PC にインストールします。（P3-7 参照）
2. Scanner File Utility を起動し、画像ファイルの保存先フォルダを登録します。（P3-13 参照）
3. Address Editor、アドレス帳 for Scanner または Web ブラウザからファイル保存先 PC の IP アドレス、登録名称と保存先番号を登録します。

※ 保存先番号入力欄に Scanner File Utility で登録した保存先フォルダの No.（1~100）と同じ番号を入力します。

Scanner File Utility

(2) 操作の流れ

Scanner File Utility を使って画面を PC に保存するまでの操作の流れは、下図のとおりです。



Scanner File Utility

動作環境

- ・ハードウェア IBM PC/AT 互換機
- ・インターフェイス 10BASE-T/100BASE-TX
- ・オペレーティングシステム Windows NT 4.0 (Service Pack 5以降),
Windows 2000 (Service Pack 2以降),
Windows 98 (Second Edition), Windows 95 (OSR2),
Windows Me, Windows XP, Windows Server 2003

Scanner File Utility

インストールとアンインストール

(1) Scanner File Utility のインストール

1. スキャナ CD のメインメニューで“スキャナーユーティリティ” をクリックしてください。次画面が表示されます。
※メインメニュー表示までの操作については、P1-3 “スキャナ CD-ROM の使いかた” を参照してください。



2. “Scanner File Utility” をクリックしてください。

Scanner File Utility

3. ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。
- ※ Windows2000、Windows Server 2003 または WindowsXP の場合、セットアップタイプの選択画面が表示されます。以下のセットアップタイプを選択して次に進んでください。



- サービスモードで
インストールする Scanner File Utility をファイルサーバなど、共有で使用する場合に選択します。（PC がログオフ状態でも、Scanner File Utility が使用できるようになります。）（P3-27 参照）
- デスクトップモードで
インストールする Scanner File Utility を個人的に使用する場合に選択します。（PC をログオンすると、Scanner File Utility が使用できるようになります。）

※一度 Scanner File Utility をインストールした後、セットアップタイプをデスクトップモードからサービスモードに変更したい場合は、Windows の“アプリケーションの追加と削除”機能で“修正”を行うとセットアップタイプを変更することができます。

Scanner File Utility

※インストール中、以下のコンポーネントを追加する画面が表示されます。DB Assistant または、Network FAX を用いて、以下の機能を使用する場合は選択して次に進んでください。



KM-DB Link Handler KM-DB アシスト（スキャンした画像に文書情報“キーワード”を追加します。）
KM-Network FAX
Receive Handler Network FAX を使用する場合に追加します。詳細はファクスオプション付属
の NetworkK FAX オンラインマニュアルをご覧ください。
DataBase Link Handler データベースアシスト（スキャンした画像と共に文書情報をもった CSV ファ
イルを作成します。）

※文書情報を追加する方法については、Piv “スキャンする画像に文書情報を追加する”を参照してく
ださい。

※インストール完了後、PC の起動時に Scanner File Utility も起動し、バックグラウンドで常時動作
します。Windows のタスクバーにはそれを示すアイコンが表示されます。

(2) Scanner File Utility のアンインストール

Windows の “アプリケーションの追加と削除” 機能を使ってアンインストールを行ってください。

Scanner File Utility

スタートダイアログ

Scanner File Utility は、インストール後自動的に起動しますが、このプログラムを終了させるときや、スキャナから受信した画像イメージの保存先フォルダの登録やフォルダパスワードの設定を行うときには、スタートダイアログを表示させてください。

(1) スタートダイアログの表示方法

●プログラムが起動中のとき

タスクバーのアイコンをダブルクリックしてください。Scanner File Utility のスタートダイアログが表示されます。

●プログラムが終了しているとき

Windows タスクバーのスタートボタンをクリックし、表示されるメニューから“プログラム” → “Scanner User Software” → “Scanner File Utility” の順に選択してください。Windowsのタスクバーに Scanner File Utility の起動を示すアイコンが表示されます。その後は表示されたアイコンをダブルクリックしてください。スタートダイアログが表示されます。

Scanner File Utility

(2) スタートダイアログについて



1. ステータス欄 スキャナのステータスが表示されます。
2. OK ボタン クリックするとスタートダイアログを閉じます。

Scanner File Utility

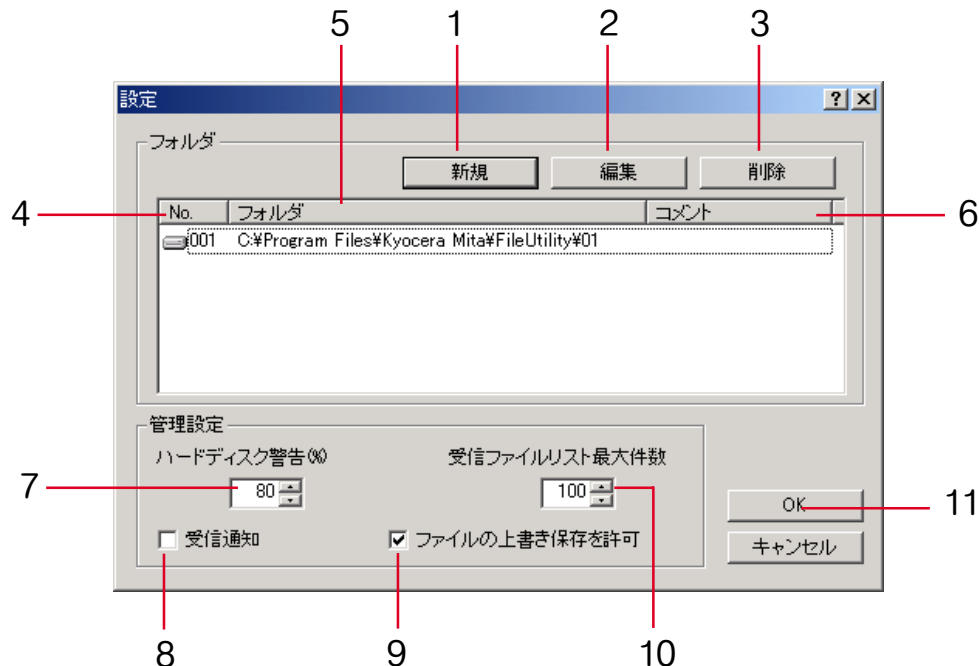
3. 設定ボタン 保存先フォルダの設定および変更やパスワードを設定するときなどにクリックしてください。（P3-13 参照）
※ Scanner File Utility をサービスモードでインストールした場合は、Scanner File Utility の [停止] を行うと、設定ボタンがクリックできるようになります。（P3-27 参照）
4. 終了ボタン クリックすると Scanner File Utility が終了します。
※ Scanner File Utility をサービスモードでインストールした場合、この終了ボタンはありません。
5. 詳細 現在接続中のスキャナの一覧を表示します。
6. 受信ファイルリスト 受信したファイルのリストを表示します。
7. 開く 選択したリストの受信ファイルを開きます。
8. フォルダを開く 選択したリストの受信フォルダを開きます。
9. 削減 選択したリストを一件削除します。

Scanner File Utility

ファイル保存先フォルダ設定

(1) 設定ダイアログについて

保存先フォルダの設定および変更やパスワードを設定するときは、スタートダイアログの設定ボタンをクリックしてください。設定ダイアログが表示され、すでに設定されているフォルダを確認することができます。

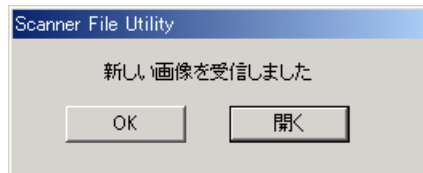


Scanner File Utility

1. 新規ボタン 保存先フォルダを新規設定するときにクリックしてください。
2. 編集ボタン 保存先 . 既存フォルダの設定を変更するときにクリックしてください。
3. 削除ボタン 保存先 . 既存フォルダの設定を削除するときにクリックしてください。
4. No. 保存先フォルダのフォルダ番号です。
5. フォルダ 保存先フォルダを示しています。
6. コメント 各フォルダに対するコメントが表示されています。
7. ハードディスク
警告 (%) ハードディスクドライブの使用量がここで入力する % に達したら、スタートダイアログのステータス欄に警告メッセージが表示されます。
※ Scanner File Utility の起動中は Windows のタスクバー上にアイコンが表示されますが、ハードディスクドライブの使用量がここで入力する警告 % に達したときは、アイコンの色が黄色に変わり、そのことを知らせます。

Scanner File Utility

8. 受信通知 新規のファイル保存が行われるとディスプレイ上に受信通知を表示します。
※受信通知にチェックし、新しい画像を受信すると以下の画面が表示されます。“開く” ボタンを押すと、設定ダイアログを表示します。



9. ファイルの上書き
保存を許可 受信フォルダに同じ名称のファイルが送信されたとき、上書きを許可します。許可しない場合、新規ファイルの名称を変更して保存します。
10. 受信ファイル
リスト最大件数 受信ファイルリストの最大表示件数を設定します。（10 件～ 100 件）
11. OK ボタン 保存先フォルダについての設定や変更などが終わったときは、このボタンをクリックしてください。スタートダイアログに戻ります。

(2) 保存先フォルダの新規設定

保存先フォルダを新たに設定するときは、設定ダイアログの新規ボタンをクリックしてください。新規設定用のフォルダ設定ダイアログが表示されます。

フォルダ設定

No. OK

キャンセル

フォルダ ...

パスワード設定

コメント

システム連携プログラム

KM-DB Link Handler

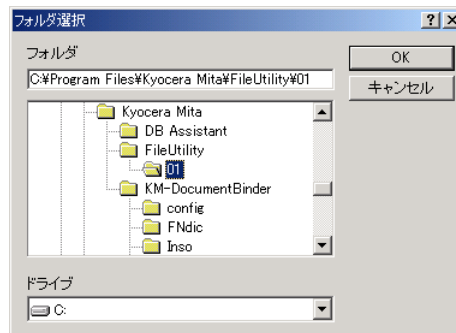
拡張設定

1. No. 欄に任意の数字（1-100）を入力してください。

※ここで入力する数字は、保存先フォルダに対して番号付けを行うためのもので、保存先番号として使用されます。スキャナ本体側では、Web ブラウザを使った設定の中で（保存先番号）、この保存先番号を使って保存先フォルダの指定を行います。

Scanner File Utility

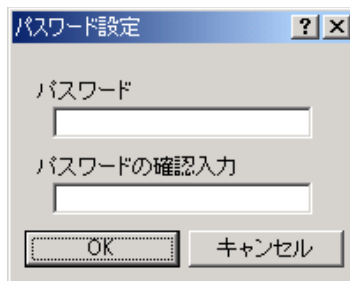
2. 保存先として新しく設定するフォルダを入力するために、フォルダ欄の右横の[...] (参照) ボタンをクリックしてください。フォルダ選択ダイアログが表示されます。
※フォルダ欄に直接フォルダ名を入力することもできます。直接入力する場合は、目的フォルダまでのパスも併せて入力してください。



- フォルダ選択ダイアログには、ドライブに存在するフォルダがリスト表示されています。保存先フォルダとして指定するフォルダを選択し、OK ボタンをクリックしてください。
- ※事前にネットワークドライブを割り当てておくと、ネットワークドライブからフォルダを選択することができます。（Scanner File Utility をデスクトップモードでインストールした場合のみ）
- ※ FD や MO などの取り外し可能なメディアドライブから選択することはできません。

Scanner File Utility

3. 指定するフォルダにセキュリティ用のパスワードを設定することができます。パスワードを設定する場合は、“パスワード設定” ボタンをクリックしてください。表示された“パスワード設定” 画面の“パスワード” 欄に 8 桁以内の数字で入力してください。
※このパスワードは不要であれば、特に設定する必要はありません。



4. “パスワード” 欄にパスワードを入力したときは、入力に誤りがないかを確認するために、同じ入力内容を“パスワードの確認入力” 欄にも入力してください。入力が完了したら OK ボタンをクリックしてください。“フォルダ設定” 画面に戻ります。
※フォルダパスワードを設定した場合、スキャナ本体側での操作時にこのパスワードの入力が必要となります。
5. 保存先フォルダについてのコメントを付加するときは、“コメント” 欄に 32 文字以内（半角英数字 半角カタカナ）または全角入力 16 文字以内で入力してください。

Scanner File Utility

6. “システム連携プログラム” 欄でシステム連携するプログラムを設定します。もし、スキャンする画像に以下の連携を行う場合は必ず選択してください。
※この機能を使用するためには、DB Assistant (P3-129 参照)、または Network FAX の設定が必要です。(Network FAX 詳細はファクスオプション付属の Network FAX オンラインマニュアル参照)



無し スキャンデータをそのまま、指定フォルダに保存します。

KM-DB Link Handler KM-DB アシスト機能 (スキャンした画像に文書情報 “キーワード” を付加します。)

KM-Network FAX

Receive Handler Network FAX を使用する場合に追加します。詳細はファクスオプション付属の Network FAX オンラインマニュアルをご覧ください。

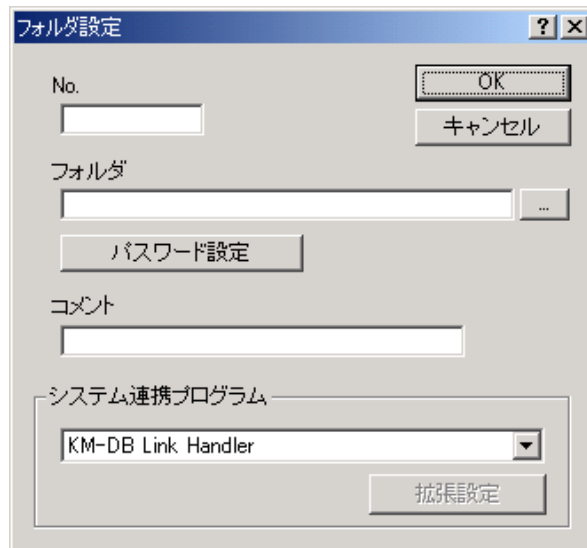
DataBase

Link Handler データベースアシスト機能 (スキャンした画像と共に文書情報をもった CSV ファイルを作成します。)

7. 入力が完了したら OK ボタンをクリックしてください。入力した内容で保存先フォルダが設定されます。

(3) 既存保存先フォルダの設定変更

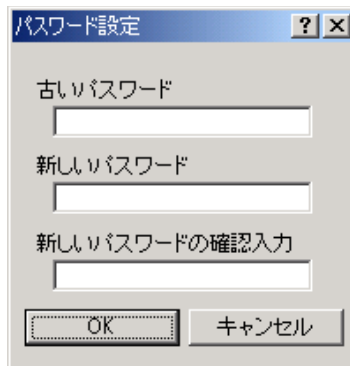
既に設定された保存先フォルダについての設定内容を変更するときは、リスト表示された中から該当する保存先を選択し、設定ダイアログの編集ボタンをクリックしてください。設定変更用のフォルダ設定ダイアログが表示されます。



1. No. 欄、フォルダ欄、コメント欄の内容を変更する場合の入力については、P3-16 “(2) 保存先フォルダの新規設定” を参照して操作を行ってください。

Scanner File Utility

2. フォルダに設定されたセキュリティ用パスワードを変更するときは、“パスワード設定” ボタンをクリックしてください。“パスワード設定” 画面が表示されます。“古いパスワード” 欄に現在設定されているパスワードを入力してください。



3. “新しいパスワード” 欄に新しくパスワードとして設定する数字を 8 桁以内で入力してください。
4. “新しいパスワード” 欄の入力に誤りがないかを確認するために、同じ入力内容を“新しいパスワードの確認入力” 欄にも入力してください。入力が完了したら、OK ボタンをクリックしてください。各パスワード欄の入力に誤りがなければ、“フォルダ設定” 画面が表示されます。
5. 保存先フォルダについてのコメントを変更するときは、“コメント” 欄に 32 文字以内（半角英数字 半角カタカナ）または全角入力 16 文字以内で入力してください。

6. “システム連携プログラム” 欄の内容を変更する場合は、P3-16 “（２）保存先フォルダの新規設定” 手順6を参照して操作を行ってください。

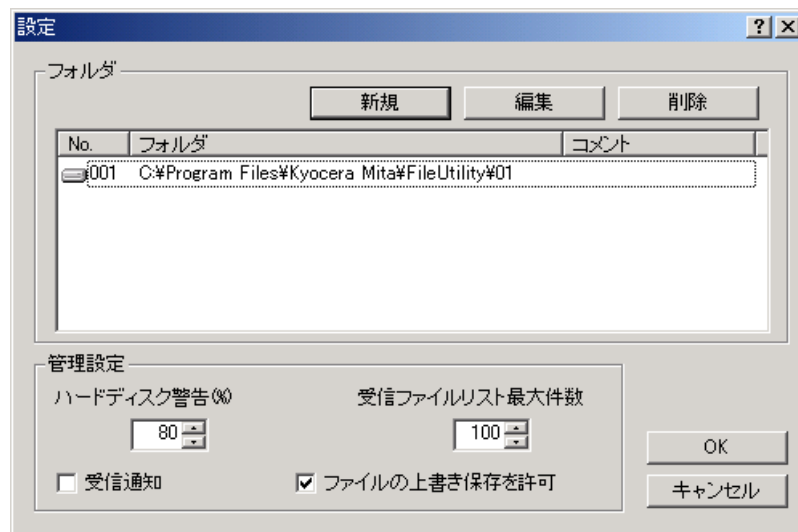
7.OK ボタンをクリックしてください。保存先フォルダについての設定内容が変更されます。

Scanner File Utility

(4) 既存保存先フォルダの指定解除

既に設定された保存先フォルダとしての指定を解除するときは、次の操作を行ってください。

1. 設定ダイアログにおいて、フォルダ欄にリスト表示されている保存先フォルダの中から指定を解除したいフォルダをクリックで選択してください。選択されると反転表示されます。



2. 削除ボタンをクリックしてください。選択した保存先フォルダの指定が解除されます。

ファイル保存機能

操作手順の概要

Scanner File Utility を使ったスキャナからの画像イメージデータの受信方法は次のように行います。

1. 画像イメージデータを受信する PC 側で Scanner File Utility が起動中であることを確認してください。
※Scanner File Utility が起動していないときは、P3-10 “（1）スタートダイアログの表示方法” を参照して起動させてください。
2. スキャナ本体に原稿をセットしてください。
3. スキャナ本体操作部から送信先を選択してください。
4. 保存先のフォルダにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力してください。
※パスワードを設定していないときは、この操作は不要です。
※パスワードが正しくない場合は、エラーとなり次の操作に進めません。
5. スキャナ操作部のスタートキーを押してください。原稿が読み取られ、スキャナから PC 側にイメージデータの送信が行われます。PC 側では、受信した画像イメージデータを圧縮ファイルに変換し、指定した保存先フォルダに保存します。
※指定のフォルダに保存されたファイルは、市販アプリケーションを使用して表示 / 編集 / メール送信などを行うことができます。

(2) ファイル名について

PC 側でデータファイルを保存する際、ファイル名（16 文字以内の文字列 + 拡張子）は事前に Web ブラウザからの設定で決めた内容が付加されます。特に設定していない場合は、一定のルールにしたがって自動的に付加されます。ファイル名が自動付加される際のルールは次の通りです。

ファイル名：*****nnnn__mmm.拡張子

- ***** スキャナごとに登録されているファイル名で、英数字で表現されます。
- nnnn 文書読み込み番号を意味し、0000 ～ 9999 の 4 桁の数字で表現されます。
- mmm 複数枚の原稿を 1 ページごとのファイルで保存する場合に使用され、000 ～ 999 までの 3 桁の数字で表現されます。
- 拡張子 拡張子は、Scanner File Utility が保存形式に応じて自動的に付加します。

注意 自動付加ルールによって番号が一巡したファイル名と同一のファイル名が同じフォルダに存在する場合で、設定ダイアログの“ファイルの上書き保存を許可”にチェックしている（P3-13 参照）とき、先に存在するファイルは、後から保存されるファイルによって上書きされます。

(3) 画像データについて

● ファイル形式

TIFF 形式および PDF 形式※をサポートしています。

※HyperGEAR, Inc. 製 PDF 変換ライブラリを使用。

● 画像データサイズ

定形サイズ：A3、A4、A5、B4、B5、B6、11"×15"、Folio、11"×17"、8 $\frac{1}{2}$ "×11"、8 $\frac{1}{2}$ "×14"、5 $\frac{1}{2}$ "×8 $\frac{1}{2}$ "

不定形サイズ：幅 50～432mm (17")、50～420mm (17") (KM-C830/C830D の場合)、
高さ 50～297mm (A4 長)

※複数ページの画像データ受信時、ページごとに読み込みサイズを変更することはできません。

● 解像度 (DPI)

200×200、300×300、400×400、600×600 の 4 通りの解像度をサポートしています。

※複数ページの画像データ受信時、ページごとに解像度を変更することはできません。

(4) ハードディスク書込エラーが発生したとき

スキャナからの画像データを受信中にハードディスクの空き容量が不足したときは、それ以降の画像データの受信は中止され、それまでに受信した画像データは破棄されます。

注意 アイコンの色が黄色になったら注意！

ハードディスクドライブの使用量があらかじめ指定した警告 % に達したときは、Windows のタスクバー上に表示されているアイコンの色が黄色に変わり、そのことを知らせます。このときは、データを他のメディアに退避させるなどしてハードディスクの整理を行ってください。

Scanner File Utility

サービスモードについて

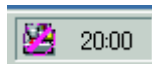
Scanner File Utility をサービスモードでインストールした場合、以下の設定が追加されます。

* OSが Windows2000、Windows Server 2003、Windows XP の場合、設定できます。

1. PC がログオフ状態でも、Scanner File Utility でスキャンデータの配信ができるようになります。
2. Scanner File Utility の設定を変更する場合は、Scanner File Utility で「停止」を選択します。再び、スキャンデータの配信を行うには、Scanner File Utility で「開始」を選択します。

Scanner File Utility の「停止」を行うには ...

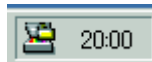
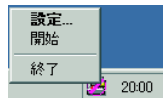
タスクバーのアイコンを右クリックし、ドロップダウンリストを表示させ、「停止」を選択してください。アイコンに禁止マークが表示され、Scanner File Utility でスキャンデータの配信が禁止されます。（P3-12 参照）



Scanner File Utility の停止

Scanner File Utility の「開始」を行うには ...

タスクバーのアイコンを右クリックし、ドロップダウンリストを表示させ、「開始」を選択してください。アイコンの禁止マークが解除され、Scanner File Utility でスキャンデータの配信が行えるようになります。



Scanner File Utility の開始

Address Editor について

Address Editor は、スキャナのアドレス帳（共通アドレス帳）の登録、編集をはじめ、ネットワーク設定、スキャナ機能の初期設定などを行うことができます。管理者がアドレス帳のメンテナンスなどをおこなう場合に使用します。Address Editor に対応したスキャナが複数存在している場合は、それら全てのスキャナに同じ送信先リストを設定することなども容易に行えます。

推奨動作環境

- ・ハードウェア IBM PC/AT 互換機
- ・インターフェイス 10BASE-T/100BASE-TX
- ・オペレーティングシステム Windows NT 4.0 (Service Pack 5以降),
Windows 2000 (Service Pack 2以降),
Windows 98 (Second Edition), Windows 95 (OSR2),
Windows Me, Windows XP, Windows Server 2003

Address Editor

インストールとアンインストール

(1) Address Editor のインストール

1. スキャナ CD のメインメニューで“スキャナユーティリティ”をクリックしてください。
※メインメニュー表示までの操作については P1-3 “スキャナ CD-ROM の使い方”を参照してください。
2. “Address Editor” をクリックして下さい。



3. ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。

Address Editor

(2) Address Editor のアンインストール

Windows の “アプリケーションの追加と削除” 機能を使ってアンインストールを行ってください。

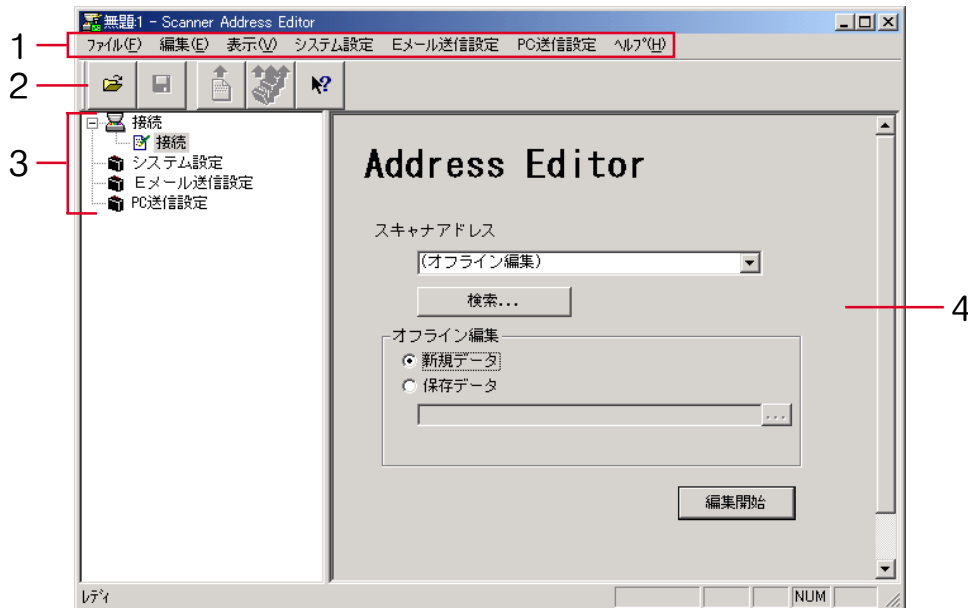
Address Editor

Address Editor の起動

1. Address Editor を起動してください

※Windows タスクバーのスタートボタンをクリックし、表示されるメニューから“プログラム” → “Scanner User Software” → “Address Editor” の順に選択すると、Address Editorが起動します。

2. Address Editor のメインメニュー画面が表示されます。



Address Editor

1. メニューバー ツールバーやメニューエリアのボタン操作などはメニューバーの中から選択して実行できます。
2. ツールバー 編集データのスキャナへの書き込みなどの操作を簡単に行うためのボタンが並んでいます。
3. メニューエリア スキャナ、Eメール送信などの設定したい項目の選択を行うことができます。
4. 作業エリア 各設定ウィンドウを表示して設定を行います。

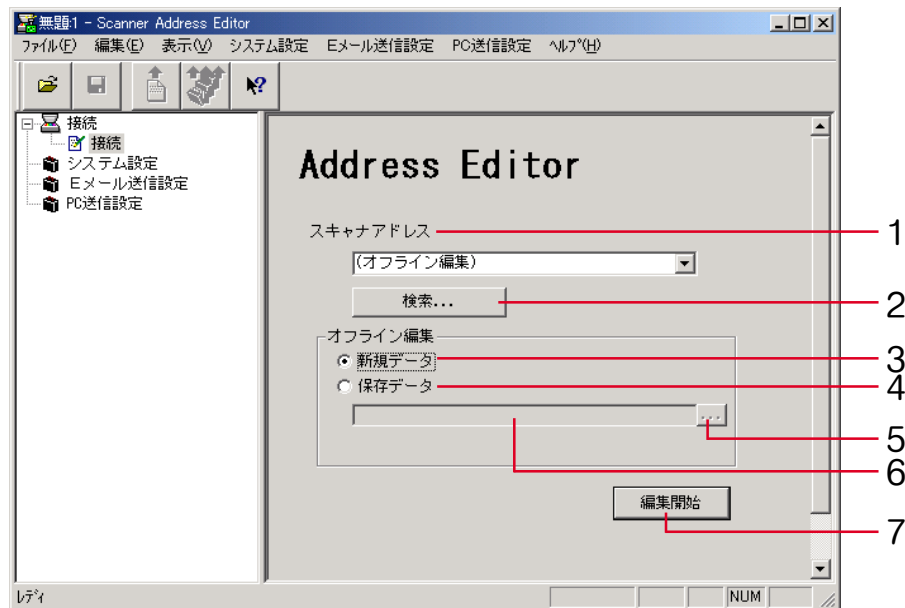
編集データ選択画面

編集を行う Address Editor データを選択します。スキャナと接続を行い、直接スキャナの設定情報の編集・登録を行う方法とスキャナと接続を行わずに設定データの作成・編集を行う方法があります。スキャナと接続を行わずに作成・編集を行った設定データは、編集終了後スキャナと接続を行いスキャナに登録できます。

※Address Editor 起動時は“接続（スキャナアドレス設定）”を選択して表示されます。

Address Editor

(1) スキャナアドレス設定



1. スキャナアドレス.....接続するスキャナのアドレス（ホスト名またはIP アドレス）を入力します。
ドロップダウンリストには、過去に通信を行った最大 10 件までのスキャナアドレスが表示します。
※ホスト名は 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。

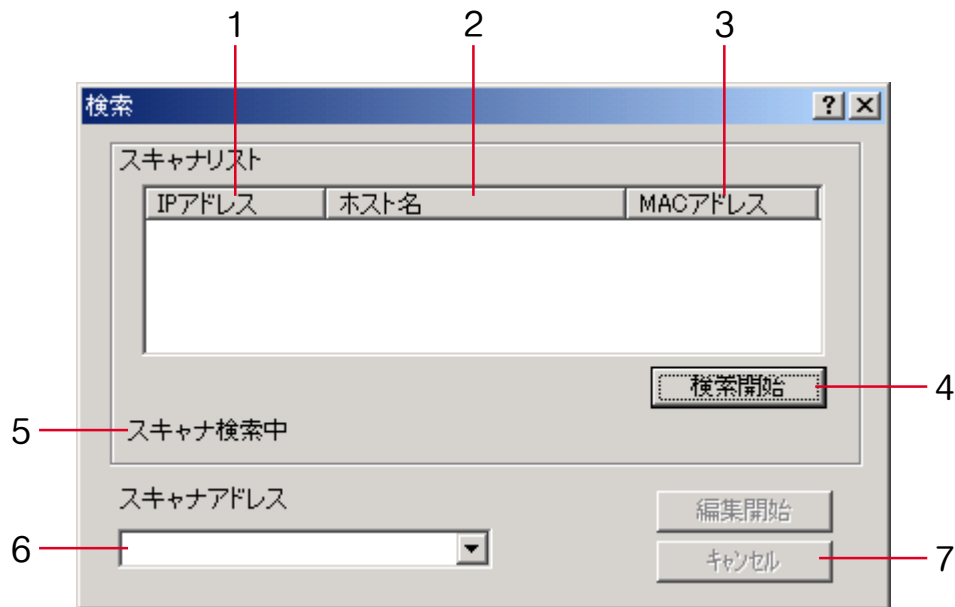
2. 検索ボタン 接続するスキャナを検索します。DHCP サーバにより IP アドレスの設定を行っている場合やスキャナの IP アドレスがわからない場合に使用してください。
※スキャナ検索の操作方法は、P3-36 “スキャナ検索” を参照してください。
3. 新規データ スキャナと接続を行わず、新規に Address Editor データの作成・編集を行います。
4. 保存データ すでに作成保存されている Address Editor データを開き、編集を行います。
5. ... ボタン スキャナ設定データファイルを選択するダイアログを開き、データの読み出しを行います。
6. 選択された Address Editor データファイル名を表示します。
7. 編集開始ボタン Address Editor データの編集を開始します。
※スキャナアドレスが指定されている場合、スキャナとの接続を行いスキャナの設定データの取り出しを行います。
※ “オフライン編集” で新規データを選択した場合は、初期値にて編集を開始します。

Address Editor

スキャナ検索

ネットワークに接続されているスキャナを検索します。

※スキャナ検索は、一定時間内に応答のあったスキャナのみリスト表示されます。



1. IP アドレス スキャナに設定されている IP アドレスをリスト表示します。

2. ホスト名 スキャナに設定されているホスト名をリスト表示します。

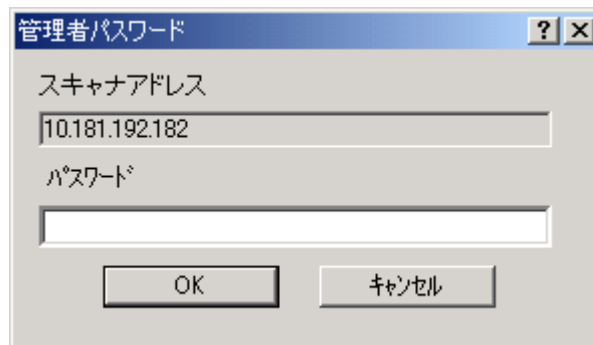
Address Editor

3. MACアドレススキャナの MAC アドレス（イーサネットアドレス）をリスト表示します。
4. 検索開始ボタン スキャナの検索を実行します。
5. 検索状況表示..... スキャナの検索状況／検索結果を表示します。
6. スキャナアドレス.....
 - ・ 検索結果のリストをクリックするとスキャナアドレスが表示されます。
 - ・ 検索を実行せずに、ドロップダウンメニューから過去に通信を行ったスキャナアドレスを選択できます。
 - ・ スキャナアドレスを直接入力できます。
7. 編集開始ボタン選択されたスキャナへの接続を行いスキャナの設定データの編集を開始します。
※使用中のスキャナを検索した場合は、そのホスト名を表示しません。

Address Editor

パスワードの入力（スキャナ接続時）

スキャナへの接続時、スキャナ設定や情報読み出しのため管理者のパスワードの入力を行う必要があります。
※管理者パスワードは Web ブラウザ（P2-11 参照）、Address Editor 等で設定します。



1. スキャナアドレス.....接続先スキャナの IP アドレスを表示します。
2. パスワード 接続先のスキャナに設定されている管理者のパスワードを入力してください。

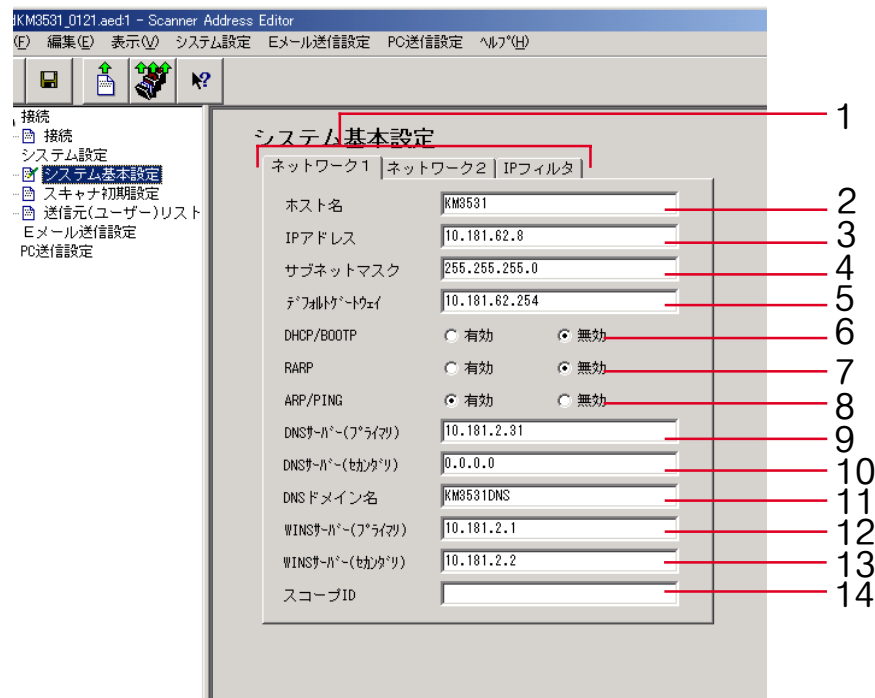
Address Editor

システム設定

スキャナの基本設定を行います。

(1) システム基本設定

スキャナの IP アドレスなど、ネットワークへの接続に関する設定を行います。



1. ネットワーク 1/ ネットワーク 2 /IP フィルタ切替タブ

..... “ネットワーク 1”、“ネットワーク 2”、“IP フィルタ” 設定の切替を行います。

[ネットワーク 1] タブ選択時

2. ホスト名 スキャナのホスト名を 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。

3. IP アドレス スキャナインタフェースカードの IP アドレスを “XXX.XXX.XXX.XXX” の形式で入力してください。設定を保存すると、変更確認のダイアログが表示します。IP アドレスの確認をしてください。

4. サブネットマスク スキャナインタフェースカードのサブネットマスクを “XXX.XXX.XXX.XXX” の形式で入力してください。

5. デフォルト

ゲートウェイ スキャナインタフェースカードのデフォルトゲートウェイを “XXX.XXX.XXX.XXX” の形式で入力してください。

※他のネットワークまたはサブネットにパケットを転送するために使用します。

6. DHCP/BOOTP..... DHCP と BOOTP を “有効” と “無効” のどちらかにするかの設定を行います。初期値は “有効” に設定されています。

7. RARP RARP を “有効” と “無効” のどちらかにするかの設定を行います。初期値は “有効” に設定されています。

8. ARP/PING ARP/PING を “有効” と “無効” のどちらかにするかの設定を行います。初期値は “有効” に設定されています。

9. DNS サーバ

(プライマリ) DNS サーバが設置された環境で、ホスト名を使ってデータ送信を行う場合には、この欄にプライマリの DNS サーバの IP アドレスを “XXX.XXX.XXX.XXX” の形式で入力してください。

10. DNS サーバ

(セカンダリ) この欄にセカンダリの DNS サーバの IP アドレスを “XXX.XXX.XXX.XXX” の形式で入力してください。

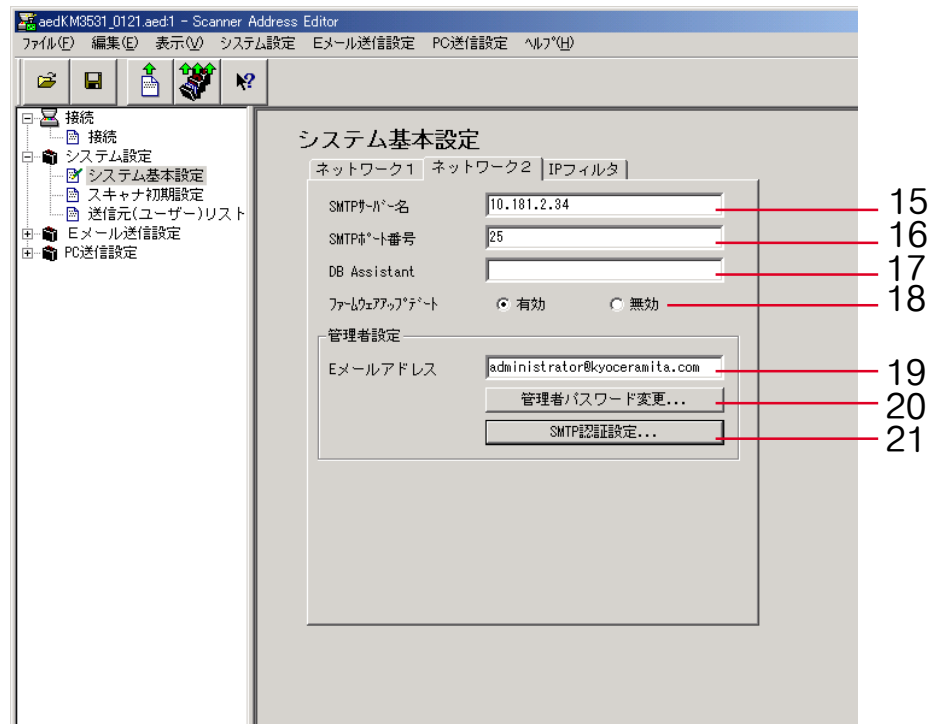
11. DNS ドメイン名 ドメイン名を、32 文字以内（半角英数字）で入力してください。

Address Editor

- 12. WINS サーバ
 (プライマリ) コンピュータ名から IP アドレスへの解決に WINS (Windows Internet Name Service) を使用する場合には、この欄にプライマリの WINS サーバの IP アドレスを “XXX.XXX.XXX.XXX” の形式で入力してください。
- 13. WINS サーバ
 (セカンダリ) この欄にセカンダリの WINS サーバの IP アドレスを “XXX.XXX.XXX.XXX” の形式で入力してください。
- 14. スコープ ID この欄にスコープ ID を入力してください。

Address Editor

[ネットワーク2] タブ選択時



15. SMTP サーバ名 この欄に SMTP サーバの IP アドレスを “XXX.XXX.XXX.XXX” の形式で入力するか、ホスト名を 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。
16. SMTP ポート番号 この欄に SMTP ポート番号を入力してください。初期設定のポート番号は 25 です。
17. DB Assistant DB Assistant をインストールしている PC の IP アドレス、またはホスト名を 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。
18. ファームウェアアップデート ファームウェアのアップデートを許可する場合は、“有効”、許可しない場合は、“無効”を選択します。

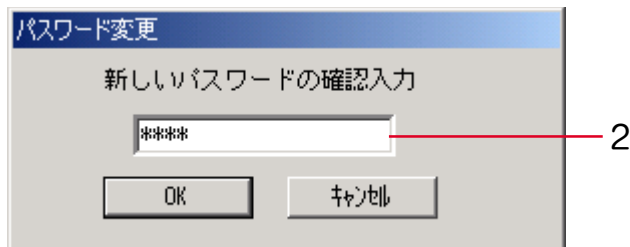
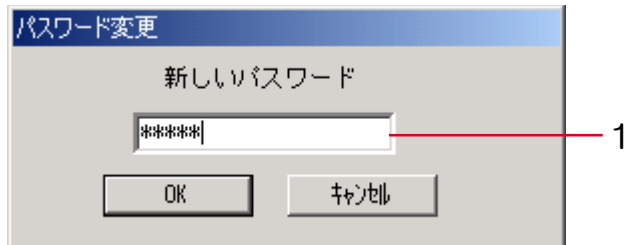
[管理者設定]

19. E メールアドレス 管理者の E メールアドレスを入力してください。
※E メールアドレスは 64 文字以内（半角英数字）で入力してください。
20. パスワード
変更 ... ボタン 管理者のパスワードを設定します。(P3-44 参照)
21. SMTP 認証
設定 ... ボタン 管理者用の SMTP 認証を設定します。(P3-45 参照)

Address Editor

パスワードの設定

管理者のパスワードを設定します。

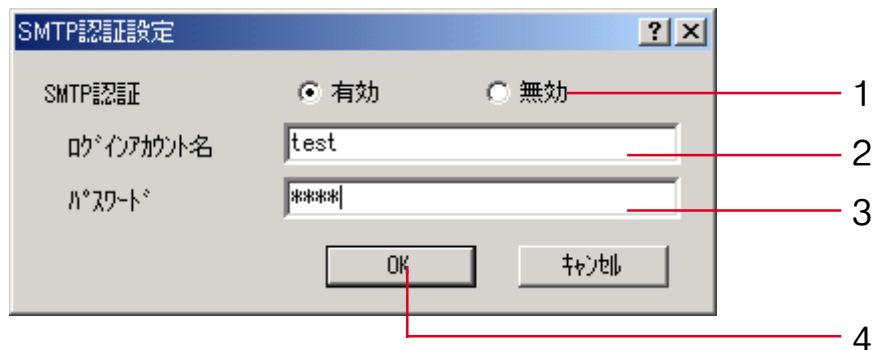


1. 新しいパスワード 新規パスワードを入力します。
※ 新規パスワードは 15 文字以内（半角英数字）で入力してください。
2. 新しいパスワードの
確認入力 “新しいパスワード” で入力したパスワードを再度入力して下さい。パスワードの確認を行います。

Address Editor

SMTP 認証（管理者用）の設定

管理者用の SMTP 認証を設定します。

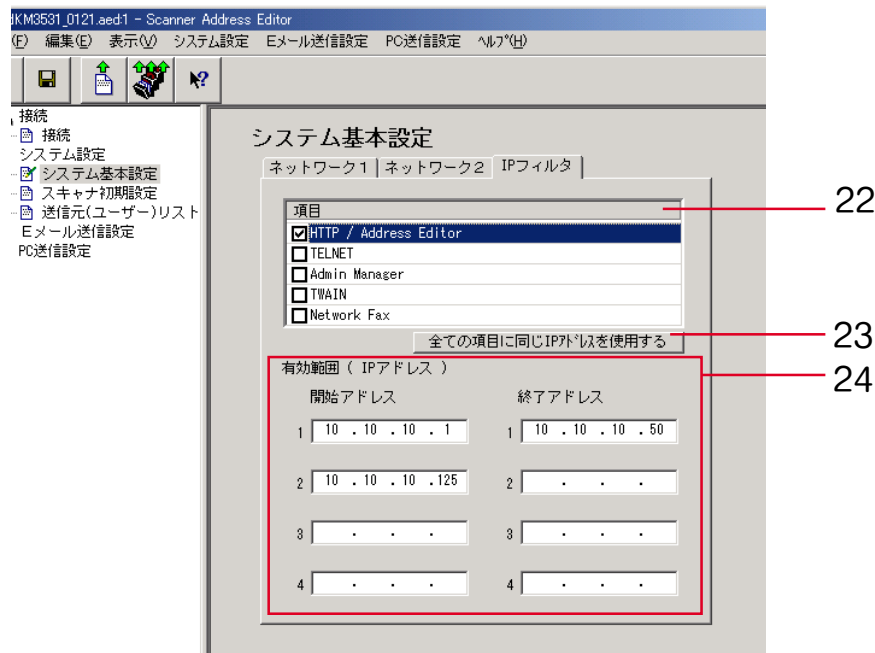


1. SMTP 認証を [有効] にします。
2. SMTP 認証に使用する [ログインアカウント名] を入力します。
3. パスワードを [パスワード] 欄に入力します。
※パスワードは 31 文字以内（半角英数字）で入力してください。
4. “OK” ボタンをクリックします。

Address Editor

[IP フィルタ] タブ選択時

※IP フィルタの設定、詳細については P2-19 を参照してください。



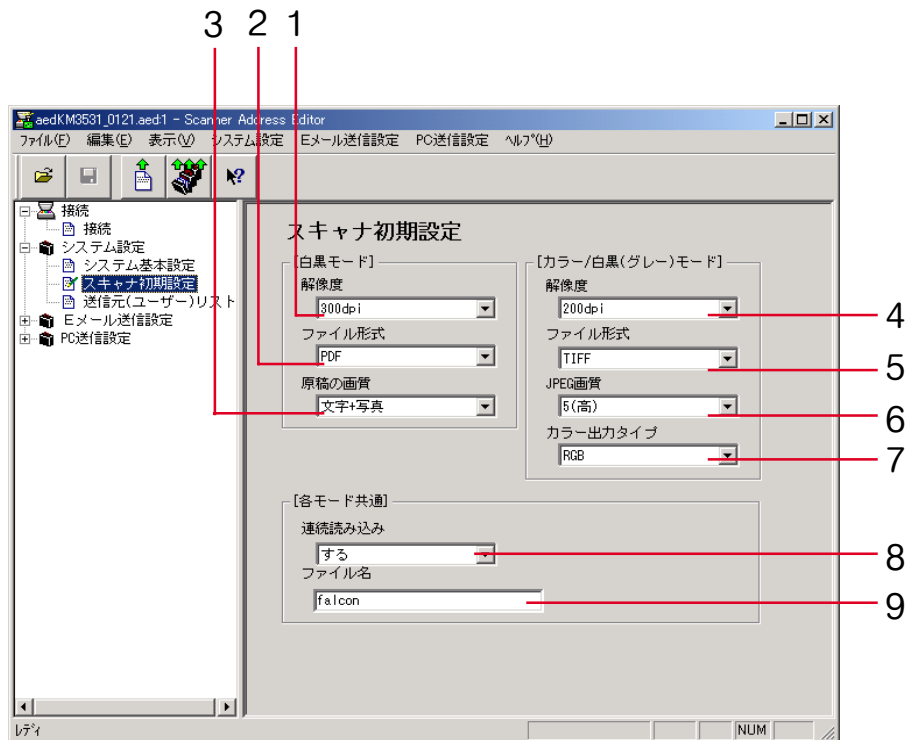
- 22. 項目 フィルタリングを行いたい項目にチェックしてください。
- 23. 全ての項目に同じ
IP アドレスを
使用する 22. でチェックを入れた全ての項目に 24. で設定した同じ IP アドレスを有効に
します。
- 24. 有効範囲
(IP アドレス) 有効にする IP アドレス範囲を4つまで入力できます。単一の IP アドレスを
有効にする場合は、[開始アドレス] にのみ入力します。

Address Editor

(2) スキャナ初期設定

スキャナ使用時の初期設定値の設定を行います。

※スキャナがモノクロ機の場合は“白黒モード”の項目で、カラー機の場合は“カラー/白黒（グレー）モード”の項目で設定してください。



<白黒モード>

1. 解像度 原稿読み取り時の解像度を次の4つから設定します。
200dpi/300dpi/400dpi/600dpi
2. ファイル形式 スキャン画像を保存する際のファイル形式を指定します。
TIFF/PDF
3. 原稿の画質 スキャンする原稿の種類に合わせて、次の4つのモードを選択することができます。
写真 / 文字 / 文字+写真 / OCR

<カラー/白黒（グレー）モード>

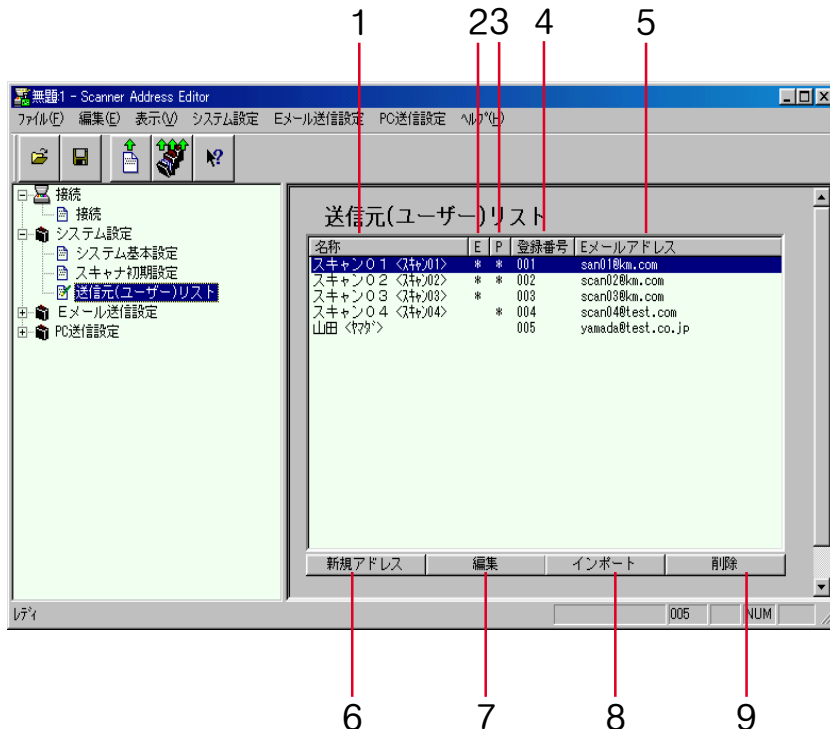
4. 解像度 原稿読み取り時の解像度を次の4つから設定します。
200dpi/300dpi/400dpi/600dpi
5. ファイル形式 スキャン画像を保存する際のファイル形式を指定します。
JPEG/TIFF/PDF
6. JPEG 画質 JPEG の画質を設定します。
※画質レベルを高く設定するとファイルサイズが大きくなります。
7. カラー出力タイプ カラー出力の出力タイプの設定をします。
RGB/sRGB
※sRGB を選択すると、sRGB 対応機器間で色再現空間を統一する事ができます。

<各モード共通>

8. 連続読み込み 継続して原稿を読み込むか選択します。
する / しない
9. ファイル名 スキャン画像保存時のファイル名称を設定します。
※ファイル名は全角8文字以内、半角16文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。

(3) 送信元リスト

ネットワークスキャナ機能（Eメール送信、PC送信）を使用できる送信元（ユーザ）リストの設定を行います。



1. 名称 送信元としてスキャナ本体の操作部上に表示する名称 < フリガナ > を表示します。
2. E 送信先リスト（E メール）に関連付けされているアドレスが登録されていると、この欄に*が表示されます。編集の際には、送信先リスト（E メール）も同様に変更されます。
3. P 送信先リスト（PC）に関連付けされているアドレスが登録されていると、この欄に*が表示されます。編集の際には、送信先リスト（PC）も同様に変更されます。
4. 登録番号 送信元データの登録番号を表示します。
※登録番号はスキャナ本体の操作部にリスト表示されます。
※登録できる件数は最大 40 件です。
5. E メールアドレス 送信元の E メールアドレスを表示します。
6. 新規アドレスボタン 送信元データを新規に作成するときにクリックしてください。送信元の編集ダイアログが表示されます。（P3-52 参照）
7. 編集ボタン 送信元データの編集をするときにクリックしてください。送信元の編集ダイアログが表示されます。（P3-52 参照）
8. インポートボタン Address Editor ファイルと CSV ファイルから送信元データをインポートするときにクリックしてください。インポートするためのダイアログが表示されます。（P3-68 参照）
9. 削除ボタン 選択中の送信元データを削除するときにクリックしてください。
※送信元を複数選択して削除することもできます。

(4) 送信元アドレス登録（編集）

送信元アドレスの新規登録または編集を行います。

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled '送信元の編集' (Edit Origin). It contains several input fields and buttons. Red lines with numbers 1 through 10 point to specific elements:

- 1: Points to the '名称 (フリガナ)' (Name (Kana)) input field.
- 2: Points to the '登録番号' (Registration Number) input field, which contains '001'.
- 3: Points to the 'Eメールアドレス' (Email Address) input field.
- 4: Points to the '署名' (Signature) text area.
- 5: Points to the '個人アドレス帳PCアドレス' (Personal Address Book PC Address) input field.
- 6: Points to the '保存先番号' (Save Number) input field, which contains '001'.
- 7: Points to the 'パスワード変更' (Change Password) button.
- 8: Points to the 'SMTP認証設定' (SMTP Authentication Setting) button.
- 9: Points to the checkbox '送信先リスト (Eメール)に追加する' (Add to destination list (Email)).
- 10: Points to the checkbox '送信先リスト (PC)に追加する' (Add to destination list (PC)).

At the bottom of the dialog are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

1. 名称

(フリガナ) 登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。

(日本語) 登録名称を入力する欄です。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。

2. 登録番号 送信元データの登録番号を入力します。
※設定できる登録番号は 001 ～ 040 です。
3. E メールアドレス 送信元の E メールアドレスを入力します。
4. 署名 E メール送信時の署名データを入力します。
5. 個人アドレス帳
PC アドレス 個人アドレス帳の PC アドレスを入力します。
6. 保存先番号 PC 送信での送信先 PC の保存先番号を設定します。
※設定できる保存先番号は 001 ～ 100 です。
7. パスワード
変更ボタン 各ユーザのパスワードを変更します。
8. SMTP 認証設定 各ユーザの SMTP 認証を設定します。
※各ユーザに SMTP 認証を設定する場合は、事前にシステム基本設定で SMTP 認証を設定する必要があります。（P3-43 参照）
9. 送信先リスト
(E メールに追加する) ... この項目にチェックすると、送信元（ユーザ）のアドレスを E メール送信先リストに追加します。
10. 送信先リスト
(PC に追加する) この項目にチェックすると、送信元（ユーザ）のアドレスを PC 送信先リストに追加します。

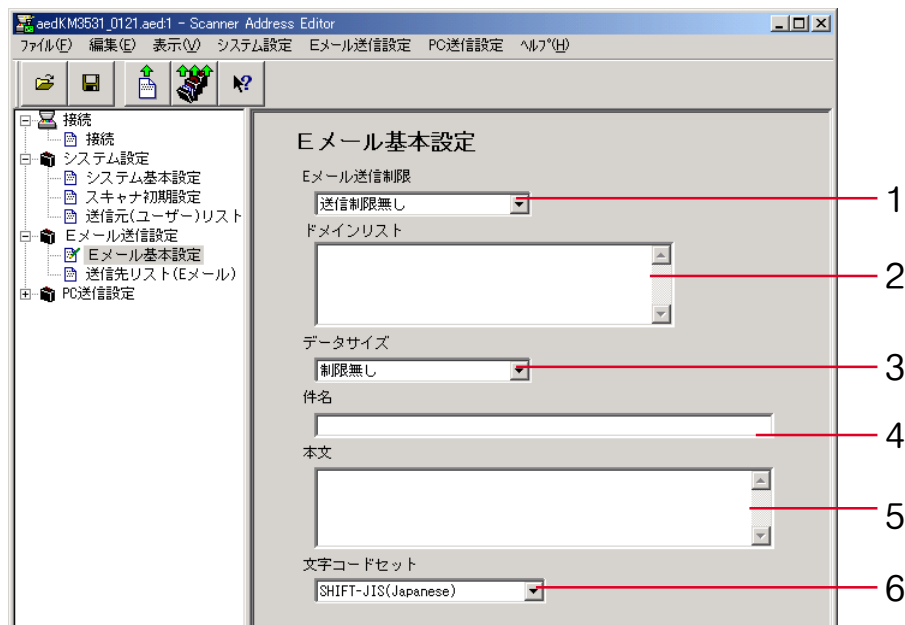
Address Editor

E メール送信設定

スキャンした画像をEメール送信でPCに送信する際に、基本設定や送信先の登録 / 編集などの設定をします。

(1) E メール基本設定

Eメール送信時に基本となる項目の設定を行います。

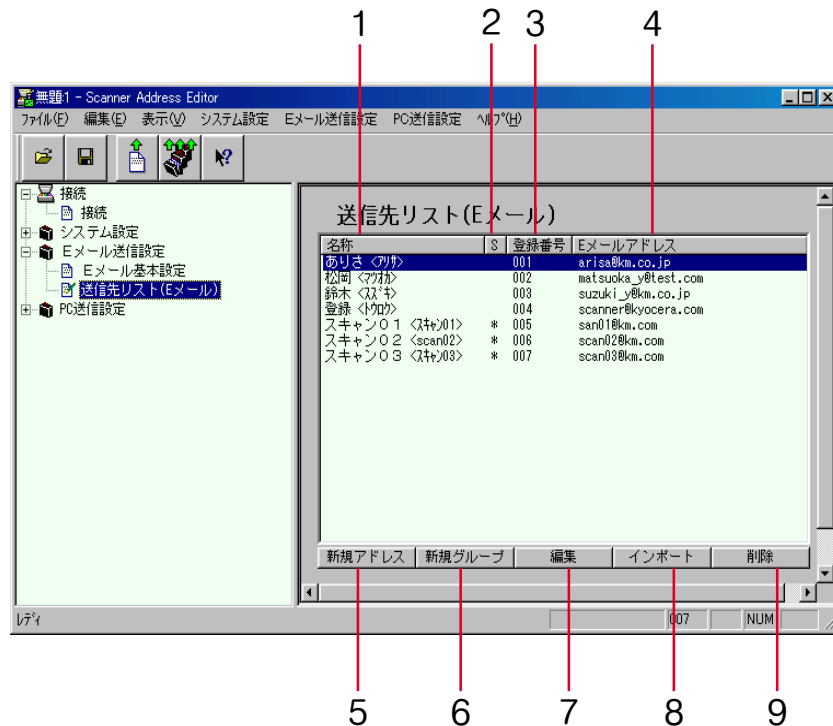


1. Eメール送信制限 送信制限無し / 送信許可ドメイン名 / 送信制限ドメイン名の中から送信ドメインを選択します。
※ “送信制限無し” を選択するとドメインによる E メール送信制限を行わず、ドメイン登録の内容は無視されます。
※ “送信許可ドメイン名” を選択すると登録ドメインと一致するドメインを持つ宛先だけに E メール送信を許可されます。
※ “送信制限ドメイン名” を選択すると登録ドメインと一致するドメインを持つ宛先だけに E メール送信を許可しません。
2. ドメインリスト ドメインデータを入力します。
※ 各ドメインは改行区切り、500 文字以内（半角英数字）で入力します。
※ ドメインは最大 10 ドメインまで登録できます。
※ アスタリスク（*）を使用すると一括指定をすることができます。
（例）* .co.jp
3. データサイズ E メール送信で送信する画像サイズを設定します。
低（512KB） / 中（1024KB） / 高（2048KB） / 無制限
4. 件名 メールの件名を設定します。
※ 32 文字以内の半角英数文字または 16 文字以内の全角文字で入力します。
5. 本文 メール本文の入力を行います。
※ 500 文字以内の半角英数字または 250 文字以内の全角文字で入力します。
6. 文字コードセット 件名、本文で使用している文字のキャラクタセットを設定します。
SHIFT-JIS(Japanese)/US-ASCII(English)/ISO-8859-1(West Europe)
※ 使用環境（各言語）に合わせて設定してください。

Address Editor

(2) Eメール送信先リスト

Eメール送信時のEメール送信先リストの表示・編集を行います。



1. 名称 E メール送信先としてスキャナ本体の操作部に表示する名称<フリガナ>を表示します。
2. S 送信元（ユーザ）リストに関連付けされているアドレスが登録されていると、この欄に*が表示されます。編集の際には、送信元（ユーザ）リストも同時に変更されます。
3. 登録番号 送信先データの登録番号を表示します。
※登録できる登録番号は 001 ～ 100 です。
4. E メールアドレス 送信先の E メールアドレスを表示します。
5. 新規アドレスボタン 送信先 E メールアドレスを新規に作成するときにクリックしてください。送信先の編集ダイアログが表示されます。（P3-58 参照）
6. 新規グループボタン 送信先 E メールグループを新規に作成するときにクリックしてください。送信先グループ登録ダイアログが表示されます。（P3-59 参照）
7. 編集ボタン 送信先の E メールアドレス / グループアドレスデータの編集をするときにクリックしてください。送信先の編集ダイアログが表示されます。
（P3-58 参照）
8. インポートボタン Address Editor、アドレス帳 for Scanner、Outlook からのエクスポートを使った csv 形式のアドレスデータをインポートするときにクリックしてください。インポートするためのダイアログが表示されます。（P3-68 参照）
9. 削除ボタン 送信先の E メールアドレス / グループアドレスデータを削除するときにクリックしてください。
※送信先を複数選択して削除することもできます。

(3) 送信先の編集 (E メール送信)

送信先 E メールアドレスの表示または編集を行います。

送信先の編集

1 名称
(フリガナ)
アリス

名称
(日本語)
ありさ

登録番号
2 001

Eメールアドレス
3 arisa@km.co.jp

OK キャンセル

1. 名称

(フリガナ) 登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。

(日本語) 登録名称を入力する欄です。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。

2. 登録番号

..... 送信先データの登録番号を入力します。

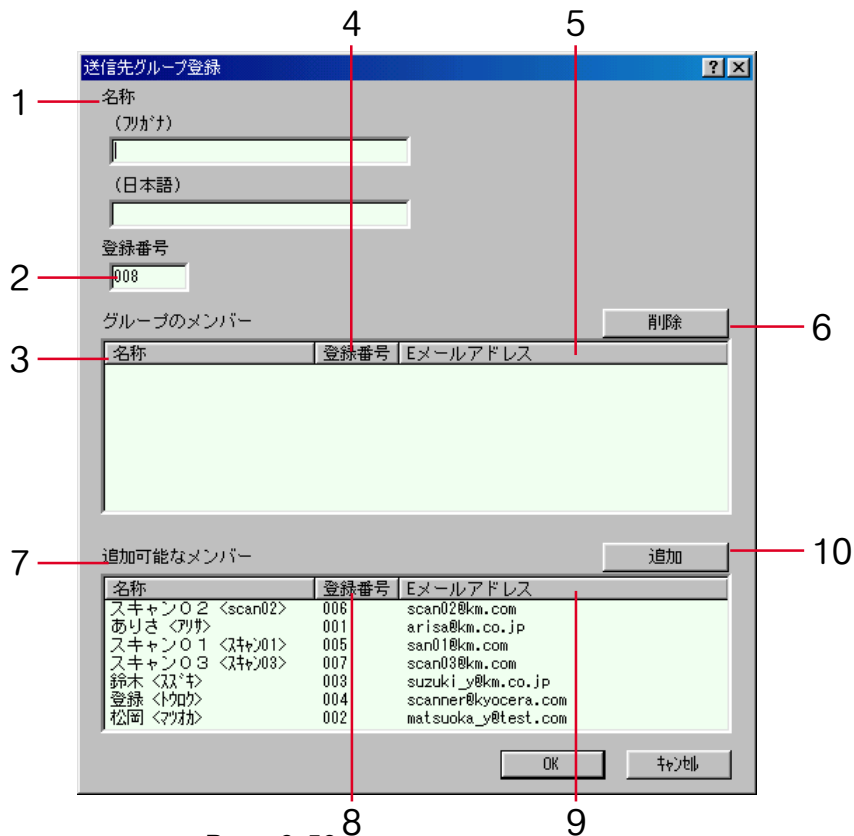
3. E メールアドレス

..... 送信先の E メールアドレスを入力します。

Address Editor

(4) 送信先グループ登録 / 編集

送信先 E メールグループアドレスの表示または編集を行います。



1. 名称

(フリガナ) 登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。

(日本語) 登録名称を入力する欄です。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。

2. 登録番号 送信先データの登録番号を入力します。

<グループのメンバー>

3. 名称 グループ内に登録されている E メールアドレスの名称<フリガナ>を表示します。

4. 登録番号 グループ内に登録されている E メールアドレスの登録番号を表示します。

5. E メールアドレス グループ内に登録されている E メールアドレスを表示します。

6. 削除ボタン 選択したアドレスをグループのメンバーから削除します。
※ 削除されたアドレスは、“追加可能なメンバー” に追加されます。

<追加可能なメンバー>

7. 名称 登録されている E メールアドレスの名称<フリガナ>を表示します。

8. 登録番号 登録されている E メールアドレスの登録番号を表示します。

9. E メールアドレス 登録されている E メールアドレスを表示します。

10. 追加ボタン 選択したアドレスをグループとして“グループのメンバー” に追加します。
※ 追加されたアドレスは、“追加可能なメンバー” から削除されます。
※ “グループのメンバー” には、最大 30 件までアドレスを登録できます。

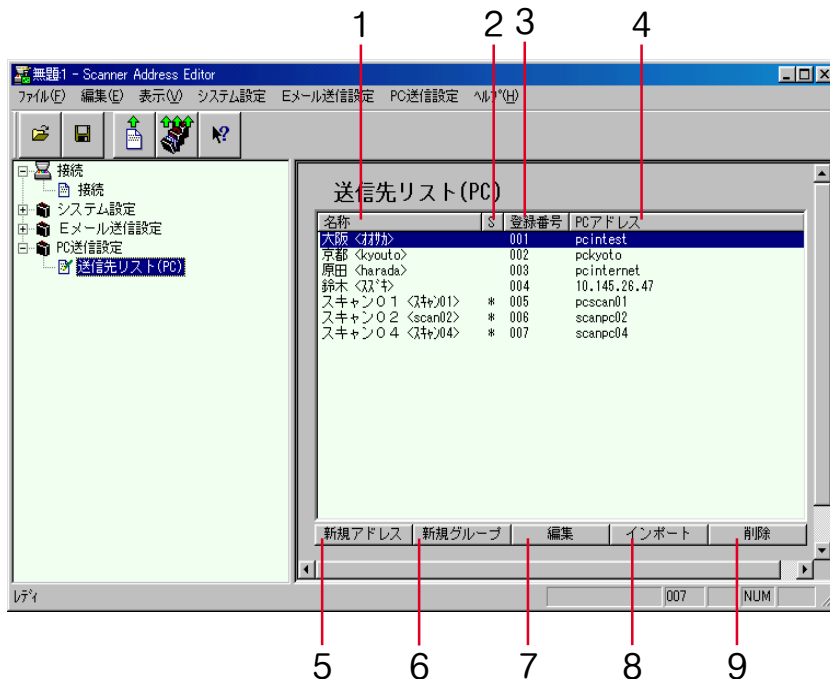
Address Editor

PC 送信設定

スキャンした画像を PC 送信で送信する際に、送信先の登録 / 編集などの設定をします。

(1) 送信先リスト

PC 送信時の送信先リストの表示・編集を行います。



1. 名称 PC 送信先としてスキャナ本体の操作部に表示する名称<フリガナ>を表示します。
2. S 送信元（ユーザ）リストに関連付けされているアドレスが登録されていると、この欄に*が表示されます。編集の際には、送信元（ユーザ）リストも同時に変更されます。送信先としてスキャナ本体の操作部に表示する名称<フリガナ>を表示します。
3. 登録番号 送信先 PC データの登録番号を表示します。
※登録できる登録番号は 001 ～ 100 です。
4. PC アドレス 送信先 PC のホスト名または IP アドレスを表示します。
5. 新規アドレスボタン 送信先 PC アドレスを新規に作成するときにクリックしてください。送信先の編集ダイアログが表示されます。（P3-63 参照）
6. 新規グループボタン 送信先 PC グループを新規に作成するときにクリックしてください。送信先グループ登録ダイアログが表示されます。（P3-64 参照）
7. 編集ボタン 送信先 PC アドレス / グループの編集をするときにクリックしてください。送信先の編集ダイアログが表示されます。（P3-63 参照）
8. インポートボタン Address Editor、アドレス帳 for Scanner からアドレスデータをインポートするときにクリックしてください。インポートするためのダイアログが表示されます。（P3-68 参照）
9. 削除ボタン 選択中の配信先 PC アドレス / PC グループデータを削除するときにクリックしてください。
※送信先を複数選択して削除することもできます。

(2) 送信先の編集 (PC 送信)

送信先 PC アドレスの表示または編集を行います。

送信先の編集

1 名称
(フリガナ)
AA*+

名称
(日本語)
鈴木

登録番号
004

2 PCアドレス
10.145.28.47

3 保存先番号
001

4

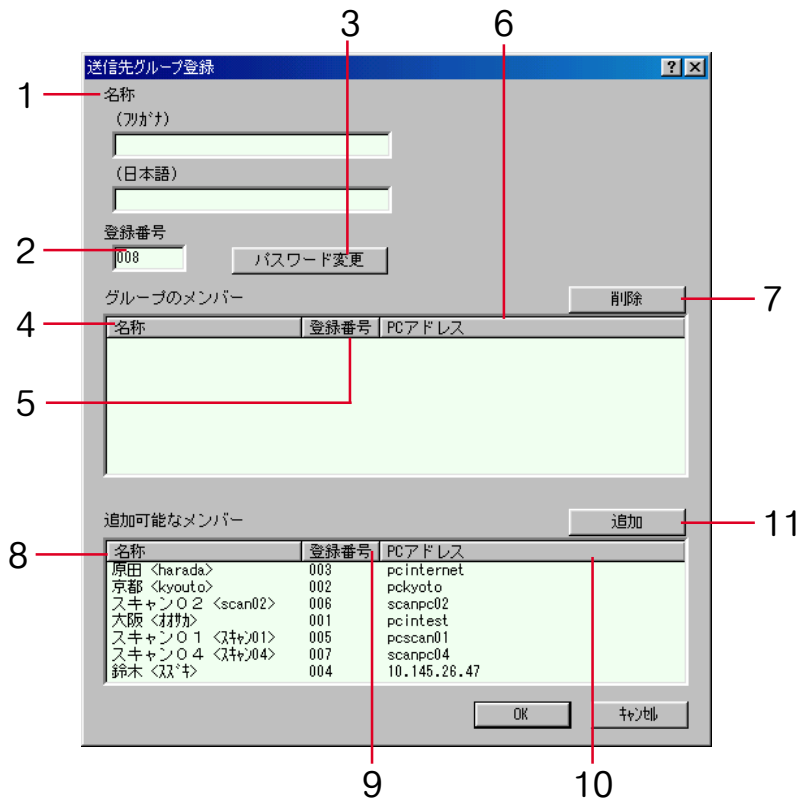
OK キャンセル

1. 名称
(フリガナ) 登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
(日本語) 登録名称を入力する欄です。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
2. 登録番号 送信先 PC の登録番号を入力します。
3. PC アドレス 送信先 PC のホスト名または IP アドレスを入力します。
4. 保存先番号 保存先のフォルダ番号を表示します。

Address Editor

(3) 送信先グループ登録 / 編集

送信先 PC グループアドレスの表示または編集を行います。



1. 名称
(フリガナ) 登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
(日本語) 登録名称を入力する欄です。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
2. 登録番号 送信先 PC の登録番号を入力します。
3. パスワード変更 PC グループアドレスのパスワード変更を行います。

<グループのメンバー>

4. 名称 グループ内に登録されている送信先 PC アドレスの名称を表示します。
5. 登録番号 グループ内に登録されている送信先 PC アドレスの登録番号を表示します。
6. PC アドレス グループ内に登録されている送信先 PC のアドレスを表示します。
7. 削除 選択したアドレスをグループのメンバーから削除します。
※削除されたアドレスは、“追加可能なメンバー”に追加されます。

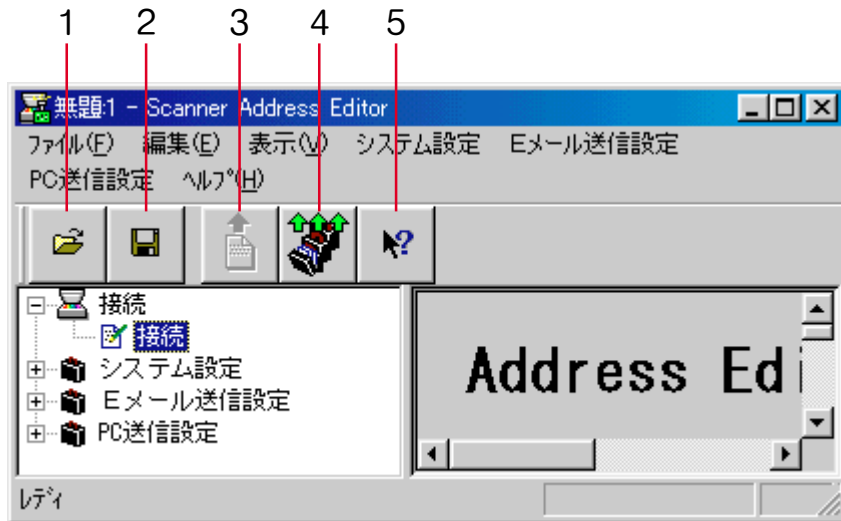
<追加可能なメンバー>

8. 名称 登録されている送信先 PC アドレスの名称を表示します。
9. 登録番号 登録されている送信先 PC アドレスの登録番号を表示します。
10. PC アドレス 登録されている送信先 PC のアドレスを表示します。
11. 追加ボタン 選択したアドレスをグループのメンバーに追加します。
※追加されたアドレスは、“追加可能なメンバー”から削除されます。
※“グループのメンバー”には、最大 30 件までアドレスを登録できます。

Address Editor

ツールバー

ツールバーには編集データのスキナへの書き込みなどの操作を簡単におこなうためのボタンが並んでいます。



1. 開くボタンAddress Editor ファイルを指定して開きます。
2. 保存ボタン 編集したデータをファイルに保存します。
3. データ送信ボタン 編集したページの設定データをスキナに登録します。
4. 一括送信ボタン 編集したすべての設定データをスキナに登録します。
5. ヘルプボタン ヘルプの表示をします。

アドレスデータのインポート

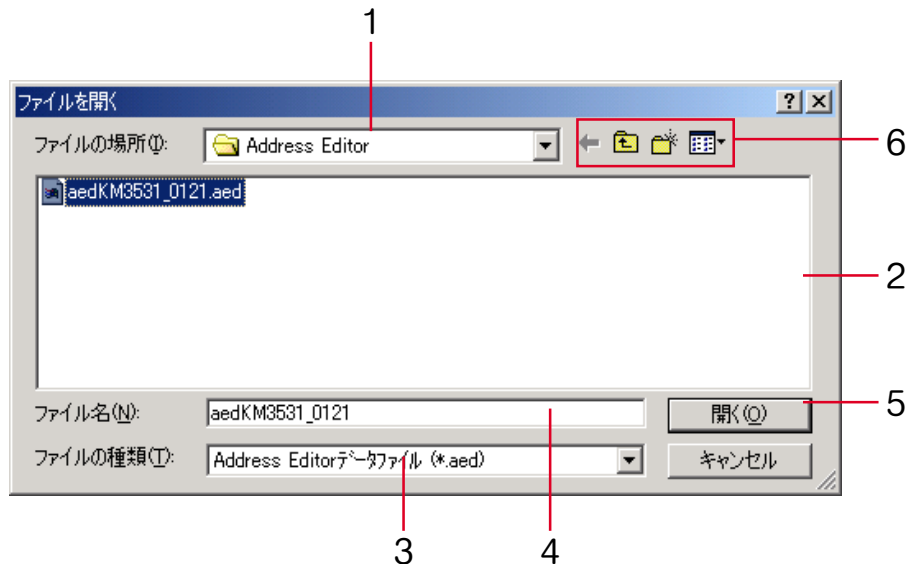
Address Editor では、送信元リスト、送信先リスト（E メール、PC）に Address Editor、アドレス帳 for Scanner、Microsoft 社の Outlook で作成しエクスポートされた csv 形式のアドレスデータをインポートすることができます。

（1）送信元リスト、送信先リスト（E メール、PC）へ、アドレスデータのインポート
アドレスデータを送信元リスト、送信先リスト（E メール、PC）へインポートすることができます。

重要

- ・送信元リストでインポートすることができるデータは「Address Editor(*.aed)データ、Outlook(*.csv)データ」です。
- ・送信先リスト（Eメール）でインポートすることができるデータは「Address Editor(*.aed)データ、アドレス帳 for Scanner(*.dat)データ、Outlook(*.csv)データ」です。
- ・送信先リスト（PC）でインポートすることができるデータは「Address Editor(*.aed)データ、アドレス帳 for Scanner(*.dat)データ」です。

Address Editor

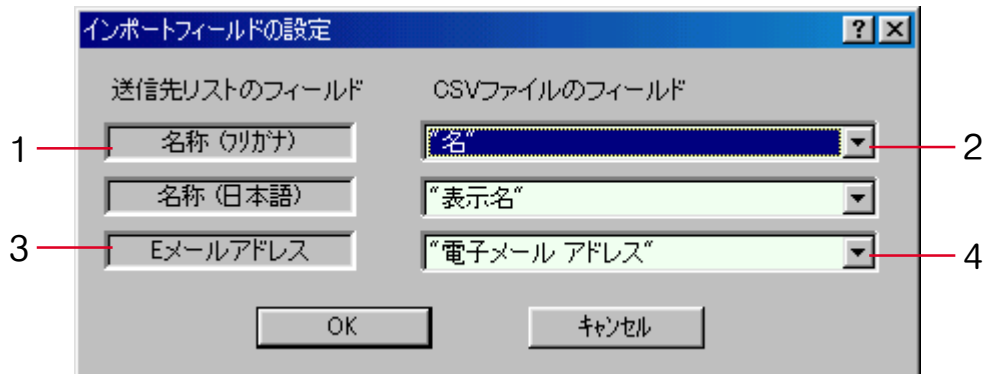


1. ファイルの場所 インポートしたいファイルが保存されているフォルダを指定します。
2. ファイルの一覧 指定したフォルダ内のファイルが一覧表示されます。
3. ファイルの種類 インポートするデータのファイルの種類を設定します。
4. ファイル名 選択されたファイル名が表示します。
5. 開くボタン インポートするデータファイルを開きます。
6. フォルダ移動 / 新規作成 / 表示変更等 各ツールバーの操作は、Windows の基本操作と同じです。

Address Editor

(2) フィールドの設定

csv ファイルを選択した場合、テキストフィールドを送信先リストの項目に対応付けることができます。

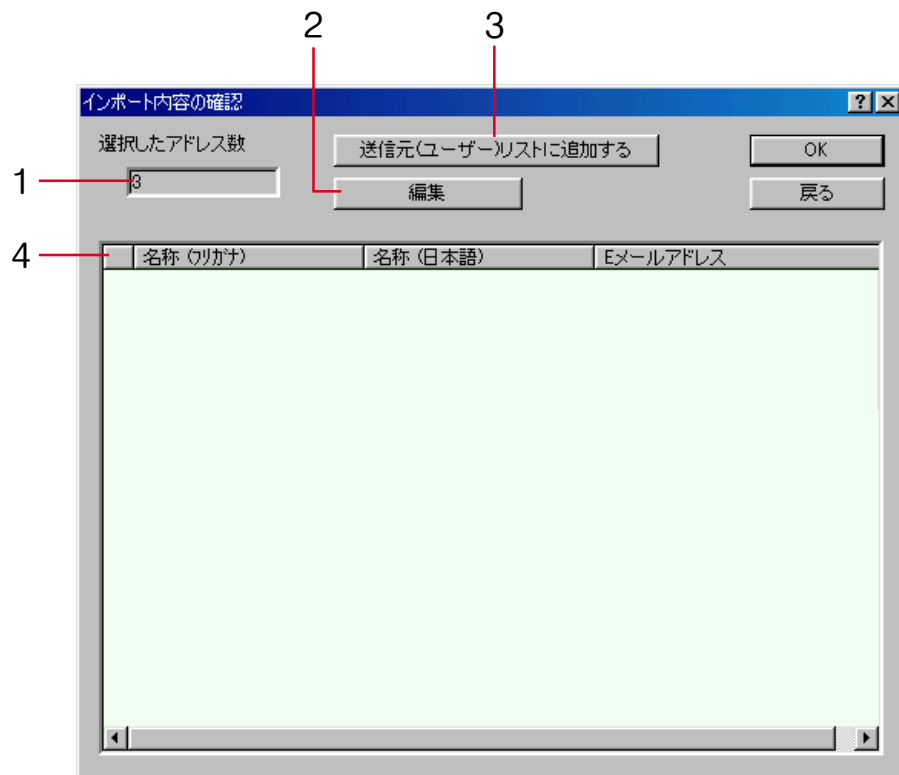


1. 名称
(フリガナ) E メール送信先としてスキャナ本体の操作部に表示する名称のフリガナ。
(日本語) E メール送信先としてスキャナ本体の操作部に表示する名称。
2. 名称フィールド csv ファイルに記述された、名称に対応する項目名称を選択します。
3. E メールアドレス 送信先リストの E メールアドレス。
4. E メールアドレス帳用
フィールド csv ファイルに記述された、E メールアドレスに対応する項目名称を選択します。

Address Editor

(3) インポート内容の確認

インポートするデータの内容を確認し、リスト（送信元、送信先）に追加します。



1. 選択したアドレス数 インポートするためにリストから選択したエントリーの数を表示します。
 2. 編集ボタン 選択したエントリーの内容を編集します。
 3. 送信元（ユーザ）リストに追加するボタン
..... リストから選択したエントリーを送信先リストに追加します。
 4. 警告欄 インポートに問題のある内容を含むエントリーに警告記号を表示します。警告記号は以下の通りです。
 - ？： 名称文字数が制限を越えるときに表示します。編集により文字数を減らすと表示は消えます。
 - ！： 名称に漢字など（2 バイト文字）を含むときに表示します。編集により英数字に変更すると表示は消えます。
 - ！： E メールアドレスの文字数が制限が越えているか E メールアドレスとして使用できない文字が含まれているときに表示します。
- ※警告欄が？の場合は、登録可能なデータへの自動変換を行い、送信先リスト（E メール）への追加を行います。
- ※警告欄が！の場合は、送信先リスト（E メール）への追加を行いません。
- ※送信先リストに同じ名称のデータが登録されていた場合には、インポート時に名称の変更を行った後、送信先リスト（E メール）への追加を行います。
- ※登録番号はインポート時に自動で作成されます。
- ※Address Editor およびアドレス帳 for Scanner のグループデータはインポートすることができません。

Address Editor

バージョン情報

メニューバーの“ヘルプ” → “バージョン情報”を選択すると、バージョン情報画面が表示します。



アドレス帳 for Scanner

アドレス帳 for Scanner について

アドレス帳 for Scanner は、スキャナで読み込んだ画像イメージをスキャナからの操作で E メール送信したり PC 送信するときに参照する送信先リストの登録・編集を行うユーティリティです。

アドレス帳 for Scanner のインストール後は PC 起動時と同時にユーティリティも起動します。タスクバー上には、起動中を示すアイコンが表示されます。

アドレス帳 for Scanner

動作環境

- ・ハードウェア IBM PC/AT 互換機
- ・インターフェイス 10BASE-T/100BASE-TX
- ・オペレーティングシステム Windows NT 4.0 (Service Pack 5以降),
Windows 2000 (Service Pack 2以降),
Windows 98 (Second Edition), Windows 95 (OSR2),
Windows Me, Windows XP, Windows Server 2003

アドレス帳 for Scanner

インストールとアンインストール

(1) アドレス帳 for Scanner のインストール

1. スキャナ CD のメインメニューで“スキャナーユーティリティ”をクリックしてください。次画面が表示されます。
※メインメニュー表示までの操作については、P1-3 “スキャナ CD-ROM の使いかた”を参照してください。



2. “アドレス帳 for Scanner”をクリックしてください。

アドレス帳 for Scanner

3. ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。

※PCの起動時にアドレス帳 for Scannerも起動し、バックグラウンドで常時動作します。Windowsのタスクバーにはそれを示すアイコンが表示されます。

(2) アドレス帳 for Scanner のアンインストール

Windowsの“アプリケーションの追加と削除”機能を使ってアンインストールを行ってください。

アドレス帳 for Scanner

スタートダイアログ

アドレス帳 for Scannerは、インストール後自動的に起動しますが、このプログラムを終了させるときや、送信先リストの登録・編集などを行うときには、スタートダイアログを表示させてください。

(1) スタートダイアログの表示方法

●プログラムが起動中のとき

タスクバーのアイコンをダブルクリックしてください。アドレス帳 for Scannerのスタートダイアログが表示されます。

●プログラムが終了しているとき

Windows タスクバーのスタートボタンをクリックし、表示されるメニューから“プログラム” → “Scanner User Software” → “アドレス帳 for Scanner” の順に選択してください。Windowsのタスクバーにアドレス帳 for Scannerの起動を示すアイコンが表示されます。その後は表示されたアイコンをダブルクリックしてください。スタートダイアログが表示されます。

アドレス帳 for Scanner

(2) スタートダイアログについて



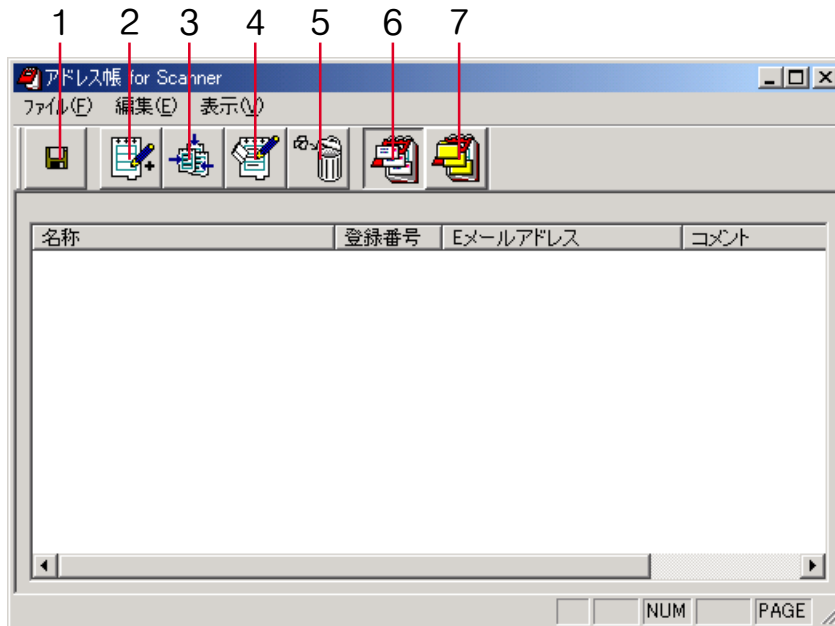
1. 接続中のスキャナ欄 接続中のスキャナのリストを表示します。“スキャナ名”にはスキャナに登録されているホスト名と IP アドレスを表示します。“接続開始時間”にはスキャナと接続が開始された時間が表示されます。
2. OK ボタン クリックするとスタートダイアログを閉じます。
3. 設定ボタン 送信先アドレスの登録や編集を行うときにクリックしてください。“アドレス帳 for Scanner” ダイアログが表示されます。
4. 終了ボタン クリックするとアドレス帳 for Scanner が終了します。

アドレス帳 for Scanner

送信先リストの設定

(1) “アドレス帳 for Scanner” ダイアログについて

スキャン画像イメージを E メール送信または PC 送信するときの送信先アドレスの登録や編集を行うときは、スタートダイアログの“設定” ボタンをクリックしてください。“アドレス帳 for Scanner” ダイアログが表示され、すでに登録されている送信先アドレスを確認することができます。デフォルトでは E メール送信用の送信先リストが表示されます。



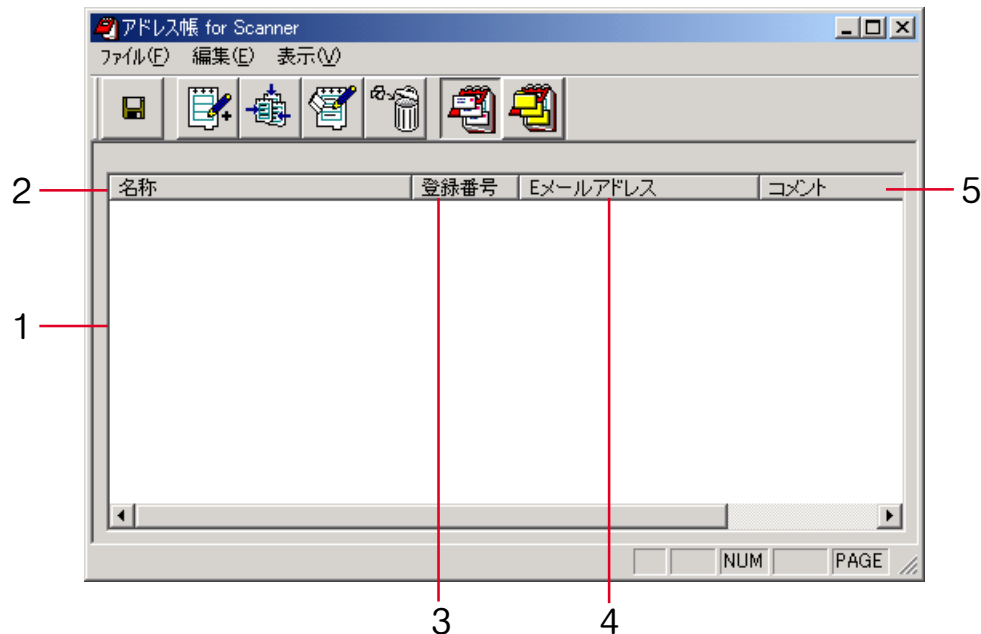
アドレス帳 for Scanner

1. 適用ボタン送信先リストの変更内容を保存するときにクリックしてください。
2. 新規アドレスボタンE メール送信またはPC 送信での送信先アドレスをリストに登録するときにクリックしてください。（P3-83, 91参照）
3. 新規グループボタンE メール送信またはPC 送信での送信先グループを新規作成するときにクリックしてください。（P3-85, 93参照）
4. 編集ボタン送信先リストに登録されている送信先アドレスまたは送信先グループの登録内容を変更するときにクリックしてください。（P3-83, 85, 91, 93参照）
5. 削除ボタン送信先アドレスまたは送信先グループを送信先リストから削除するときにクリックしてください。
6. E メール
アドレスボタンE メール送信用の送信先リストを表示するときにクリックしてください。
7. PC アドレスボタンPC 送信用の送信先リストを表示するときにクリックしてください。

アドレス帳 for Scanner

(2) E メール送信先リスト

“アドレス帳 for Scanner” ダイアログで“E メール” ボタンをクリックしてください。E メール送信時の送信先リストが表示されます。



1. 送信先リスト欄.....送信先リストに登録されているEメール送信先を一覧表示します。
2. 名称.....送信先（グループ）の名称を表示します。スキャナの操作パネルにも同じ名称が表示されます。

アドレス帳 for Scanner

3. 登録番号送信先（グループ）の登録番号を表示します。登録番号は送信先を送信先リストに登録した順に付けられます。
4. Eメールアドレス送信先のEメールアドレスを表示します。
5. コメント送信先についてのコメントを表示します。
※2～5の項目名のバーをクリックすると、それぞれの内容がソートできます。再度クリックすると逆順になります。

アドレス帳 for Scanner

(3) E メール送信先の登録と編集

E メール送信先を送信先リストに登録したり、すでに登録されている E メール送信先の登録内容を編集するには“送信先登録（E メール）”ダイアログで設定を行います。

登録手順

1. “アドレス帳 for Scanner”ダイアログで“新規アドレス”ボタンをクリックしてください。“送信先登録（E メール）”ダイアログが表示されます。

E メール送信先の編集をする場合は、送信先リストから編集する E メール送信先を選択し、“編集”ボタンをクリックしてください。設定方法は登録、編集いずれの場合も同じです。

The image shows a Windows-style dialog box titled "送信先登録(Eメール)". It contains several input fields and two buttons. Red lines with numbers point to specific elements:

- 2 points to the "名称" (Name) label.
- 3 points to the "登録番号" (Registration Number) label.
- 4 points to the "Eメールアドレス" (E-mail Address) label.
- 5 points to the "コメント" (Comment) label.
- 6 points to the "OK" button.

The input fields are labeled as follows:

- 名称 (フリガナ) - Kana name
- 名称 (日本語) - Japanese name
- 登録番号 - Registration number (example: 007)
- Eメールアドレス - E-mail address
- コメント - Comment

Buttons: OK, キャンセル (Cancel).

2. 登録する送信先のフリガナを 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナで入力してください。登録する送信先名称（日本語）を 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナ、または漢字 8 文字以内（全角）で入力してください。

アドレス帳 for Scanner

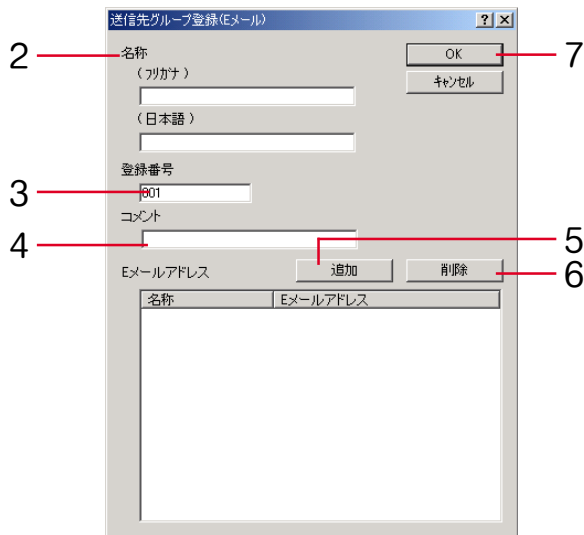
3. 送信先の登録時には登録する順に 001 ～ 100 までの番号が自動的に付けられます。登録番号を変更することもできます。
4. 送信先の E メールアドレスを 64 文字以内の半角英数字で入力してください。
5. コメントを入力してください。
6. “OK” ボタンをクリックしてください。入力した送信先が登録され、“アドレス帳 for Scanner” ダイアログに戻ります。
7. “アドレス帳 for Scanner” ダイアログで“適用” ボタンをクリックしてください。送信先リストの変更内容が保存されます。

(4) E メール送信先グループの登録と編集

E メール送信先グループを送信先リストに登録したり、すでに登録されているEメール送信先グループの登録内容を編集するには、“送信先グループ登録（Eメール）”ダイアログで設定を行います。

登録手順

1. “アドレス帳 for Scanner”ダイアログで“新規グループ”ボタンをクリックしてください。“送信先グループ登録（Eメール）”ダイアログが表示されます。
Eメール送信先グループの編集をする場合は、送信先リストから編集するEメール送信先グループを選択し、“編集”ボタンをクリックしてください。設定方法は登録、編集いずれの場合も同じです。



アドレス帳 for Scanner

2. 登録する送信先のフリガナを 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナで入力してください。登録する送信先名称（日本語）を 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナ、または漢字 8 文字以内（全角）で入力してください。
3. 送信先グループの登録時には登録する順に 001 ～ 100 までの番号が自動的に付けられます。登録番号を変更することもできます。
4. コメントを入力してください。
5. グループに送信先を追加する場合は“追加”ボタンをクリックしてください。“メンバー編集（Eメール）”ダイアログが表示されます。（P3-87 参照）
6. グループから送信先を削除する場合は、“E メールアドレス”欄から削除したい送信先を選択して“削除”ボタンをクリックしてください。
7. “OK”ボタンをクリックしてください。入力した送信先グループが登録され、“アドレス帳 for Scanner”ダイアログに戻ります。
8. “アドレス帳 for Scanner”ダイアログで“適用”ボタンをクリックしてください。送信先リストの変更内容が保存されます。

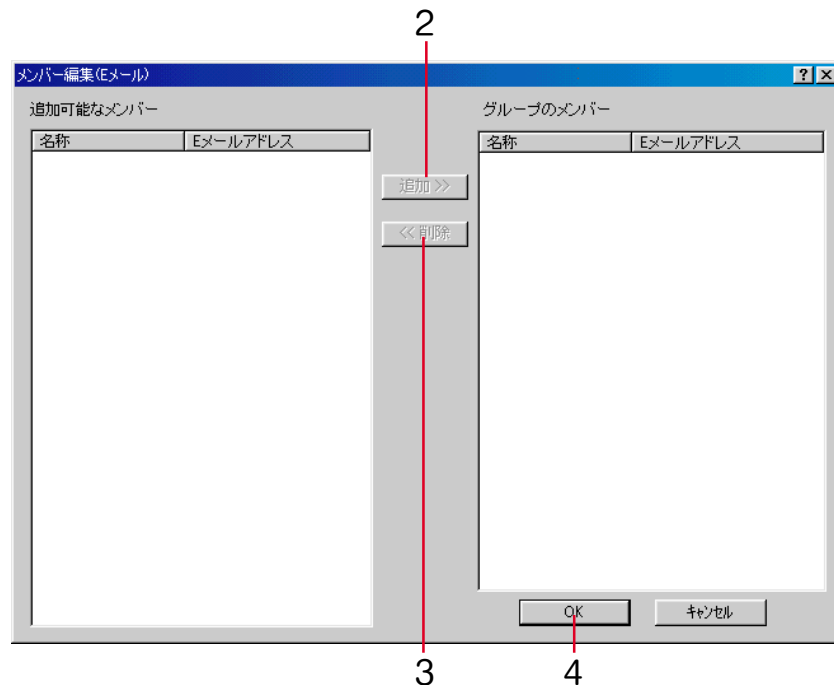
アドレス帳 for Scanner

(5) E メール送信先グループへの送信先の追加

E メール送信先グループへの送信先の追加は“メンバー編集（E メール）”ダイアログで行います。

追加手順

1. “送信先グループ登録（E メール）”ダイアログで“追加”ボタンをクリックしてください。“メンバー編集（E メール）”ダイアログが表示されます。



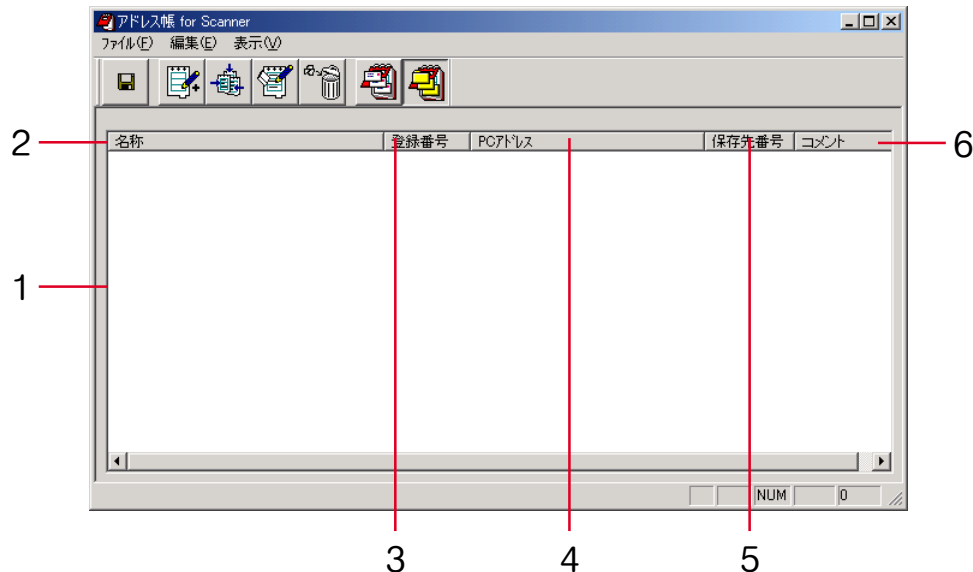
アドレス帳 for Scanner

2. “追加可能なメンバー” 欄から追加する送信先を選択して“追加” ボタンをクリックしてください。
3. グループから送信先を削除する場合は、“グループのメンバー” 欄から削除したい送信先を選択して“削除” ボタンをクリックしてください。
4. “OK” ボタンをクリックしてください。“送信先グループ登録（E メール）” ダイアログに戻ります。

アドレス帳 for Scanner

(6) PC 送信先リスト

“アドレス帳 for Scanner” ダイアログで“PC 送信” ボタンをクリックしてください。PC 送信時の送信先リストが表示されます。



1. 送信先リスト欄.....送信先リストに登録されている送信先 PC を一覧表示します。
2. 名称.....送信先（グループ）の名称を表示します。スキャナの操作パネルにも同じ名称が表示されます。

アドレス帳 for Scanner

3. 登録番号送信先（グループ）の登録番号を表示します。登録番号は送信先を送信先リストに登録した順に付けられます。
4. PC アドレス送信先の PC アドレス（IP アドレスまたはホスト名）を表示します。
5. 保存先番号送信先 PC の保存フォルダ番号を表示します。
6. コメント送信先についてのコメントを表示します。
※2～6の項目名のバーをクリックすると、それぞれの内容がソートできます。再度クリックすると逆順になります。

アドレス帳 for Scanner

(7) 送信先 PC の登録と編集

送信先 PC を送信先リストに登録したり、すでに登録されている送信先 PC を編集するには、“送信先登録（PC）” ダイアログで設定を行います。

登録手順

1. “アドレス帳 for Scanner” ダイアログで“新規アドレス” ボタンをクリックしてください。“送信先登録（PC）” ダイアログが表示されます。
送信先 PC の編集をする場合は、送信先リストから編集する送信先 PC を選択し、“編集” ボタンをクリックしてください。設定方法は登録、編集いずれの場合も同じです。

The image shows a Windows-style dialog box titled "送信先登録(PC)". It contains several input fields and two buttons. Red lines with numbers point to specific elements:

- 2 points to the "名称 (フリガナ)" label.
- 3 points to the "登録番号" label.
- 4 points to the "PCアドレス" label.
- 5 points to the "保存先番号" label.
- 6 points to the "コメント" label.
- 7 points to the "OK" button.

The input fields are as follows:

- "名称 (フリガナ)": A text box with a light green background.
- "名称 (日本語)": A text box with a light green background.
- "登録番号": A text box containing the value "001".
- "PCアドレス": A text box with a light green background.
- "保存先番号": A text box with a light green background.
- "コメント": A text box with a light green background.

The buttons are "OK" and "キャンセル" (Cancel).

アドレス帳 for Scanner

2. 登録する送信先のフリガナを 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナで入力してください。登録する送信先名称（日本語）を 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナ、または漢字 8 文字以内（全角）で入力してください。
3. 送信先 PC の登録時には登録する順に 001 ～ 100 までの番号が自動的に付けられます。登録番号を変更することもできます。
4. 送信先 PC の PC アドレス（IP アドレスまたはホスト名）を 32 文字以内の半角英数字で入力してください。
5. 送信先 PC の保存フォルダ番号を 001 ～ 100 までの数字で入力してください。
6. コメントを入力してください。
7. “OK” ボタンをクリックしてください。入力した送信先 PC が登録され、“アドレス帳 for Scanner” ダイアログに戻ります。
8. “アドレス帳 for Scanner” ダイアログで“適用” ボタンをクリックしてください。送信先リストの変更内容が保存されます。

アドレス帳 for Scanner

(8) 送信先 PC グループの登録と編集

送信先 PC グループを送信先リストに登録したり、すでに登録されている送信先 PC グループを編集するには、“送信先グループ登録（PC）” ダイアログで設定を行います。

登録手順

1. “アドレス帳 for Scanner” ダイアログで“新規グループ” ボタンをクリックして“送信先グループ登録（PC）” ダイアログを表示してください。
送信先 PC グループの編集をする場合は、送信先リストから編集する送信先 PC グループを選択し、“編集” ボタンをクリックしてください。設定方法は登録、編集いずれの場合も同じです。

The screenshot shows the '送信先グループ登録(PC)' dialog box. It contains the following elements with numbered callouts:

- 2**: Points to the '名称' (Name) label.
- 3**: Points to the '登録番号' (Registration Number) label.
- 4**: Points to the 'パスワード変更' (Change Password) button.
- 5**: Points to the 'コメント' (Comment) label.
- 6**: Points to the '追加' (Add) button.
- 7**: Points to the '削除' (Delete) button.
- 8**: Points to the 'OK' button.

The dialog box also includes a 'キャンセル' (Cancel) button and a table at the bottom with columns for '名称', 'PCアドレス', and '保存先番号'.

アドレス帳 for Scanner

2. 登録する送信先のフリガナを 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナで入力してください。登録する送信先名称（日本語）を 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナ、または漢字 8 文字以内（全角）で入力してください。
3. 送信先の登録時には登録する順に 001 ～ 100 までの番号が自動的に付けられます。登録番号を変更することもできます。
4. グループパスワードの設定または変更を行うときに“パスワード変更” ボタンをクリックしてください。“パスワード変更” ダイアログが表示されます。（P3-95 参照）
5. コメントを入力してください。
6. グループに送信先 PC を追加する場合は、“追加” ボタンをクリックしてください。“メンバー編集（PC）” ダイアログが表示されます。（P3-96 参照）
7. グループから送信先 PC を削除する場合は、“PC アドレス” 欄から削除したい送信先 PC を選択して“削除” ボタンをクリックしてください。
8. “OK” ボタンをクリックしてください。入力した送信先 PC グループが登録され、“アドレス帳 for Scanner” ダイアログに戻ります。
9. “アドレス帳 for Scanner” ダイアログで“適用” ボタンをクリックしてください。送信先リストの変更内容が保存されます。

アドレス帳 for Scanner

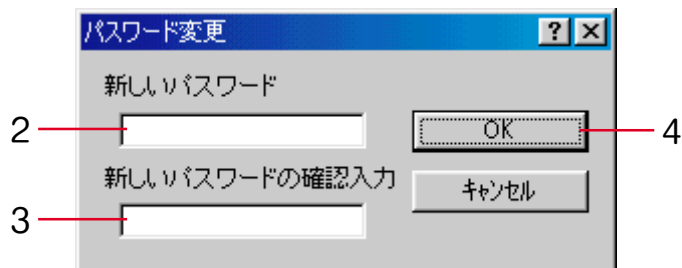
(9) 送信先 PC グループパスワードの登録と変更

送信先 PC グループパスワードを設定したり、すでに設定されているパスワードを変更するには“パスワード変更”ダイアログで設定を行います。

重要 送信先 PC グループのメンバーとなる各 PC のフォルダパスワードは、ここで設定するグループパスワードと同じにしてください。

設定手順

1. “送信先グループ登録（PC）”ダイアログで“パスワード変更”ボタンをクリックしてください。
“パスワード変更”ダイアログが表示されます。



2. 新しいパスワードを 8 桁以内の数字で入力してください。
3. 新しいパスワードを再度確認入力してください。
4. “OK” ボタンをクリックしてください。“送信先グループ登録（PC）”ダイアログに戻ります。

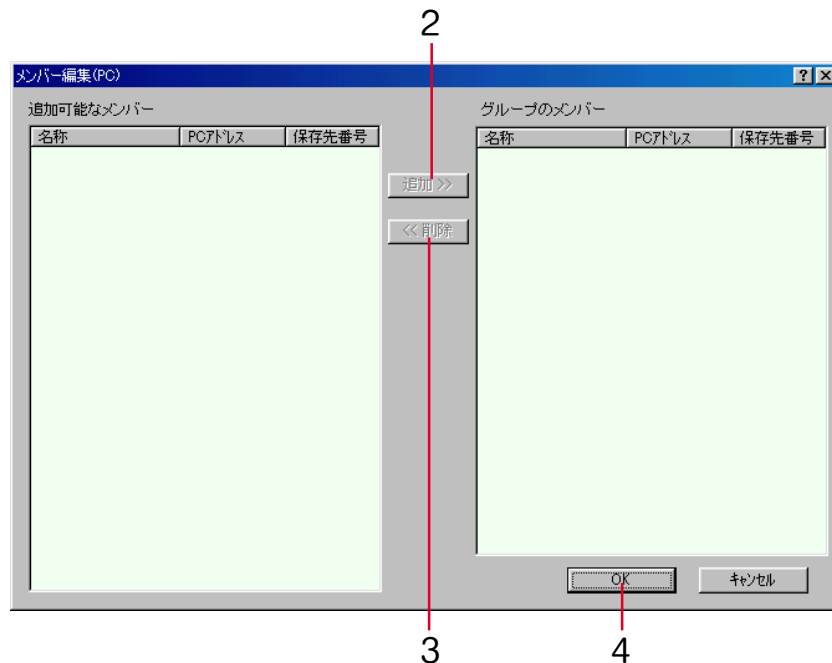
アドレス帳 for Scanner

(10) 送信先 PC グループへの送信先 PC の追加

送信先 PC グループへの送信先 PC の追加は、“メンバー編集 (PC)” ダイアログで行います。

追加手順

1. “送信先グループ登録 (PC)” で“追加” ボタンをクリックしてください。“メンバー編集 (PC)” ダイアログが表示されます。



アドレス帳 for Scanner

2. “追加可能なメンバー” 欄から追加する送信先 PC を選択して“追加” ボタンをクリックしてください。
3. グループから送信先 PC を削除する場合は、“グループのメンバー” 欄から削除したい送信先 PC を選択して“削除” ボタンをクリックしてください。
4. “OK” ボタンをクリックしてください。“送信先グループ登録（PC）” ダイアログに戻ります。

アドレス帳 for Scanner

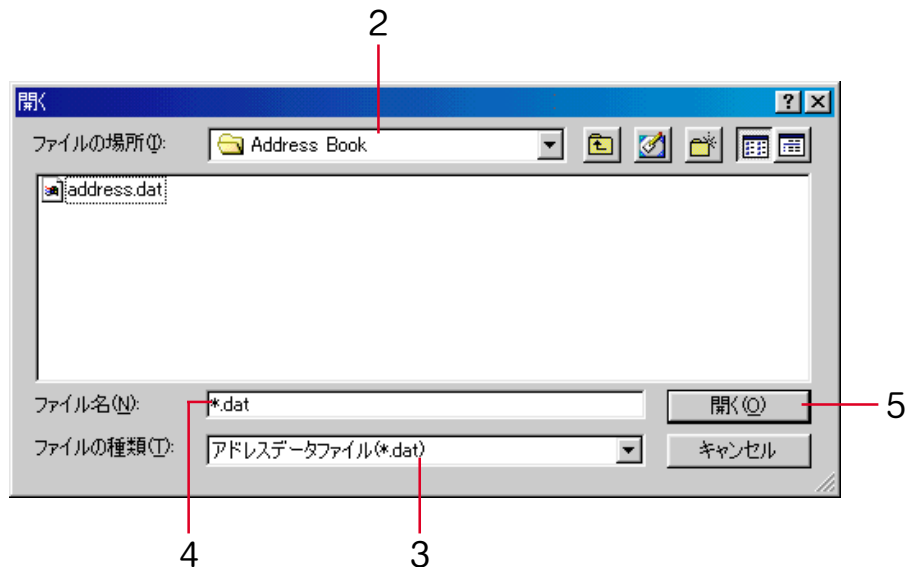
アドレスデータファイルのインポート

(1) アドレス帳 for Scanner のインポート

アドレス帳 for Scanner で作成し、保存されたアドレスデータを指定して開くと、そのアドレスデータを使用することができます。

インポート手順

1. “アドレス帳 for Scanner” ダイアログでメニューバーの“ファイル” → “インポート” → “アドレス帳 for Scanner” を選択してください。“開く” ダイアログが表示されます。



アドレス帳 for Scanner

2. アドレスデータファイルが保存されているフォルダを選択してください。デフォルトでは“アドレス帳 for Scanner” フォルダが選択されています。
3. ファイルの種類を選択してください。dat ファイルのみ選択できます。
4. “ファイル名” 欄にファイル名を入力してください。アドレスデータファイルの一覧からファイルを選択することもできます。
5. “開く” ボタンをクリックしてください。選択したアドレスデータファイルのアドレス情報が“アドレス帳 for Scanner” ダイアログに表示されます。

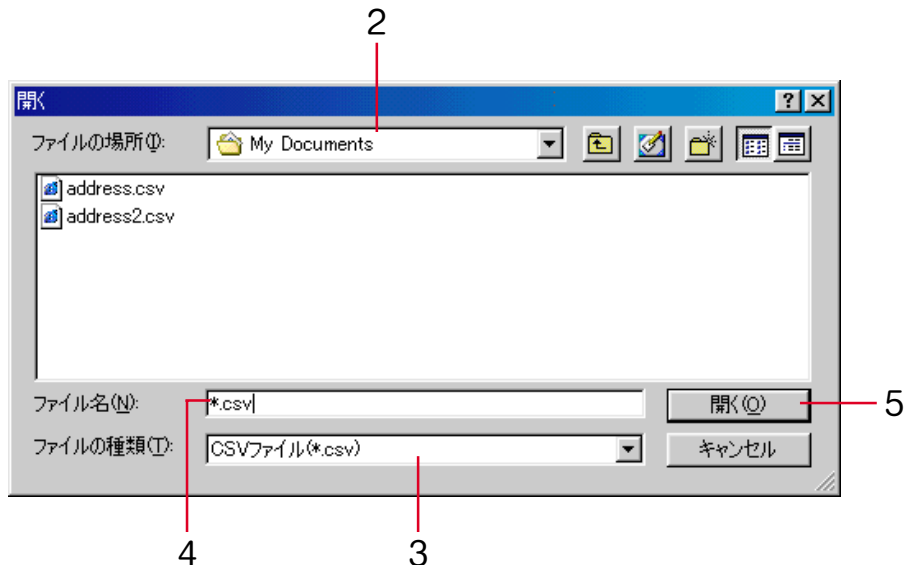
アドレス帳 for Scanner

(2) csv ファイルのインポート

他のメールソフトで作成し、csv 形式で保存されたアドレスデータを指定して開き、そのアドレスデータをアドレス帳 for Scanner で使用することができます。

インポート手順

1. “アドレス帳 for Scanner” ダイアログで E メールボタンをクリックし、メニューバーの“ファイル” → “インポート” → “CSV ファイル” を選択してください。“開く” ダイアログが表示されます。



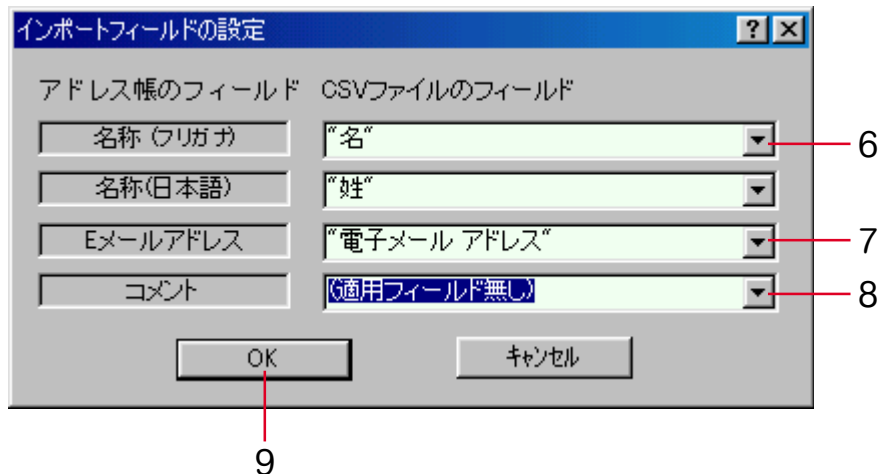
アドレス帳 for Scanner

2. csv 形式で保存されたアドレスデータファイルが保存されているフォルダを選択してください。
3. ファイルの種類を選択してください。csv ファイルのみ選択できます。
4. “ファイル名” 欄にファイル名を入力してください。csv ファイルの一覧からファイルを選択することもできます。
5. “開く” ボタンをクリックしてください。“インポートフィールドの設定” ダイアログが表示されます。

アドレス帳 for Scanner

●フィールドの対応付け

インポートする csv ファイルの項目をアドレス帳 for Scanner の E メール送信先リストの表示項目に対応付けをします。

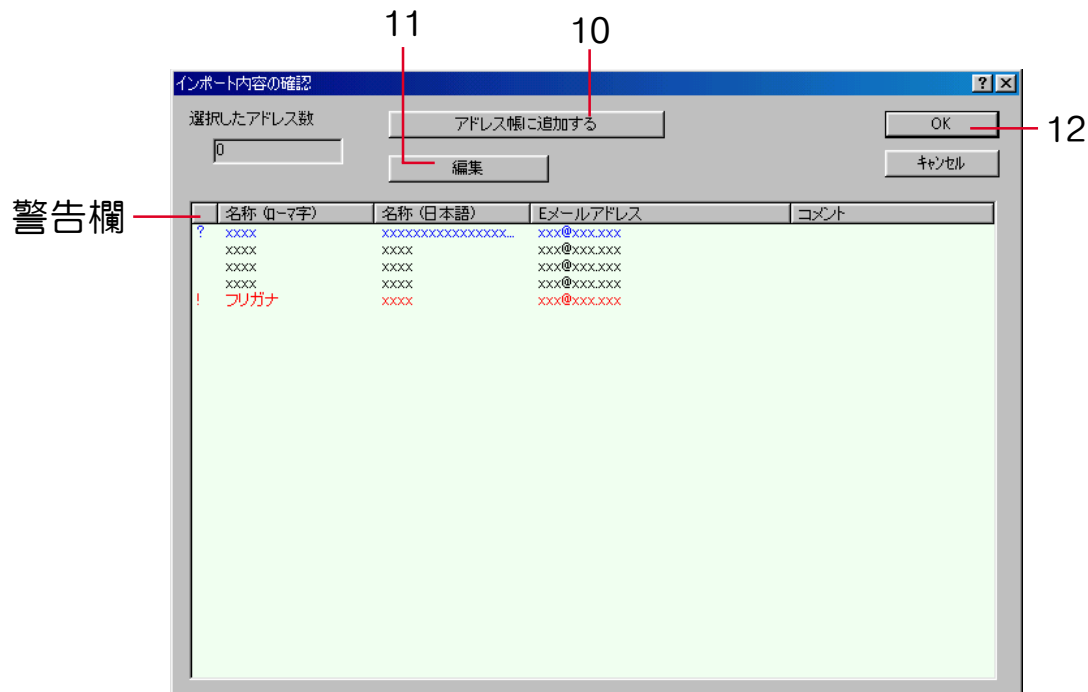


6. Eメール送信先リストの“名称（フリガナ）”、“名称（日本語）”に表示させる項目を選択してください。
7. Eメール送信先リストの“Eメールアドレス”に表示させる項目を選択してください。
8. Eメール送信先リストの“コメント”に表示させる項目を選択してください。
9. “OK” ボタンをクリックしてください。“インポート内容の確認”ダイアログが表示されます。

アドレス帳 for Scanner

●インポート内容の確認とアドレス帳 for Scanner への登録

インポートする csv ファイルの内容をリストで確認し、アドレス帳 for Scanner の E メール送信先リストに登録します。



アドレス帳 for Scanner

10. インポートする E メールアドレスをリストから選択して“アドレス帳に追加する”ボタンをクリックしてください。“選択したアドレス数”欄には選択したアドレスの数が表示されます。
11. リストから選択した E メールアドレスの登録内容を編集する場合は“編集”ボタンをクリックしてください。送信先登録 (E メール) ダイアログが表示されます。(P3-83 参照)
12. “OK”ボタンをクリックしてください。選択した E メールアドレスがアドレス帳 for Scanner の E メール送信先リストに登録されます。

注意 警告欄について

アドレス帳 for Scanner へのインポートに問題のある内容を含むために登録不可能な E メールアドレスに警告記号を表示します。その場合、“編集”ボタンをクリックしてください。送信先登録 (E メール) ダイアログが表示されます (P3-83 参照)。E メールアドレスの登録内容を登録可能な内容に編集してください。警告記号の表示が消えます。

警告記号の表示

? : 名称が 16 文字を超えた場合に表示されます。

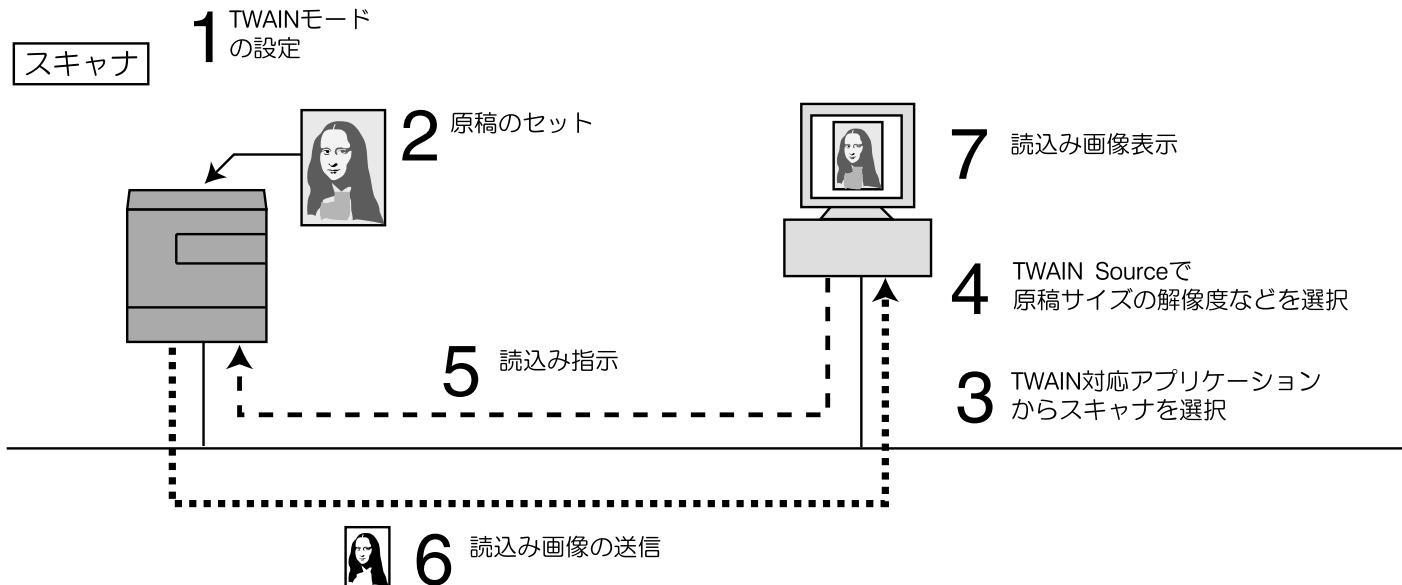
! : 名称 < フリガナ > に漢字などの 2 バイトの文字を含む場合や E メールアドレスが 64 文字を超えた場合に表示されます。

TWAIN Source

TWAIN Source について

スキャナからの画像の取込みは、TWAIN 対応アプリケーションから操作を行い、スキャナで読み込んだ画像イメージを TWAIN 対応アプリケーションに取り込むことを可能にするユーティリティです。この章では、TWAIN 対応の汎用アプリケーションを使用した画像取り込みについて説明しています。

重要 この方法で画像取り込みを行うためには、あらかじめ TWAIN Source を PC にインストールしておく必要があります。使用する PC が複数である場合は、各 PC に TWAIN Source をインストールしてください。



動作環境

- ・ハードウェア IBM PC/AT 互換機
- ・インターフェイス 10BASE-T/100BASE-TX
- ・オペレーティングシステム Windows NT 4.0 (Service Pack 5以降),
Windows 2000 (Service Pack 2以降),
Windows 98 (Second Edition), Windows 95 (OSR2),
Windows Me, Windows XP, Windows Server 2003

TWAIN Source

TWAIN Source のインストール

1. スキャナCDのメインメニューで“TWAIN Source”をクリックしてください。
※メインメニュー表示までの操作については、P1-3 “スキャナ CD-ROM の使いかた” を参照してください。



2. ご使用の機種を選択してください。
3. ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。

TWAIN Source のアンインストール

Windows の “アプリケーションの追加と削除” 機能を使ってアンインストールを行ってください。

画像データについて

対応画像データの仕様は下記のとおりです。

画像サイズ (MAX.) 画像幅：432mm (17")、画像長：297mm (A4長)
解像度 (DPI) 200 × 200、300 × 300、400 × 400、600 × 600
階調 2 階調、256 階調 (誤差拡散)

画像の取り込みかた

TWAIN 対応アプリケーションを使って本スキャナから画像を取り込む方法は大きく分けて2種類の方法があり、操作のながれは以下ようになります。作業状況にあわせて読み込みを行ってください。

※操作方法の詳細は、セットアップ編の使用説明書を参照してください。

(1) PC 側からスキャンをはじめる場合

- ①PC で、TWAIN 対応アプリケーションから TWAIN Source を起動します。
- ②TWAIN Source で接続ボタンをクリックします。
※スキャナ本体が起動中、または動作中の場合、接続できないことがあります。
この場合は、スキャナ本体で TWAIN モードを設定してから、接続ボタンを押してください。
- ③「スキャン待ち」を設定してスキャンボタンをクリックします。
- ④スキャナ本体に原稿をセットし、スタートキーを押します。
- ⑤読み込んだ画像が PC に送られます。

(2) 本体側からスキャンをはじめる場合

- ①スキャナ本体で TWAIN モードを設定します。
- ②原稿をセットします。
- ③PC で、TWAIN 対応アプリケーションから TWAIN Source を起動します。
- ④TWAIN Source の接続ボタンをクリックします。
- ⑤スキャンボタンをクリックすると、スキャンを開始します。
- ⑥読み込んだ画像が PC に送られます。

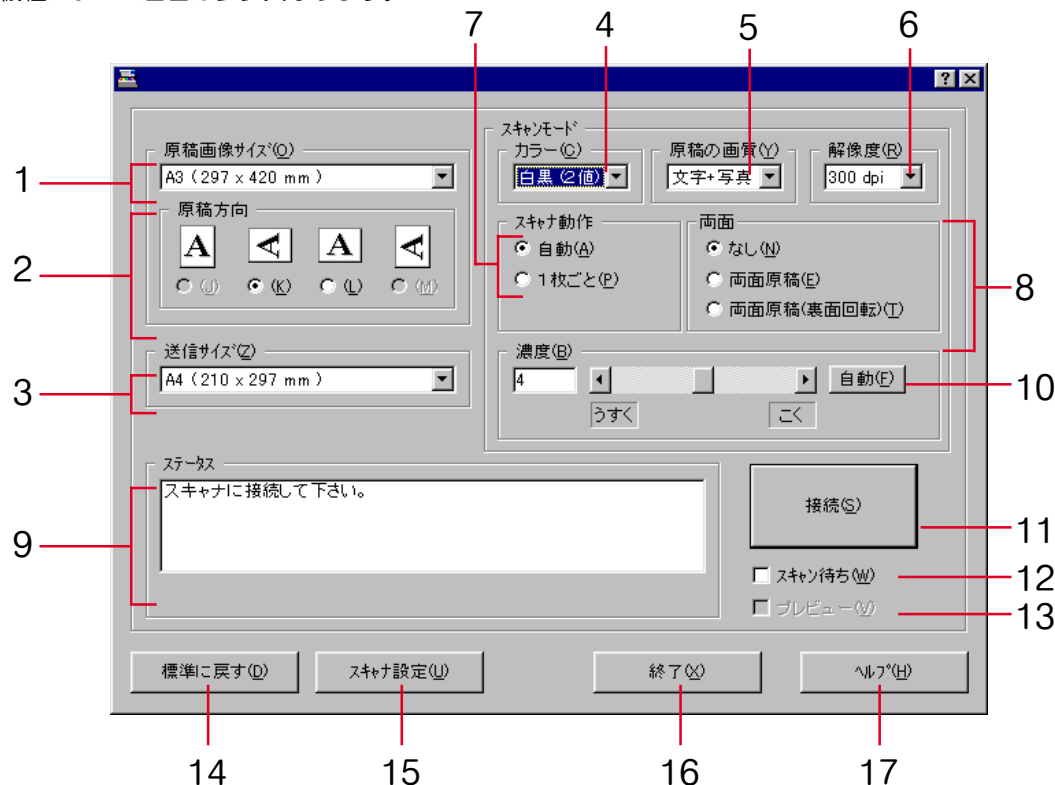
※PC またはスキャナ本体で解像度や原稿サイズなど設定を変更することができます。PC での TWAIN Source の設定方法は、P3-111 “メインダイアログについて” を、スキャナ本体の操作部からの設定方法は、セットアップ編の使用説明書を参照してください。

TWAIN Source

メインダイアログについて

TWAIN Sourceメインダイアログで表示されている項目の内容は次のとおりです。

※機種によって画面は多少異なります。



1. 原稿画像サイズ 原稿読み込み時の定形サイズを選択してください。次のサイズが選択可能です。
自動, A3 (297 × 420mm), Computer Form (11" × 15"), A4 (210 × 297mm),
A5 (148 × 210mm), JIS-B4 (257 × 364mm), JIS-B5 (182 × 257mm), JIS-B6 (128 × 182mm),
Letter (8.5" × 11"), 不定形 (選択すると不定形サイズ設定ダイアログが表示されます。)
2. 原稿方向 読み込む原稿のセット方向と文字方向を選択してください。
3. 送信サイズ
(白黒 2 値のみ) 原稿画像サイズで定型サイズを選択したときに、スキャナから画像を受け取る際のサイズを定形サイズで選択できます。次のサイズが選択可能です。
A3 (297 × 420mm), A4 (210 × 297mm), A5 (148 × 210mm), JIS-B4 (257 × 364mm),
JIS-B5 (182 × 257mm), JIS-B6 (128 × 182mm), Letter (8.5" × 11")
4. カラー (カラー
スキャナのみ) 色の指定を行います。カラー / グレー / ACS / 白黒 (2 値) の中から選択してください。
5. 原稿種類
(白黒 2 値のみ) 原稿の種類を写真 / 文字 / 文字 + 写真 / OCR の中から選択してください。

6. 解像度 原稿読み取り時の解像度を 600dpi/400dpi/300dpi/200dpi の中から選択してください。
7. スキャナ動作 スキャナ動作を設定してください。
自動：コンタクトガラス上に原稿がセットされている場合は、その原稿の読み込みを行った後、次の読み込み指示待ちとなります。原稿送り装置に原稿がセットされている場合は原稿送り装置上の原稿がなくなるまで読み込みを続けます。
1 枚ごと：原稿送り装置に原稿がセットされている場合、1 枚目の原稿だけをスキャンします。
8. 両面 原稿送り装置に原稿の両面を読み込むかどうかの設定です。
なし：原稿の片面だけ読み込みます。
両面原稿：原稿の両面を読み込みます。
両面原稿（裏面回転）：裏面の画像を 180 度回転した状態で両面を読み込みます。
9. ステータス欄 スキャナの状態が表示されます。
10. 濃度 画像濃度を設定します。

11. スキャン /

接続ボタン スキャナとの接続が成功したときはスキャンボタンとなり、クリックするとスキャンが実行できます。また、スキャナと接続されていないときは接続ボタンとして表示され、再接続を促します。

※高解像度でスキャンを行った場合、イメージの処理中にスキャナとの接続を解除することがあります。

12. “スキャン待ち”

チェックボックス このチェックボックスにチェックマークを入れると、スキャナはスキャナモードに入った状態で停止します。この状態のとき、原稿の読み込みを開始させるには、スキャナ本体操作部のスタートキーを押す必要があります。

13. プレビュー（カラー

スキャナのみ） このチェックボックスにチェックマークを入れると、画像として PC に取り込む前に画像の確認や、色の調整が行えます。

14. “標準に戻す”ボタン クリックすると、TWAIN Source での全ての設定を初期値に戻します。

15. スキャナ設定ボタン クリックすると、スキャナ設定ダイアログを表示します。ここではスキャナアドレスの変更（P3-115 参照）、単位（インチ、センチ）の切り替え、スキャン時のデータ圧縮の有無を設定できます（カラー・スキャナのみ）。

16. キャンセルボタン 設定をキャンセルして、メインダイアログを閉じます。

17. ヘルプボタン クリックすると、ヘルプ画面を表示します。

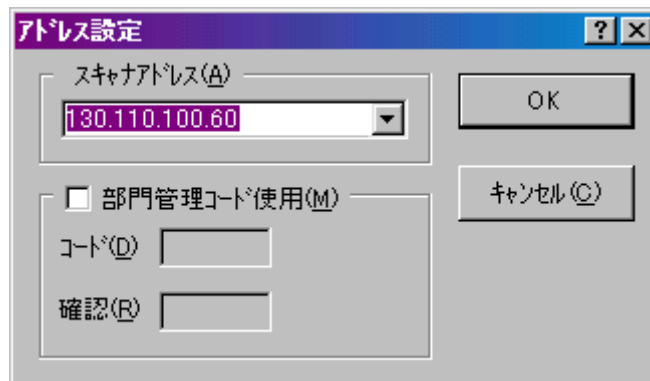
スキャナ IP アドレスの変更

TWAIN Source のインストール後にスキャナの IP アドレスの変更があった場合には、接続するスキャナの IP アドレスを変更することができます。下記の手順にしたがって操作を行ってください。

1. TWAIN Sourceのメインダイアログのスキャナ設定ボタンをクリックしてください。スキャナ設定ダイアログが表示されます。



2. スキャナアドレス欄に現在設定されているアドレスが表示されます。このアドレスを変更したいときは、編集ボタンをクリックしてください。アドレス設定ダイアログが表示されます。



3. 新しく設定したい IP アドレスを入力してください。
4. OK ボタンをクリックしてください。画面はスキャナ設定ダイアログに戻ります。
5. OK ボタンをクリックしてください。スキャナの IP アドレスが変更されます。

部門管理設定

機械本体のコピー機能で部門管理を設定している場合、機械を使用する際に部門コードを入力する必要があります。この部門管理設定時は、読み込み指示を出す PC とスキャナ本体との間で部門コードの照合が行われます。したがって PC 側では、TWAIN Source において、部門管理コード使用設定を行う必要があります。

●登録方法

1. TWAIN Sourceのメインダイアログにおいて“スキャナ設定” ボタンをクリックしてください。スキャナ設定ダイアログが表示されます。
2. “編集” ボタンをクリックしてください。アドレス設定ダイアログが表示されます。
3. “部門管理コード使用” チェックボックスをクリックし、チェックマークを入れてください。
4. 常に同じコードで使用する場合、コード欄に所定の部門コード（8 桁以下）を入力してください。
※ 部門コードの有効桁数は販売地域によって異なります。詳しくは、複写機本体の使用説明書を参照してください。
5. コード欄に入力した部門コードを確認欄にもう一度入力してください。
6. OK ボタンをクリックしてください。
7. 部門コードを設定していない場合は、スキャナ接続時にコード入力用画面が表示されます。そのときに使用するコードを入力してください。

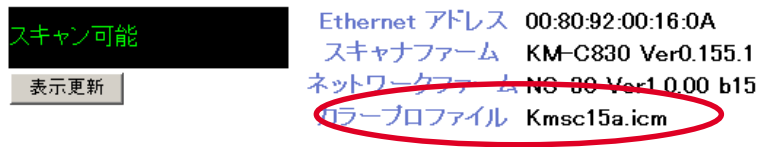
カラープロファイルについて

カラーキャナには、色調整の為にカラープロファイルを用意しています。

※カラープロファイルをデータに埋め込む方法については、TWAIN 対応ソフトによって異なります。ご利用の各 TWAIN 対応ソフト付属マニュアルをよく読んでご使用ください。

●本機対応カラープロファイルの選択

- 1.Web ブラウザソフトを起動してください。
2. アドレス入力欄にキャナの IP アドレスか、ホスト名を入力して、ENTER キーをしてください。
- 3.Web ページの機能トップページが表示されます。メインフレーム内にカラープロファイルと記載している右手にこのキャナに対応するカラープロファイルのファイル名が表示しています。



表示言語

English 日本語
Deutsch Italiano

4. 次に本製品付属CD（スキャナライブラリ）内の、[ColorProfile]フォルダの中から手順 3. と同じファイル名のカラープロファイルを使用してください。

スキャナと接続できないとき

スキャナと正常に接続できない場合、次の要因が考えられますので、スキャナ本体の操作部などを確認の後、再接続を試みてください。

- 機械本体がコピー中であるなど、スキャナ機能以外のモードで動作中である。
- スキャナと接続する前に、原稿送り装置に原稿がセットされている。

画像最大サイズについて

画像サイズには、利用可能なメモリサイズにより、スキャンできない場合があります。

カラー，グレイ選択時

	200dpi	300dpi	400dpi	600dpi
A3	22MB	50MB	89MB	199MB ※
A4	11MB	25MB	44MB	100MB
11" × 17"	21MB	48MB	86MB	193MB ※
8 1/2" × 11"	11MB	24MB	43MB	96MB

※ Windows95 ではスキャンできません。

白黒 2 値選択時

	200dpi	300dpi	400dpi	600dpi
A3	0.9MB	2.1MB	3.7MB	8.3MB
A4	0.5MB	1.0MB	1.8MB	4.1MB
11" × 17"	0.9MB	2.0MB	3.6MB	8.0MB
8 1/2" × 11"	0.4MB	1.0MB	1.8MB	4.0MB

コンフィギュレーションツール

コンフィギュレーションツールについて

コンフィギュレーションツールを使って、IP アドレスに関する設定を行うことができます。このツールを使うと弊社プリンタやスキャナのネットワーク設定を統一的に管理することが可能となります。ここでは「クイックセットアップウィザード」の補足事項と「アドバンス セットアップ (AdminManager)」の基本的な使用方法について説明しています。

- ・クイックセットアップウィザード スキャナインタフェースに必要な設定を迅速に行えます。
- ・アドバンス セットアップ AdminManager プログラムをインストールし、高度な設定を可能にします。

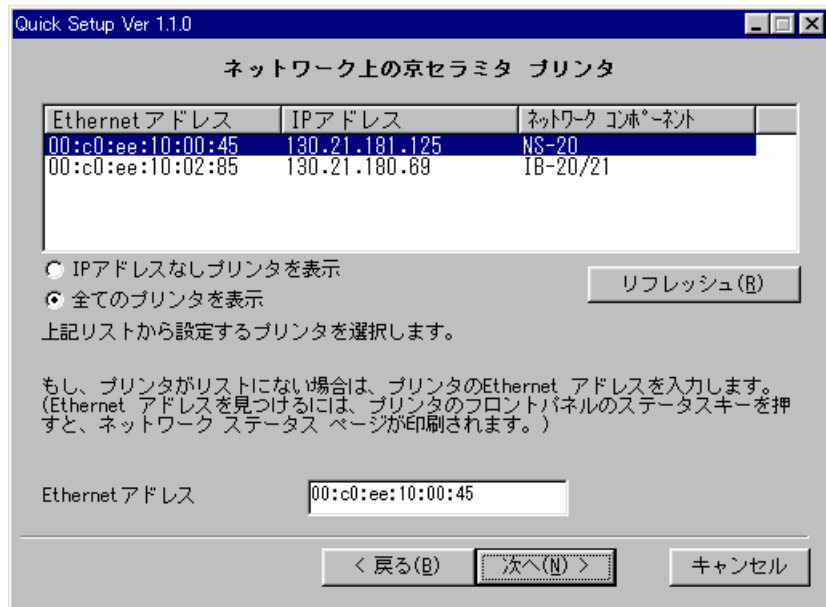
動作環境

- ・ハードウェア IBM PC/AT 互換機
- ・インターフェイス 10BASE-T/100BASE-TX
- ・オペレーティングシステム Windows NT 4.0, Windows 2000,
Windows 98, Windows 95,
Windows Me, Windows XP, Windows Server 2003

コンフィギュレーションツール

クイックセットアップウィザード使用時の補足

ウィザードの使用は簡単ですが、ここではスキャナへの接続などについて補足します。
まず、CD-ROM を挿入して、IB-2x コンフィギュレーションの項で、クイック セットアップ ウィザードを選択するとプリンタの選択スクリーンが表示されます。



ここには同じネットワークに接続されているスキャナインタフェースカードも表示されます。

コンフィギュレーションツール

クイックセットアップは実行されている Windows のシステムにプロトコルが存在する限り、IPX 、又は、IP によりプリンタやスキャナを発見します。（IPX だけがインストールされている場合、クイックセットアップは IPX プリンタのみを検索して表示します。スキャナは IPX をサポートしていませんので表示されません。）

● 設定したいスキャナがリストに表示されない場合

設定したいスキャナがリストに表示されない場合は、ほかの接続方法として、Ethernet アドレスを空欄に入力します。（Ethernet アドレスはスキャナインタフェースカードのコネクタ付近に貼られているシールを参照してください。）又、スキャナがローカルに存在しない場合は、正しく設定されたデフォルトのゲートウェイアドレスと IP ブロードキャストを行う為のネットワークルータの設定が必要です。

クイックセットアップによりスキャナが見つからない場合（IP ブロードキャストが送られない場合）は、スキャナ本体で IP アドレスを設定し、Web ブラウザから設定を行うか、AdminManager を使用して設定を行います。Web ブラウザ使用の場合は、IP アドレスを直接入力している為、IP ブロードキャストの必要がありません。AdminManager の場合は、検索するスキャナのネットワークを定義します。Web ブラウザによる接続の詳細につきましては、P2-1 “第 2 章 Web ブラウザからの設定” を参照してください。

コンフィギュレーションツール

AdminManager の使用方法について

(1) AdminManager のインストール

AdminManager のインストールについて説明します。ハードディスクにインストールせずに、CD から起動して使用する場合も以下の手順 1. から始めてください。

1. スキャナ CD-ROM を CD ドライブに挿入します。CD が自動再生されて、メインメニューが表示されます。



コンフィギュレーションツール

2. “コンフィギュレーションツール” をクリックしてください。“IB-2x コンフィギュレーション” が表示されます。



3. “アドバンス設定” をクリックします。
4. 表示された画面で “AdminManager をインストールする” を選択します。

“AdminManager を CD から起動する” を選んだ場合、CD からただちに起動して使用することができません。
5. ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。

コンフィギュレーションツール

(2) AdminManager の起動

Windows タスクバーのスタートボタンをクリックし、表示されるメニューから “プログラム” → “IB-2x ツール” → “AdminManager” の順に選択してください。

(3) IP アドレスの設定

AdminManager を使用して、スキャナインタフェースカードに IP アドレスを設定する方法を説明します。以下は、IP アドレスを固定して設定する方法です。

1. AdminManager を起動します。
2. メニューバーの “設定” から “IP アドレス初期設定” を選びます。「IP アドレス設定」画面が表示されます。

IPアドレス設定

Ethernetアドレス	00	80	92	01		
IPアドレス	0	0	0	0		

OK キャンセル

コンフィギュレーションツール

3. “Ethernetアドレス” にスキャナインタフェースカードのイーサネットアドレスを入力します。
例えば、「00 c0 ee 10 00 0d」のようになります。イーサネットアドレスは、スキャナインタフェースカードのコネクタ面に記載されています。
4. “IPアドレス” にネットワーク管理者より入手した IP アドレスを入力します。例えば、「192.168 .110. 171」のようになります。
5. OK ボタンをクリックしてください。画面にしたがってスキャナインタフェースカードを再起動します。再起動後は、スキャナインタフェースカードが AdminManager 画面に表示されます。

続けて、サブネットマスクおよびゲートウェイのアドレスも入力できます。

●サブネットマスクおよびゲートウェイのアドレスの入力

1. AdminManager 画面でスキャナインタフェースカードをクリックし、反転表示させます。
2. メニューバーの“設定” から“プロトコル”を選びます。「プロトコル設定」画面が表示されます。
3. “TCP/IP” タブをクリックします。
4. “サブネットマスク” と “デフォルトゲートウェイ” にそれぞれのアドレスを入力します。
5. OK ボタンをクリックします。画面にしたがってスキャナインタフェースカードを再起動します。

(4) Admin パスワードの設定

スキャナやプリンタのネットワーク設定の管理上、管理者パスワードを設定する場合には、次のように設定してください。ここでの設定は、web ブラウザからの設定にも反映されます。

1. AdminManager 画面でスキャナインタフェースカードをクリックし、反転表示させます。
2. メニューバーの“設定” から“プロトコル” を選びます。「プロトコル設定」画面が表示されます。
3. “General” タブをクリックします。
4. 画面にしたがって設定したいパスワードを入れます。
5. OK ボタンをクリックします。画面にしたがってスキャナインタフェースカードを再起動します。

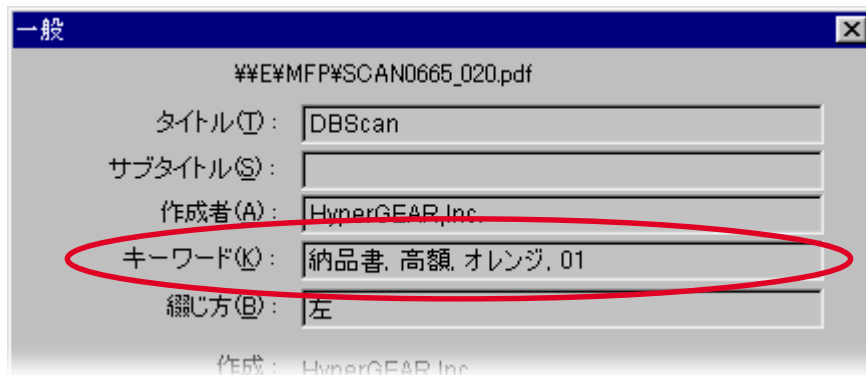
DB Assistant

DB Assistant について

DB Assistant は、スキャナで読み込んだ画像イメージを PC 上で、検索に利用可能なキーワード追加（KM-DB アシスト）、また、文書情報として CSV ファイルの作成（データベースアシスト）の 2 つの機能を設定するユーティリティです。これらの機能はスキャンした画像を整理または、データベースなどで管理する場合に大変便利です。

DB Assistant のインストール後は PC 起動と同時に起動します。タスクバー上には起動中を示すアイコンが表示され、スキャナからのデータを常時待ちうけます。

KM-DB アシスト スキャンした画像の文書情報にキーワードを追加します。画像形式が PDF だと [Acrobat Reader] の文書情報にある一般画面（下図）でキーワード入力を確認することができます。また、同梱されているバンドルソフト（KM-DocumentBinder）を使用して、PC 上からキーワード検索をすることができます。大量のファイルの中から指定の画像を検索する場合に大変便利です。



データベースアシスト スキャンした画像と共に、登録した文書情報を CSV ファイルとして作成します。CSV ファイルは表計算ソフトやデータベースソフトなどを利用して活用することができます。

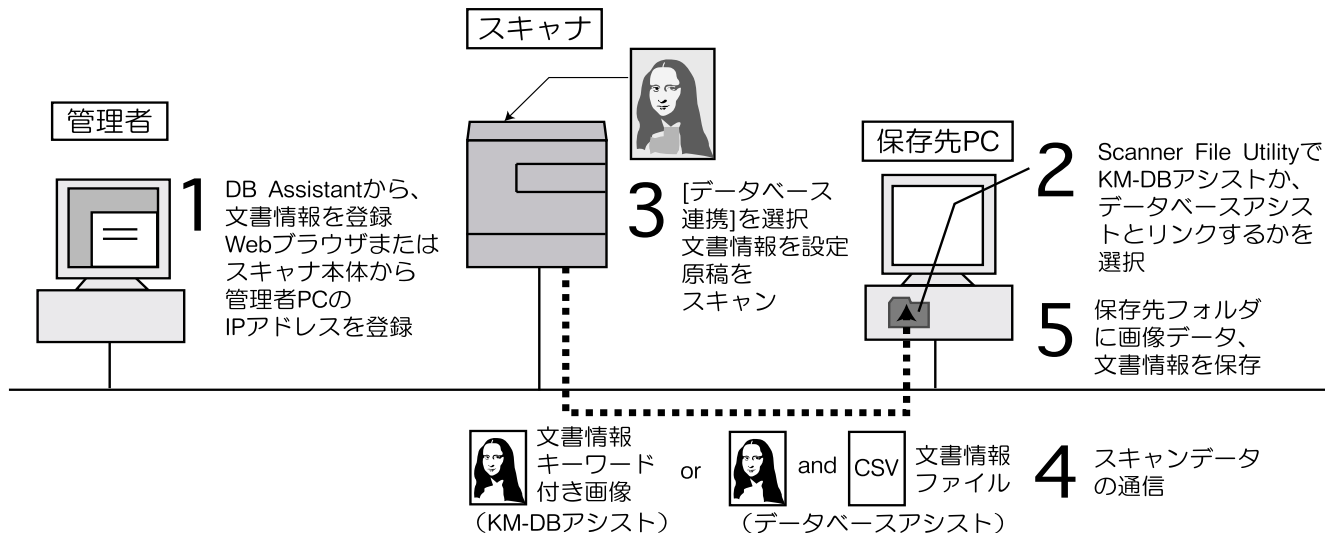
(1) 事前準備

DB Assistant を使う際は、まず下記に示す設定などを行ってください。

1. DB Assistant を PC にインストールします。（P3-133 参照）
2. DB Assistant を起動し、KM-DB アシスト、またはデータベースアシストを登録します。（P3-135 参照）
3. 本体操作部、または Web ブラウザから DB Assistant をインストールした PC の IP アドレス、あるいはホスト名を登録します。
4. スキャンした画像の保存先 PC で、Scanner File Utility を起動し、保存先フォルダの設定から KM-DB アシストなら、“KM-DB Link Handler”、データベースアシストなら、“DataBase Link Handler” を選択します。（P3-19 参照）

(2) 操作の流れ

DB Assistantを使ってスキャンした画像に文書情報を追加し、指定フォルダに保存するまでの操作の流れは、下図のとおりです。



動作環境

- ・ハードウェア IBM PC/AT 互換機
- ・インターフェイス 10BASE-T/100BASE-TX
- ・オペレーティングシステム Windows NT 4.0 (Service Pack 5以降),
Windows 2000 (Service Pack 2以降),
Windows 98 (Second Edition), Windows 95 (OSR2),
Windows Me, Windows XP, Windows Server 2003

インストールとアンインストール

(1) DB Assistant のインストール

1. スキャナ CD のメインメニューで“スキャナーユーティリティ”をクリックしてください。次画面が表示されます。
※メインメニュー表示までの操作については、P1-3 “スキャナ CD-ROM の使いかた”を参照してください。



2. “DB Assistant” をクリックしてください。

DB Assistant

3. ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。
※インストール中、以下のコンポーネントを追加する画面が表示されます。DB Assistant を用いて、以下の機能を使用する場合は選択してください。



KM-DB Assist Module KM-DB アシスト（スキャンした画像に文書情報“キーワード”を追加します。）

DataBase Assist Module データベースアシスト（スキャンした画像と共に文書情報をもった CSV ファイルを作成します。）

※文書情報を追加する方法については、Piv “スキャンする画像に文書情報を追加する” を参照してください。

※インストール完了後、PC の起動時に DB Assistant も起動し、バックグラウンドで常時動作します。Windows のタスクバーにはそれを示すアイコンが表示されます。

(2) DB Assistant のアンインストール

Windows の “アプリケーションの追加と削除” 機能を使ってアンインストールを行ってください。

操作画面について

DB Assistant は、インストール後自動的に起動しますが、KM-DB アシスト、データベースアシストの設定を行うときは、設定ダイアログを表示させてください。

(1) 設定ダイアログの表示方法

●プログラムが起動中のとき

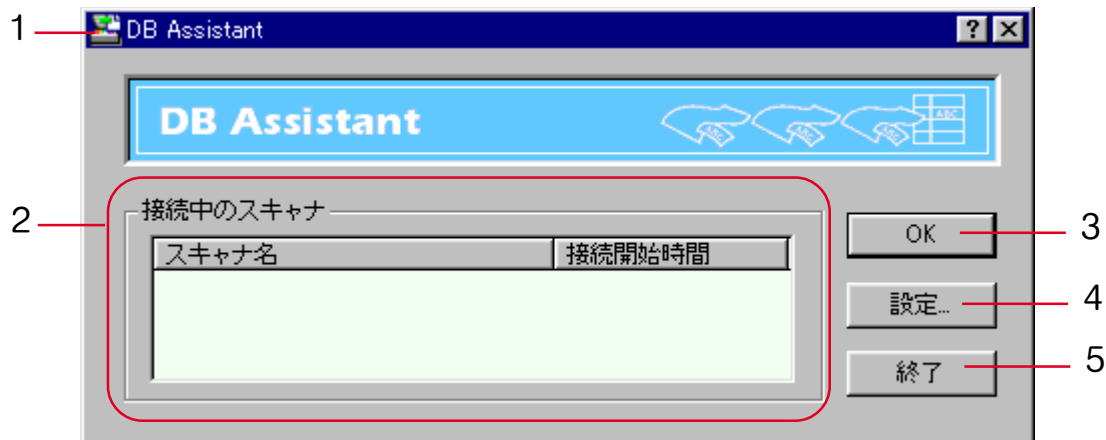
タスクバーのアイコンをダブルクリックしてください。DB Assistant のスタートダイアログが表示されます。次にそのスタートダイアログの“設定”をクリックすると DB Assistant の設定ダイアログが表示されます。

●プログラムが終了しているとき

Windows タスクバーのスタートボタンをクリックし、表示されるメニューから
“プログラム” → “Scanner User Software” → “DB Assistant” の順に選択してください。Windows のタスクバーに DB Assistant の起動を示すアイコンが表示されます。その後は表示されたアイコンをダブルクリックしてください。スタートダイアログが表示されます。次にそのスタートダイアログの“設定”をクリックすると DB Assistant の設定ダイアログが表示されます。

DB Assistant

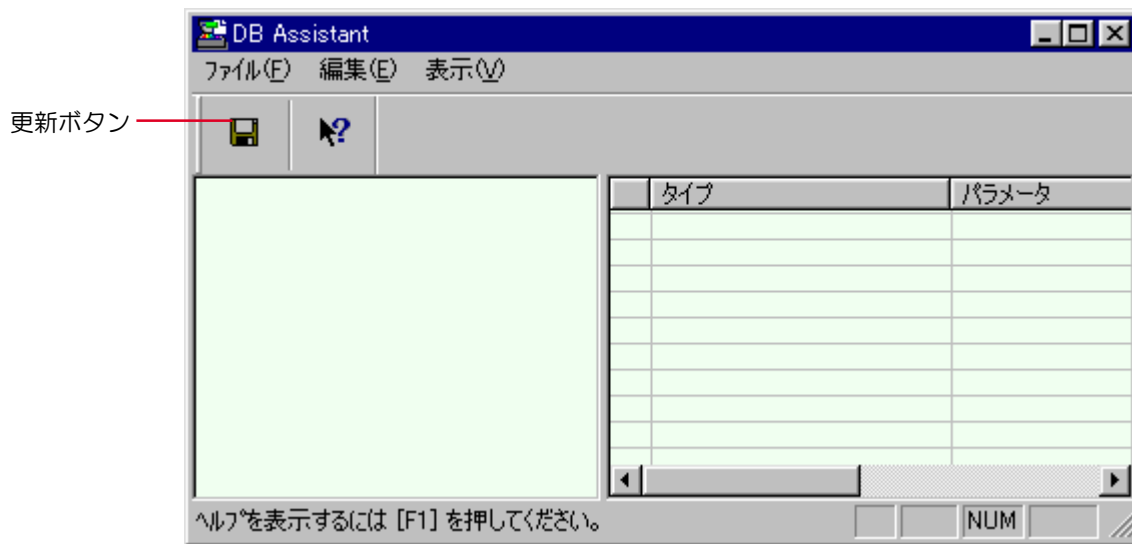
(2) スタートダイアログについて



1. DB Assistant 画面左上アイコンをクリックし、表示されたメニューから
“DB Assistant...”を選択すると、バージョン情報を表示します。
2. 接続中のスキャナ スキャナ名に接続中のスキャナで登録されているホスト名、またはIPアドレスを表示します。接続開始時間には、スキャナと接続が開始された時間を表示します。
3. OKボタン スタートダイアログを閉じます。
4. 設定ボタン 設定ダイアログを表示します。
5. 終了ボタン DB Assistant が終了します。

(3) 設定ダイアログについて

KM-DB アシスト、データベースアシストの設定を行うときは、スタートダイアログの“設定” ボタンをクリックしてください。設定ダイアログが表示されます。



更新ボタン 設定を変更したときはこのボタンをクリックして設定を更新してください。
データを更新せず終了すると設定した項目は保存されません。

KM-DB アシスト機能の設定方法

DB Assistant での KM-DB アシスト機能（スキャンした画像に文書情報としてキーワードを追加）の設定、登録を中心に説明します。まず、DB Assistant の設定ダイアログを表示させ、以下の手順にしたがってください。

※データベースアシスト機能（スキャンした画像の文書情報として CSV ファイルを作成）の設定は、KM-DB アシスト機能の設定方法を参考に設定してください。

- 1.KM-DB アシスト機能を設定するときは、設定ダイアログのメニューバーの“編集”をクリックし、新規作成を選択します。次に表示されたメニューから“保存先 PC”を選択してください。機能名称の設定画面が表示されます。

※データベースアシスト機能を作成する場合は、“データベース”を選択してください。



- 機能の名称を入力します。“名称”欄に 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）または、全角入力 8 文字以内で名称を入力してください。ここで入力した名称がスキャナ本体操作部上で表示されます。また、“フリガナ”欄にも上記設定名称を入力します。ここでは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。ここで入力したフリガナはシステム内でこの設定をソート（名称で並び替え）するときに利用されます。

保存先PCの編集

名称

フリガナ

送信先PC

PCアドレス

保存先番号

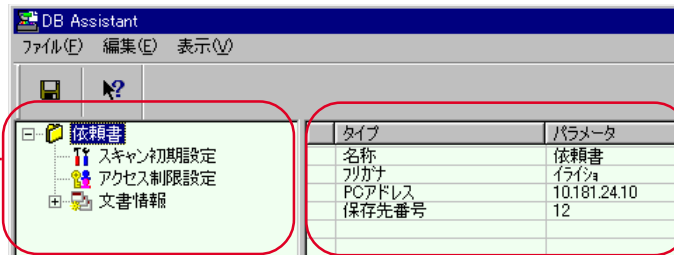
OK キャンセル

- 送信先 PC（スキャンした画像を保存する PC）の IP アドレス、またはホスト名を“PC アドレス”欄に入力します。次に“保存先番号”欄に Scanner File Utility で設定した保存先番号を入力します。
※保存先番号については P3-16 “Scanner File Utility (2) 保存先フォルダの新規作成”を参照してください。
※手順 2、3 で設定する項目は全て入力しない限り登録できません。
- 設定後に“OK”ボタンをクリックすると、KM-DB アシスト機能設定項目が作成されます。

DB Assistant

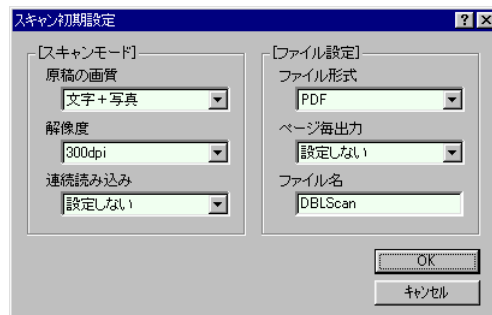
5. スキャン初期設定を変更します。ここでどのように画像をスキャンするか初期設定項目をある程度設定しておくことができます。作成された“スキャン初期設定”をダブルクリック（または右クリックして現れたメニューの“設定”を選択）します。“スキャン初期設定”画面が表示されます。

KM-DB アシスト
機能設定項目

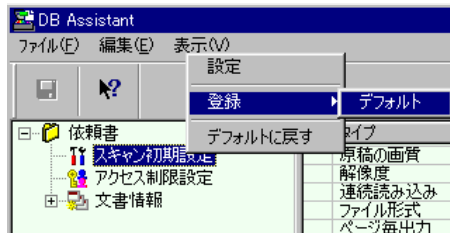


左で選択した設定項目
の内容を表示

6. “スキャン初期設定”画面からお好みの機能を選択し、“OK”を押すと設定が保存され設定ダイアログに戻ります。
※設定項目詳細は、P1-8 “スキャナ機能（本体）を使いこなす”を参照してください。
※このスキャン初期設定は、後で本体操作部から変更することができます。



※設定ダイアログで“スキャナ初期設定”を選択し、右クリックすると“設定”、“登録→デフォルト”、“デフォルトに戻す”のメニューが現れます。

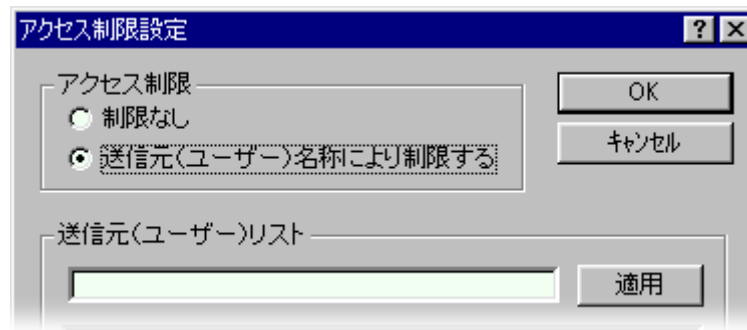


設定 “スキャン初期設定”画面を表示します。

デフォルト 現在の設定をデフォルト（初期値）として保存します。

デフォルト
に戻す 保存する前の設定に戻します。

7. 作成された“アクセス制御設定”をダブルクリック（または右クリックして現れたメニューの“設定”を選択）します。“アクセス制御設定”画面が表示されます。ここでは、現在登録している機能を、使用するユーザによってアクセス制限させることができます。



制限なし 制限なしでアクセスできます。

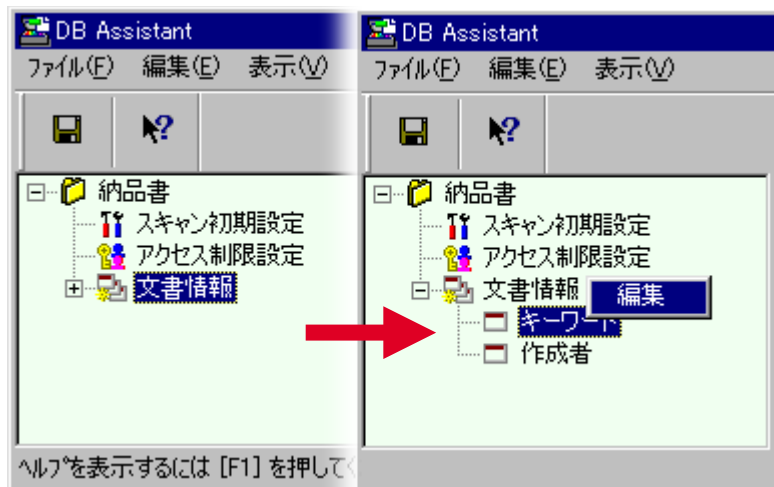
送信元（ユーザ）

名称により制限する アクセスを許可するユーザを設定します。選択したユーザ以外はこの設定にアクセスできません。スキャナで登録している送信元ユーザリストの中から使用許可するユーザを選択してください。設定方法詳細は、P3-146 “補足“送信元（ユーザ）名称により制限する”の設定方法”を参照してください。

※データベースアシスト機能では上記以外にパスワードでの制限をかけることができます。

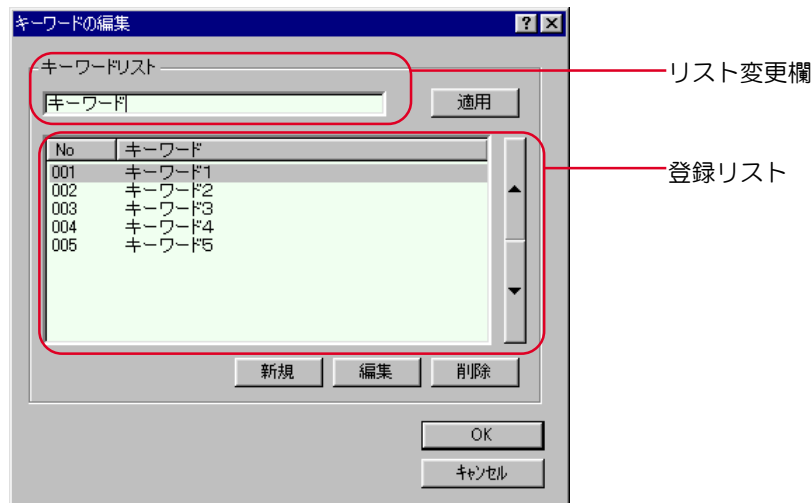
8. “文書情報”を設定します。ここで設定した項目が、スキャンした画像の文書情報（キーワード）として設定できます。作成された“文書情報”左の“+”をクリックしてください。“キーワード”と“作成者”が表示されます。

※スキャンした画像に文書情報として、“キーワード”、“作成者”を設定すると、本製品バンドルソフト（KM-DocumentBinder）のキーワード検索機能を使用して、画像の検索をかけることができます。



9. “キーワード”を設定します。“キーワード”をダブルクリック（または右クリックして“編集”をクリック）してください。“キーワードの編集”画面が表示されます。

10. リスト変更欄にキーワードを入力します。32文字以内（半角英数字 半角カタカナ）または全角入力16文字以内で入力してください。“適用”ボタンをクリックする（またはEnterキーを押す）と登録リスト欄にキーワードが登録されます。入力したキーワードを変更したい場合は、変更したいキーワードを選択（反転表示）し、“編集”ボタンをクリックしてください。再び、リスト変更欄に選択したキーワードが表示され、修正することができます。編集が終了したら、“OK”ボタンをクリックしてください。キーワードが設定され、設定ダイアログに戻ります。
- ※“キーワード”は登録リスト内に最大100個登録できます。
- ※登録リスト内のキーワードを選択（反転表示）させ、“▲”、“▼”をクリックするとリストの順番を入れ替えることができます。

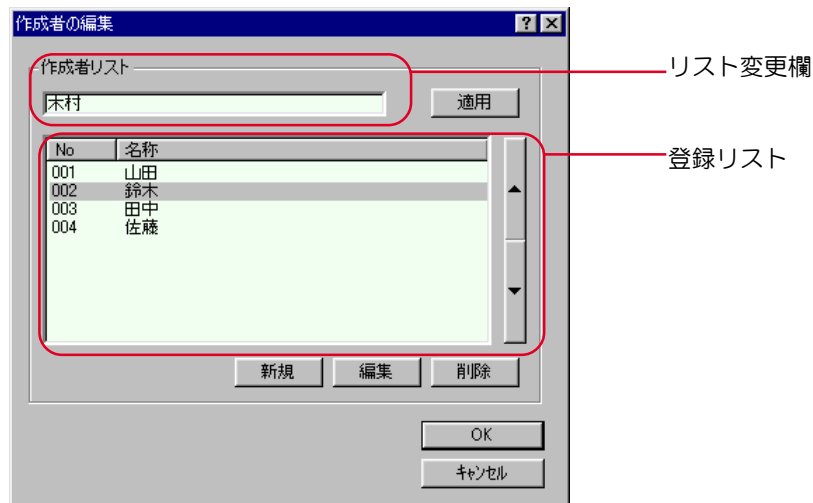


11. 作成者を設定します。“作成者”をダブルクリック（または右クリックして“編集”を選択）してください。“作成者の編集”画面が表示されます。リスト変更欄に作成者を入力します。32文字以内（半角英数字 半角カタカナ）または全角入力16文字以内で入力してください。以下、P3-144の“キーワードの編集”と同様に設定してください。

※バンドルソフト“KM-DocumentBinder”を使用し、この“作成者”で検索をかける場合は、キーワードの検索項目で検索してください。

※“作成者”は登録リスト内に最大100個登録できます。

※登録リスト内の作成者を選択（反転表示）させ、“▲”、“▼”をクリックするとリストの順番を入れ替えることができます。

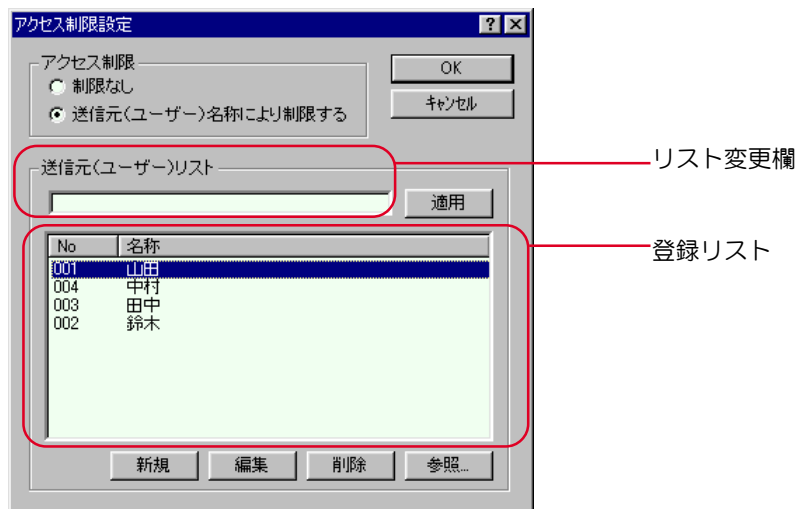


以上で DB Assistant 上での KM-DB アシスト機能（スキャンした画像に文書情報を追加する）の設定は終了です。

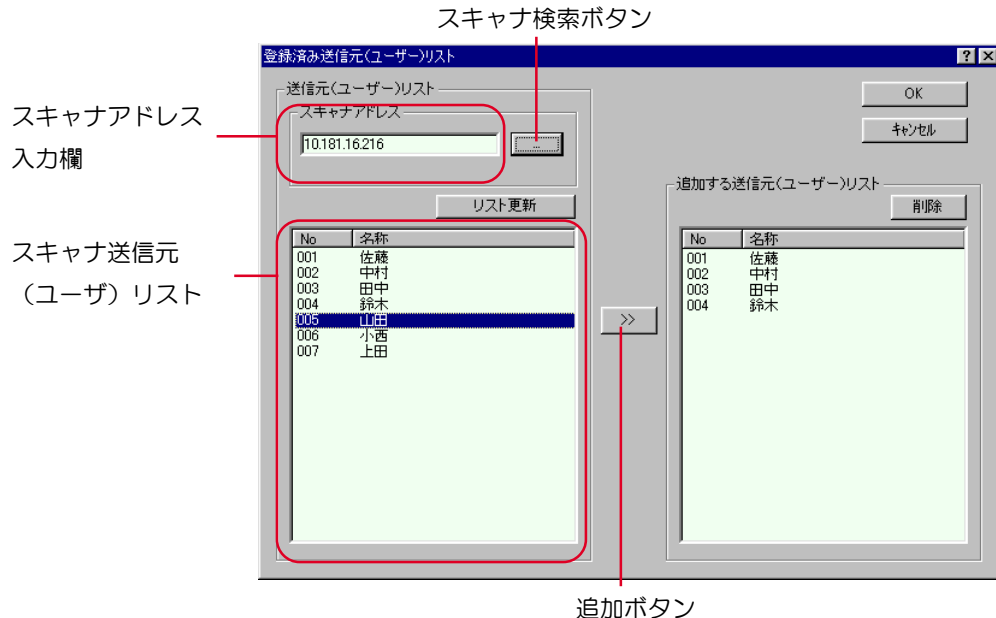
補足 “送信元（ユーザ）名称により制限する” の設定方法

P3-142 “KM-DB アシスト機能の設定方法”、手順7の“送信元（ユーザ）名により制限する”の設定方法を説明します。

1. 送信元（ユーザ）リスト変更欄にアクセス許可するユーザ名を入力します。16文字以内（半角英数字半角カタカナ）または全角入力8文字以内で入力してください。“適用” ボタンをクリックする（またはEnterキーを押す）と登録リスト欄に名称が登録されます。入力したユーザ名を変更したい場合は、変更したいユーザ名を選択（反転表示）し、“編集” ボタンをクリックしてください。再び、リスト変更欄に選択したユーザ名が表示され、修正することができます。編集が終了したら、“OK” ボタンをクリックしてください。ユーザ名が設定され、設定ダイアログに戻ります。



2. スキャナにあらかじめ登録された送信元（ユーザ）を確認するには、“参照 ...” ボタンをクリックしてください。“登録済み送信元（ユーザ）リスト” 画面が表示されます。



“スキャナアドレス” 欄に接続するスキャナの IP アドレスまたは、ホスト名を入力します。“リスト更新” ボタンをクリックすると、スキャナの送信元（ユーザ）として登録されているリストを表示します。その中から追加したい送信者を選び、追加ボタンをクリックしてください。画面右の“追加する送信元（ユーザ）リスト” に表示されます。ここで“OK” キーをクリックすると追加した送信元（ユーザ）はアクセス可能となり、“アクセス制御設定” 画面に戻ります。

- 現在、ネットワーク上に接続されているスキャナで登録している送信元（ユーザ）を確認したいときは、“登録済み送信元（ユーザ）リスト”画面の“スキャナ検索”ボタンをクリックしてください。“スキャナ検索”画面が表示されます。



- “検索開始”ボタンをクリックしてください。ネットワーク上に接続されているスキャナの IP アドレスまたはホスト名と MAC アドレスをそれぞれ表示します。そのリスト中から選択したい送信元（ユーザ）を登録しているスキャナのアドレスを選び（反転表示させ）ます。選択したスキャナの IP アドレス、またはホスト名が“スキャナアドレス”欄に表示されたら、“OK”キーをクリック（または Enter キーを押す）してください。再び“登録済み送信元（ユーザ）リスト”画面に戻り、選択したスキャナのアドレスがスキャナアドレス入力欄に表示されます。スキャナ送信元（ユーザ）リストにそのスキャナで登録されている送信元（ユーザ）が表示されます。
- “リスト更新”ボタンをクリックしてください。スキャナ送信元（ユーザ）リストに、手順 5 で選択したスキャナで登録されている送信元（ユーザ）を表示します。これでご指定のスキャナで設定している送信元（ユーザ）を確認することができます。

補足

エラーコード

エラーコード

送信履歴に表示されるエラーコードとその処置方法は以下の通りです。

送信履歴はスキャナ本体の操作部で確認することができます。詳細はセットアップ編の使用説明書を参照してください。

エラーコード	詳細内容	処置方法
E001	送信中にユーザがキャンセルを行った。	---
E010	データ送信中に送信先 PC が認識できなくなりました（E011 以後のエラーで分類できないエラーが発生しています）。または、アドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）を起動している PC が認識できなくなった。	<ul style="list-style-type: none">・ネットワークケーブルが正しく接続されているかなど回線に異常が無いか確認してください。・送信先 PC が正常に起動しているか確認してください。
E011	画像データの送信でデータ自体に問題があり送信が中止されました。	再度操作をやり直してください。
E012	スキャナ本体が画像送信時にアドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）のデータにアクセスした際、回線異常が発生したためにアクセスできませんでした。	アドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）を起動している PC が正常に接続されているかを確認してください。
E020	スキャナ本体が E-Mail 送信を開始する際に、SMTP サーバが認識できなくなりました。	ネットワークケーブルが正しく接続されているかなど回線に異常が無いか確認してください。その他の場合は SMTP サーバが正しく起動しているか、システム管理者等に確認してください。

エラーコード

エラーコード	詳細内容	処置方法
E021	E-Mail 送信先が送信先制限で制限を受けているか、送信先許可で許可されていない。	<ul style="list-style-type: none">・送信制限ドメインを確認し、正しく設定してください。・E-Mail 送信先のアドレスが正しく入力されているか確認してください。
E022	SMTP サーバが認識できない E-Mail アドレスが含まれています。	E-Mail 送信先のアドレスが正しく入力されているか確認してください。
E023	SMTP サーバが正しく動作していない。	SMTP サーバが正しく起動しているか、システム管理者等に確認してください。
E024	SMTP 認証エラーが発生しました。	SMTP 認証で使用するユーザアカウントとパスワードが正しく設定されているか、システム管理者等に確認してください。
E030	送信先 PC が認識できなくなりました。Scanner File Utility が起動していない、またはすでに他のスキャナと接続している。	<ul style="list-style-type: none">・送信先 PC で Scanner File Utility が正しく起動しているか、または別のスキャナと接続していないか確認してください。・ネットワークケーブルが正しく接続されているかなど回線に異常が無いか確認してください。
E031	スキャナ本体が画像送信を開始する際に、設定されているパスワードが送信先 PC と一致していませんでした。	送信先 PC のパスワードを確認してください。
E032	PC 送信時に送信先 PC のハードディスクが制限容量を越えました。	送信先 PC で使用しているハードディスクの空き容量を増やしてから、再度送信してください。

エラーコード

エラーコード	詳細内容	処置方法
E033	Scanner File Utility のバージョンが異なっています。	Scanner File Utility のバージョンを確認してください。
E034	Scanner File Utility が他のスキャナと接続中のため、送信できませんでした。	他のスキャナとの接続が解除された後、PC 送信を開始してください。
E035	グループ送信時に Scanner File Utility のフォルダ番号が一致しませんでした。送信操作中に設定が変更されました。	Scanner File Utility の設定を確認してください。
E036	読み込んだ画像データを圧縮する際、圧縮後のデータがメモリ容量をオーバーしました。	以下の方法などを行って、データ容量を減らしてもう一度送信してください。 <ul style="list-style-type: none">・解像度を下げてください。・画質を OCR に設定してください。・一度に読み込む原稿枚数を減らしてください。
E039	PC 送信中に PC から受信したコマンドが正常なコマンドでない。送信先 PC に予期しないトラブルが発生しています。	<ul style="list-style-type: none">・送信先 PC の Scanner File Utility が正常に起動しているかを確認してください。・送信先 PC に Scanner File Utility 以外のネットワークを受信するプログラムが起動していないか確認してください。・送信先 PC でトラブルが発生している場合は、トラブルを解消してください。

エラーコード

エラーコード	詳細内容	処置方法
E059	PC から受信したコマンドが正常なコマンドでない。アドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）を起動している PC でトラブルが発生しています。	<ul style="list-style-type: none">・送信先 PC のアドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）が正常に起動しているか確認してください。・送信先 PC にアドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）以外のネットワークを受信するプログラムが起動していないか確認してください。・送信先 PC でトラブルが発生している場合は、トラブルを解消してください。
E061	E-Mail 送信、PC 送信で送信先にグループを選択していたときに、そのグループのメンバー（構成員）に何らかのトラブルが発生しました。	グループのメンバー（構成員）の PC を確認し、トラブルが発生している場合は、トラブルを解消してください。
E101	送信先を複数選択しているときに、エラーが発生しました。	個別のエラーを確認し、エラーを解消してください。

補足 B

エラーメッセージ

エラーメッセージ

スキャナ使用中に以下のようなメッセージが表示されたら、以下の処理方法で対処してください。

メッセージ	処理方法
スキャナが使用できません	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。スキャナの起動直後すぐであれば、しばらく（約 2 分）待ってから使用してください。
送信先 PC が見つかりません PC を確認して下さい	使用中の PC に問題があります。PC 上で Scanner File Utility が起動しているか、受信可能状態になっているか確認してください。
E-mail 送信サイズの制限を超えました	送信枚数を減らすか、解像度を落して再度送信してください。
指定された番号は登録されていません （再度番号入力）	該当する番号がありません。 もう一度、番号を確かめてから選択してください。
SMTP サーバが見つかりません （管理者に連絡）	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。スキャナの起動直後であれば、しばらく（約 2 分）待ってから使用してください。 その他の場合は、SMTP サーバが正しく起動しているか、システム管理者等に確認してください。

エラーメッセージ

メッセージ	処理方法
個人アドレス帳 PC が見つかりません。PC を確認してください	Address Book が PC 上で起動していない場合は、起動させてください。起動している場合は、使用中の PC がネットワークに正しく接続されているか、スキャナネットワークカードにネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
ネットワークスキャナ システムエラーが発生しました	本体を再度、立ち上げてください。
通信エラーが発生しました	PC 送信の場合は、送信先 PC の状態を確認して再度送信してください。e-mail 送信の場合は SMTP サーバが正しく起動しているか、システム管理者に確認してください。
送信先 PC でエラーが発生しました	送信先 PC の状態を確認して再度送信してください。
送信先 PC のハードディスクがいっぱいです	送信先 PC で使用しているハードディスクの空き容量を増やしてから、再度送信してください。
送信先 PC 上のアプリケーションが動作していません	送信先 PC で Scanner File Utility が起動しているか確認してください。

エラーメッセージ

メッセージ	処理方法
送信先 PC が使用中です。しばらくしてからやり直してください。	送信先 PC とその他のスキャナが接続中です。しばらくしてから再度送信してください。
個人アドレス帳 PC のバージョンが異なります。 (管理者に連絡)	Address Book のバージョンが異なります。管理者等を確認してください。
個人アドレス帳 PC が使用中です。 (数分後にやり直し)	指定の Address Book とその他のスキャナが接続中です。しばらくしてから、再度選択してください。
送り先が登録されていません	指定の送り先は登録されていません。 新規登録するか、別の送り先を選択してください。
パスワードがちがいます	正しいパスワードを入力してください。
ドメイン名、ホスト名を確認してください	スキャナのドメイン名、ホスト名が設定されていません。 ドメイン名、ホスト名を設定しているか確認してください。

補足 C

仕様

スキャナ仕様

動作環境	IBM PC/AT 互換機 オペレーションシステム：Windows 95（OSR2）、Windows 98（Second Edition）、Windows NT 4.0（Service Pack 5以降）、Windows 2000（Service Pack 2以降）、Windows Me、Windows XP、Windows Server 2003 CPU：Pentium 133MHz 以上 （Celeron 500MHz 以上を推奨） RAM：128MB 以上を推奨 ハードディスク空き容量：20MB 以上、カラー / グレースケールスキャン時 200MB 以上（500MB 以上を推奨） CD-ROM ドライブ：1 ドライブ
イーサネットポート	100BASE-TX, 10BASE-T（自動切替え）
ネットワークプロトコル	TCP/IP
転送プロトコル	独自方式（画像転送時 / ユーティリティによる設定時）、SMTP（Eメール送信時）、HTTP（Web 設定時）